熊谷市
スポーツ推進計画









熊　谷　市



本市では、平成２３年３月に「熊谷市スポーツ振興基本計画」を策定し、「スポーツ熱中、生き生き熊谷」を基本理念として、市民のだれもが、それぞれのスタイルに応じてスポーツに関わり、健康づくりやまちづくりを進める社会を目指して、スポーツ振興施策を推進してきました。

この間、スポーツを取り巻く環境は大きく変化し、国においては平成２３年にスポーツ基本法が制定され、翌年には１０年間にわたるスポーツ振興の基本方針を示したスポーツ基本計画が策定されました。また、ラグビーワールドカップ２０１９™や東京オリンピック・パラリンピックの開催など、スポーツへの関心が高まる中、特にラグビーワールドカップ２０１９™の開催都市として、大会の成功と、そのレガシー（遺産）により、本市のスポーツ環境が新たなステージへ飛躍することが期待されています。

本計画は、「熊谷市スポーツ振興基本計画」の基本的な考えを継承しつつ、本市の特色を活用し、スポーツを取り巻く環境の変化を新たなスポーツ文化や価値の創造の機会と捉え、郷土の誇り、地域の活力やまちづくり等、スポーツが生む好循環を実現するためのスポーツ推進の指針として策定いたしました。

結びに、本計画の策定にあたり、御尽力をいただきました熊谷市スポーツ推進審議会委員の皆様をはじめ、貴重な御意見をお寄せいただきました市民・関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

平成３０年３月

熊谷市長　　富　岡　　清

《 目 次 》

熊谷市スポーツ熱中都市宣言 4

第１章　計画の策定に当たって

１　計画の策定に当たって 6
２　計画の位置付け 8
３　計画の期間 9

第２章　スポーツ推進の現状と課題

１　市民のスポーツの現状と課題
（1）市民のスポーツに対する関心や実施状況 11
（2）高齢者のスポーツ 16
（3）障害者のスポーツ 16
２　児童・生徒の現状と課題
（1）児童・生徒のスポーツに対する関心や実施状況 17
（2）学校外でのスポーツ活動 19
３　スポーツ関係団体の現状と課題
（1）公益財団法人熊谷市体育協会 20
（2）熊谷市レクリエーション協会 22
（3）熊谷市スポーツ少年団 23
（4）総合型地域スポーツクラブ 24
４　スポーツ行政の現状と課題
（1）熊谷市スポーツ熱中都市宣言の推進 25
（2）ラグビータウン熊谷の推進 28
（3）熊谷市スポーツ教室 30
（4）熊谷市スポーツ推進委員の活動 31
（5）熊谷市スポーツ・レクリエーション指導者バンク 32
（6）新たなスポーツ文化への対応 34
５　スポーツ施設の現状と課題
（1）公共スポーツ施設 35
（2）学校体育施設開放 36
（3）民間のスポーツ施設 37

第 3 章　スポーツ推進の基本的な考え方

１　基本理念　39
２　基本目標　40
３　推進計画の骨子（基本目標と施策）　42

第 4 章　スポーツ推進のための具体的施策

１　生涯にわたるスポーツ活動の推進
（1）子供のスポーツ活動の推進　46
（2）成人のスポーツ活動の推進　47
（3）高齢者のスポーツ活動の推進　48
（4）障害者のスポーツ活動の推進　49
（5）総合型地域スポーツクラブの育成・支援　50
（6）地域のスポーツ活動への支援　51
２　学校体育の充実
（1）学校体育の充実　52
３　気軽にスポーツに親しむことができる環境の整備
（1）スポーツ施設の整備と有効利用　53
（2）指導者の育成・活用　54
（3）スポーツ情報の収集と発信　55
４　スポーツとの連携・協働による活力あるまちづくりの推進
（1）スポーツイベントによるまちの活性化　56
（2）スポーツ文化の創出　57
（3）スポーツと地域社会・経済活動の連携　58

第 5 章　計画の推進体制

１　役割　60
２　連携分野　61
３　計画の見直し　62

資料編

資料１　熊谷市スポーツ推進審議会設置条例　64
資料２　熊谷市スポーツ推進審議会委員名簿　66
資料３　熊谷市スポーツ振興計画庁内検討会議設置要綱　67
資料４　計画策定の経過　69
資料５　熊谷市スポーツ振興まちづくり条例　70
資料６　市内の主な公共スポーツ施設　72
資料７「スポーツやレクリエーション」についてのアンケート
　調査報告書（１５歳以上）　74
　調査報告書（小・中学生）　100

熊谷市スポーツ熱中都市宣言

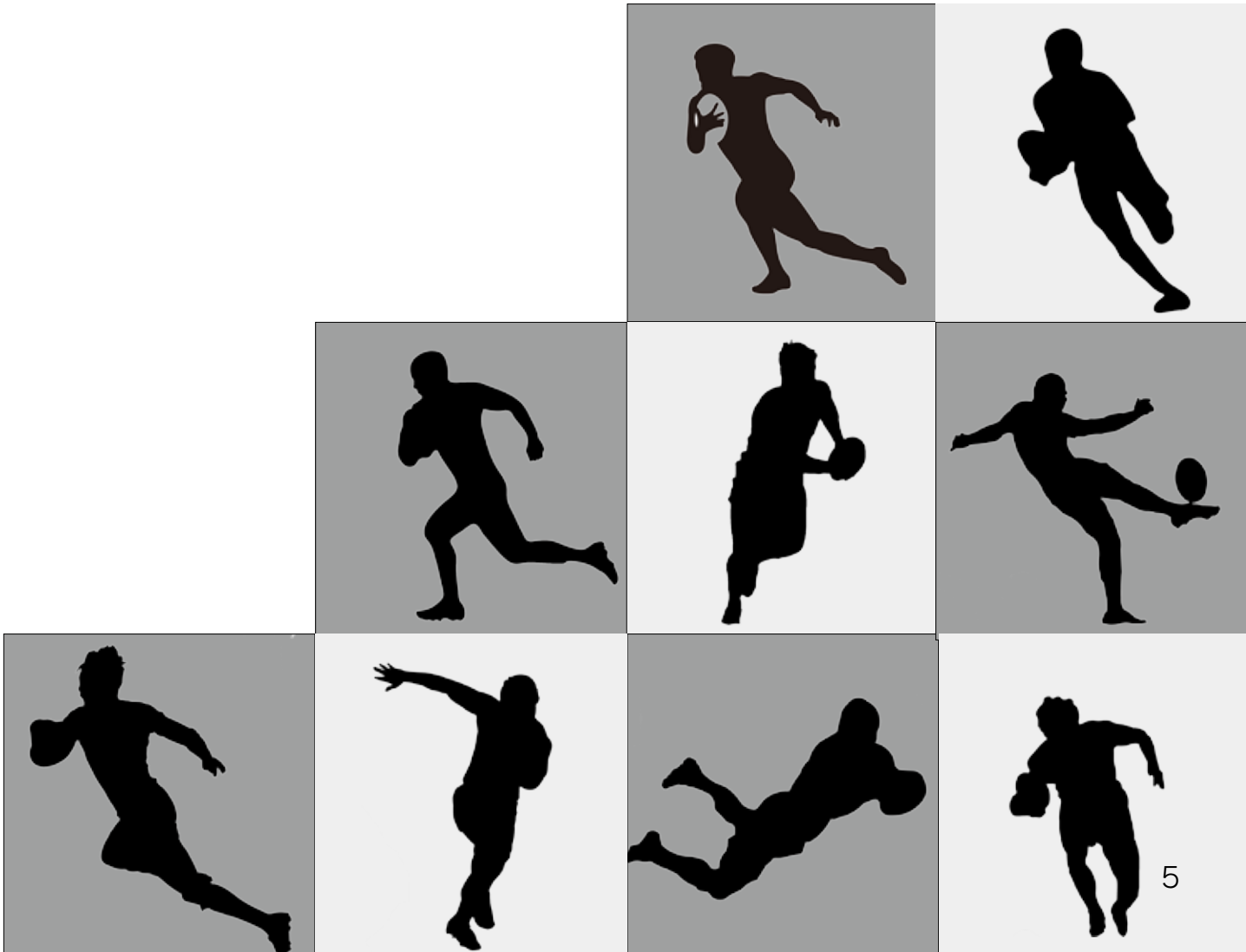
スポーツは、私たちの心身の健全な発達に役立つとともに、私たちが豊かに暮らせるまちづくりを推進していくうえにも、極めて大きな意義をもっています。

私たち熊谷市民は、生涯にわたってスポーツを愛し、「実践」「応援」「協力」を合い言葉に、一人ひとりがスポーツに熱中することをとおして、健康な心と体をはぐくみ、だれもが元気に生き生きと生活できるまちづくりをめざし、ここに熊谷市を「スポーツ熱中都市」とすることを宣言します。

- スポーツを全力で「実践」し、健康な心と体をはぐくみます。
- スポーツを積極的に「応援」し、感動を味わいます。
- スポーツに進んで「協力」し、みんなで楽しみます。

平成18年7月1日

第１章
計画の策定に当たって



１　計画の策定に当たって

本市では、スポーツ振興法に基づき平成２３年（２０１１年）３月に「熊谷市スポーツ振興基本計画」を策定し、「スポーツ熱中、生き生き熊谷」を基本理念として、スポーツの振興に努めてきました。同時に、「熊谷市スポーツ振興まちづくり条例」を制定し、市民、スポーツ関連団体、事業者及び行政が連携を強化し、それぞれの役割を担うことでスポーツを活用した活力あるまちづくりを推進してきました。

また、同年８月、国においては、国家戦略としてスポーツに関する施策を総合的・計画的に推進するため、スポーツ振興法を５０年ぶりに全面改正した「スポーツ基本法」を制定しました。この法律では、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利であることや、スポーツの価値と意義、スポーツの果たす役割の重要性が示されています。さらに、「スポーツ基本計画」が平成２４年（２０１２年）に策定され、今後のスポーツ政策の方向性が示されました。

これを受けて、埼玉県においても「埼玉県スポーツ推進計画」を平成２５年（２０１３年）に策定（平成２９年（２０１７年）改訂）しました。

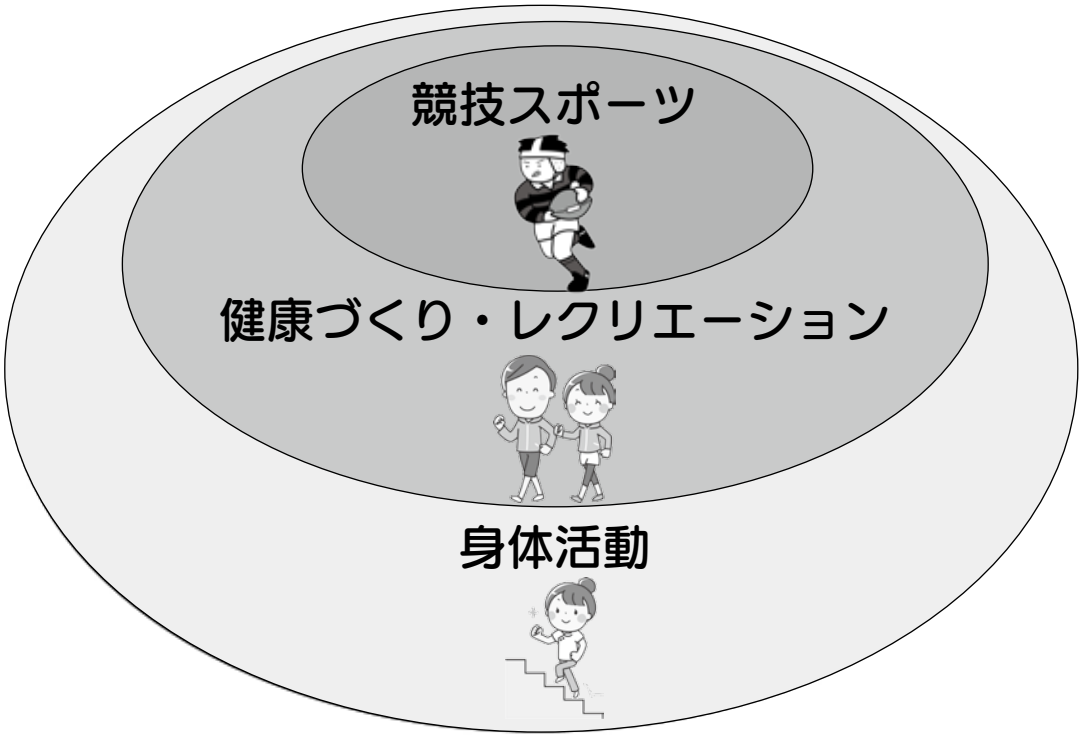
このように、スポーツを取り巻く状況が変化する中、本市では、２０１９年のラグビーワールカップの開催都市に決定し、これまでラグビータウン熊谷を推進してきた本市のスポーツ推進策が実を結んだところですが、同時にラグビーワールドカップへの取組とそのレガシー（遺産）を様々な分野に活用した施策や、熊谷ならではのスポーツ文化の発現が期待されます。

既に、国内トップレベルの各種大会が一年を通して開催され、本計画期間中には、ラグビーワールドカップ２０１９のほか、国内でも東京２０２０オリンピック・パラリンピックといった世界規模の大会も開催されることから、市民のスポーツへの関心がますます高まると同時に、スポーツを通して、国際的な交流や貢献ができる絶好の機会になるものと考えられます。

本計画は、熊谷市スポーツ振興基本計画が平成２９年度（２０１７年度）に計画期間が終了することから、これまでの諸施策を継承しつつ、スポーツ環境の変化を、新たなスポーツ文化や伝統の創造の機会と捉え、郷土への誇り、地域の一体感、活力あるまちづくりなどにつなげ、市民一人一人が生き生きと豊かに生活することのできる熊谷市の実現を目指し、策定するものです。

スポーツの範囲

本計画における「スポーツ」とは、勝敗や記録を競う競技スポーツや手軽に楽しむことができる健康づくりやレクリエーションとしての運動、さらに、通勤や買物を車から自転車や徒歩に変更するなど心身の健康増進を目的に行う身体活動を含むものと捉えています。



また、「スポーツ」を、「実践（行う）」だけでなく、「応援（見る・感動する）」、「協力（支える）」といった立場からも捉え、参画する機会を確保していきます。

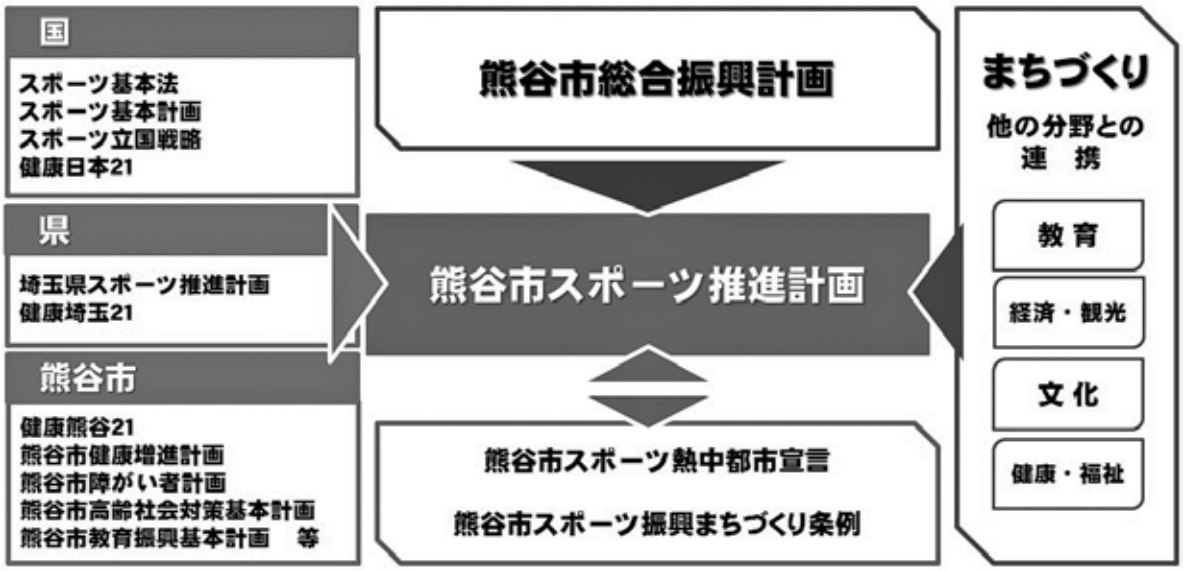
２　計画の位置付け

スポーツ基本法では、「地方公共団体は、国のスポーツ基本計画を参酌して、地方の実情に即した地方スポーツ推進計画を定めるよう努めるもの」とされています。

この計画は、平成２３年（２０１１年）３月に策定した「熊谷市スポーツ振興基本計画」を継承しつつ、法で定める「地方スポーツ推進計画」として位置付けるものです。

また、「熊谷市総合振興計画」の基本構想を踏まえ、スポーツ熱中都市宣言と熊谷市スポーツ振興まちづくり条例を両輪に、本市の各分野における計画と連携しながら、熊谷市の特色とスポーツの持つ多様な価値を最大限に活用し、変化する社会情勢やスポーツ環境に柔軟に対応するスポーツ推進計画とするものです。

本計画と他計画等との関係図



３　計画の期間

計画の期間は、熊谷市総合振興計画と同じ平成３０年度（２０１８年度）から平成３９年度（２０２７年度）までの１０年間です。

なお、計画期間中の社会情勢の変化、市民ニーズに対応するため、必要な調整を図るとともに、事業の進捗に合わせた計画の見直しを行うこととします。

平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
熊谷市スポーツ推進計画									

※年度表記について

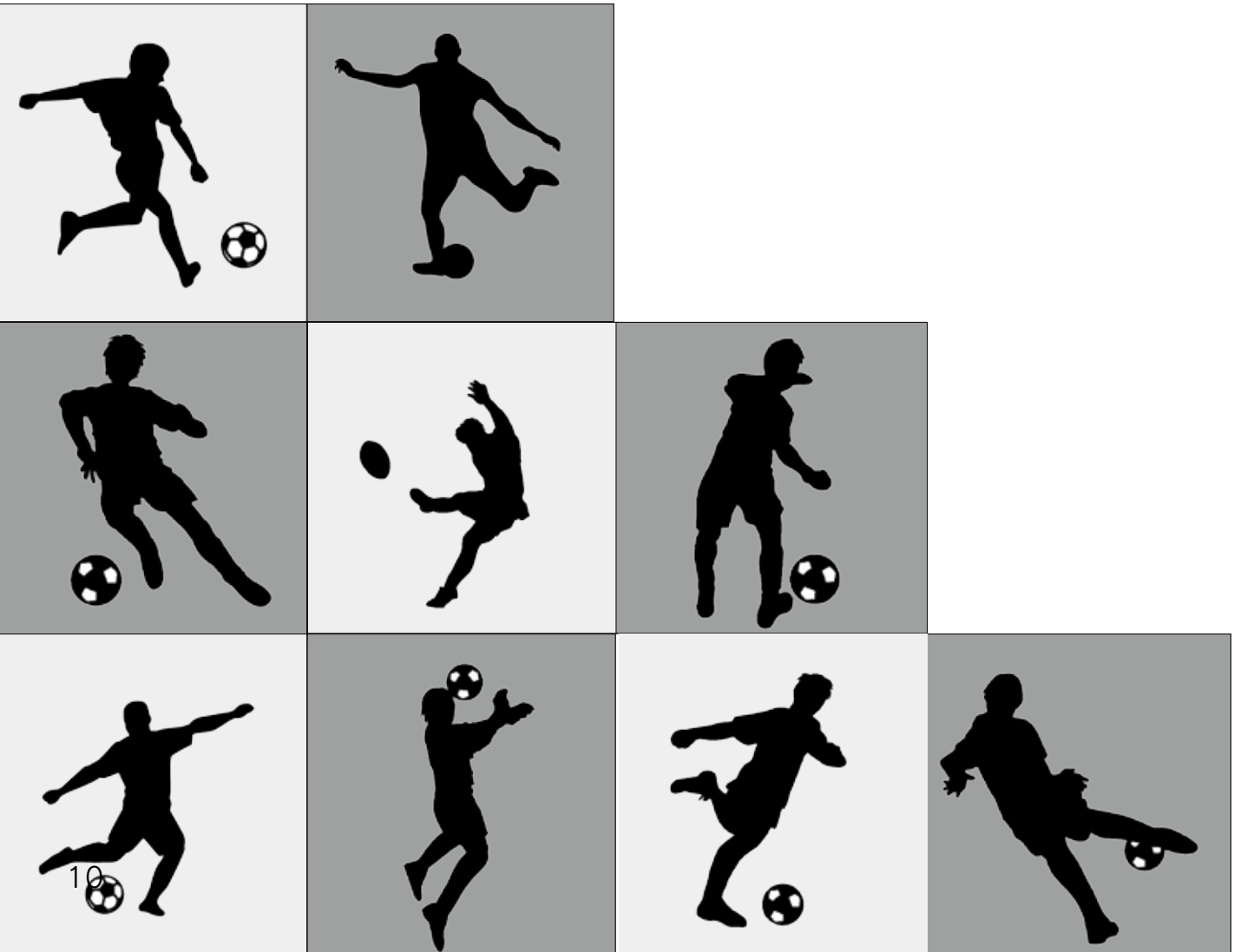
天皇の退位等に関する皇室典範特例法及び同法の施行期日を定める政令により、平成３１年５月１日に改元されることが決まりました。

本計画では「平成」と表記していますが、改元後については、次のとおり、読み替えます。

平成	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
西暦	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年
新元号	－	元年※	２年	３年	４年	５年	６年	７年	８年	９年

（２０１９年は４月３０日まで平成、５月１日以降は新元号）

第２章
スポーツ推進の現状と課題



１　市民スポーツの現状と課題

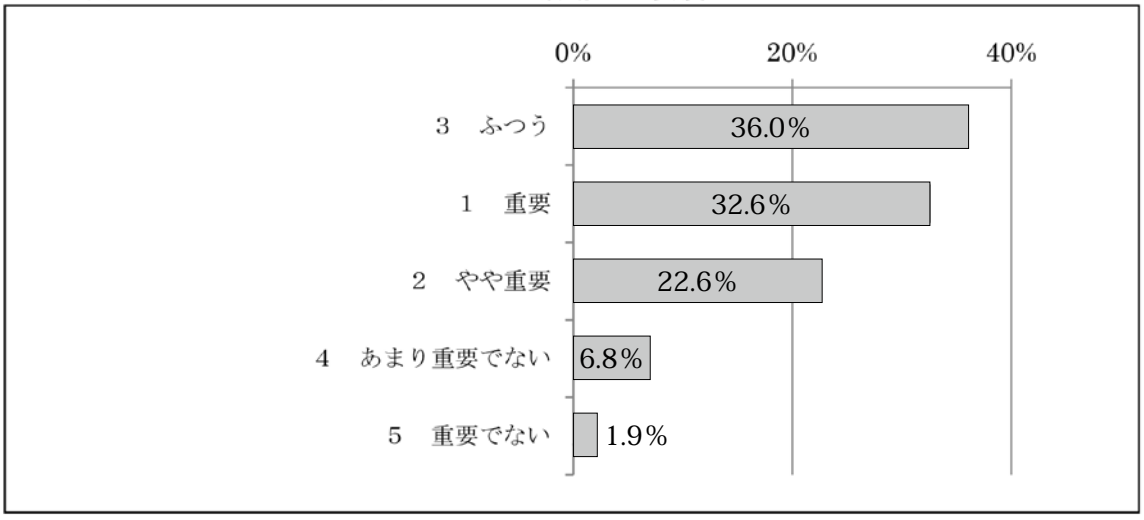
（１）　市民のスポーツに対する関心や実施状況

現　状

本計画の策定に当たり、市民のスポーツに関する意識や関わり方を把握するために、平成２８年（２０１６年）９月に『「スポーツやレクリエーション」についてのアンケート』を行いました。

アンケートによると、健康を保持・増進するためにはバランスのとれた食生活、十分な休養や睡眠とともに適度な運動が必要であることはよく知られており、５５．２％の人が日常生活でのスポーツやレクリエーション活動の重要度を感じています。

図１　スポーツやレクリエーション活動の重要度



（「スポーツやレクリエーション」についてのアンケート）

「実践（行う）」

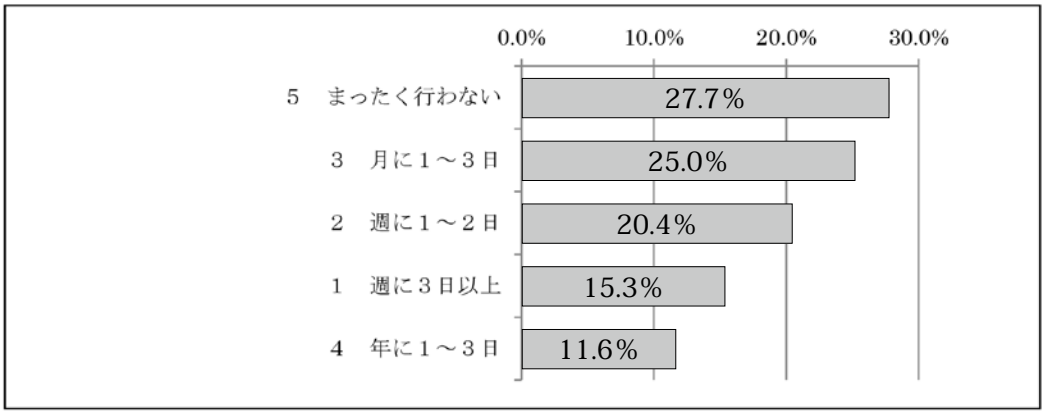
「週に１日以上」スポーツやレクリエーション活動を行っていると回答した人が３５．７％であり、種目としては、「ヨガ」、「軽い運動（ラジオ体操など）」や「軽い水泳（水中運動など）」といった少人数でも行うことのできるものが多くなっています。

また、組織的な取組も盛んで、公益財団法人熊谷市体育協会と熊谷市レクリエーション協会の加盟団体に登録している人は、１３，０００人を超えており、定期的に練習を行い競技会や発表会に参加するなど積極的にスポーツ・レクリエーション活動に取り組んでいます。

一方、「忙しくて時間がない」や「健康上の理由」等から「まったく行わない」と回答した人が２７．７％でした。年代別に見ると、６０歳以上の実施率が低くなっています。また、日常生活における自身のスポーツ・レクリエーション活動の重要度が低いと考える人の割合は８．７％にとどまり、重要とは認識しているものの実践できない状況が見受けられます。

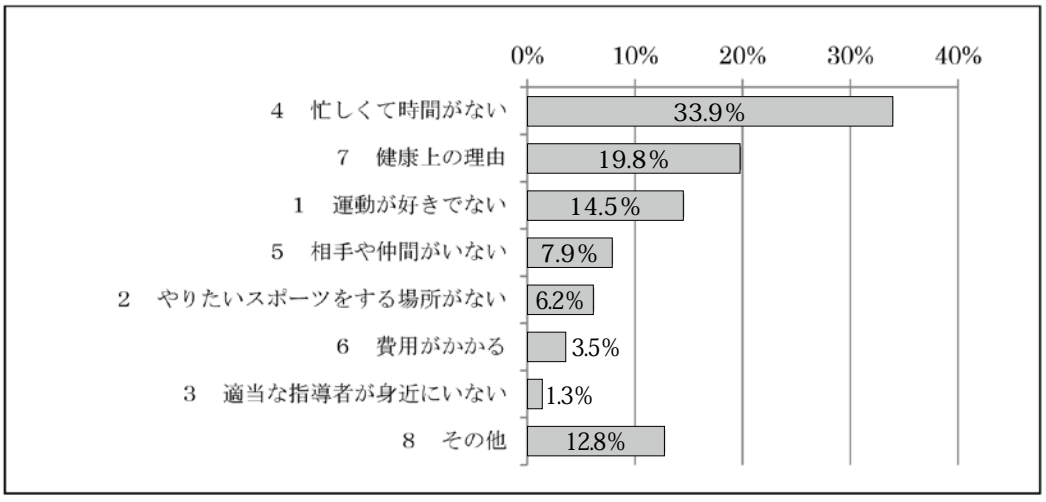
今後のスポーツ推進に関する施策に関しては、「総合型地域スポーツクラブの育成・支援」や「スポーツ施設の有効活用を図る」等、気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりを期待する回答が多くなっています。

図２　１年間にスポーツやレクリエーションを実施した頻度



（「スポーツやレクリエーション」についてのアンケート）

図３　まったく行わなかった理由



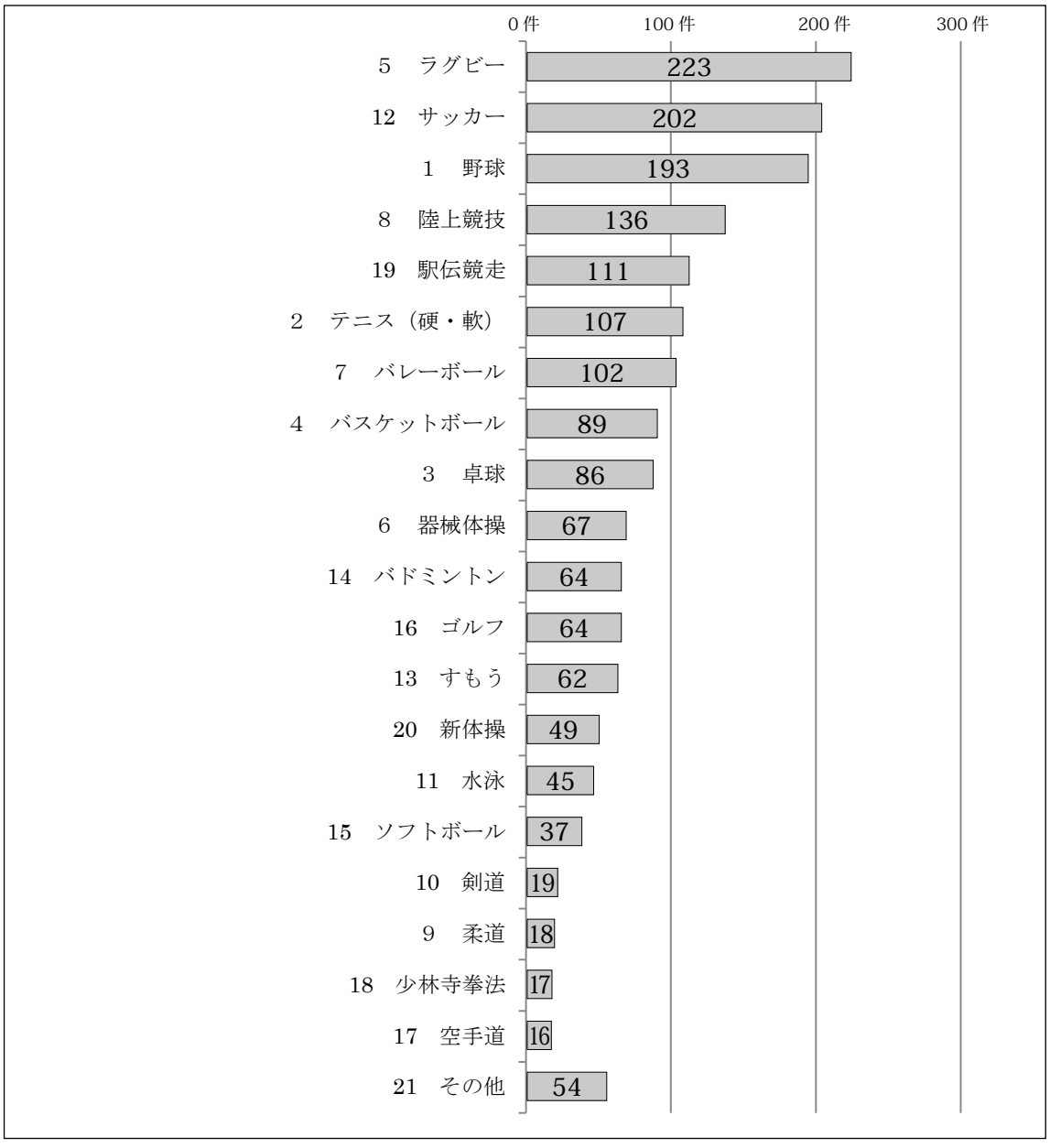
（「スポーツやレクリエーション」についてのアンケート）

「応援（見る・感動する）」

最近の一年間でスポーツ観戦をした人(テレビ観戦を除く)は３４．２％で、種目別に見ると「プロ野球（独立リーグを含む）」が最も多く、「サッカー」、「駅伝競走」と続いています。市内でも、陸上競技・駅伝競走、サッカーＪリーグやラグビートップリーグ等国内トップレベルの競技が数多く開催されています。

今後、本市で開催してほしいと思う大規模なスポーツ大会・イベントとしては、「ラグビー」、「サッカー」、「野球」が多く挙げられています。

図４　今後、熊谷市で開催してほしいと思う大規模なスポーツ大会・イベント



（「スポーツやレクリエーション」についてのアンケート）

「協力（支える）」

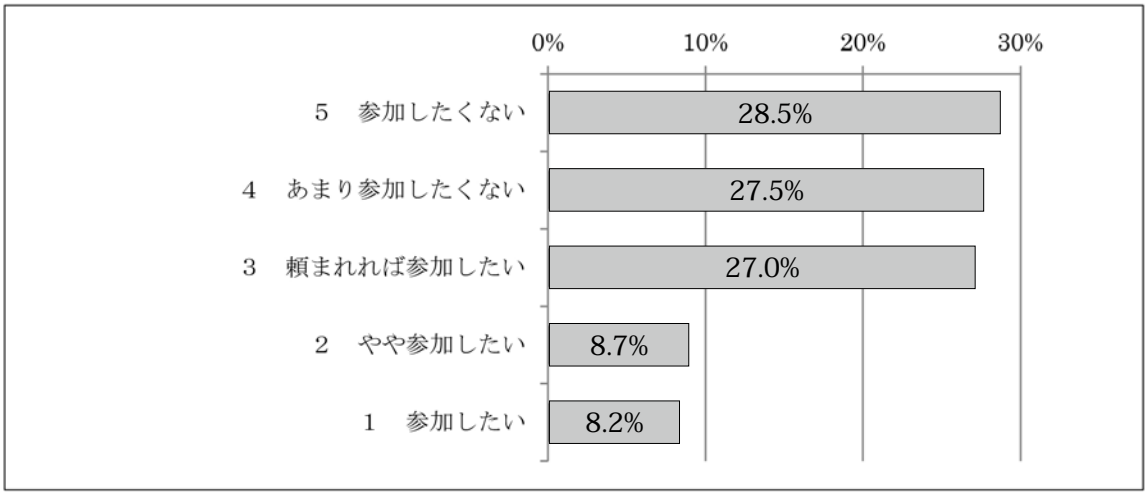
本市で開催されるスポーツイベントは、交通整理や参加者へのおもてなし等、多くのボランティアに支えられ、運営されています。

しかし、スポーツボランティアの経験が「ある」という回答は１３．７％、今後ボランティアとして「参加したい」、「やや参加したい」という人はあわせて１６．９％にとどまりました。

図５　平成２８年度（２０１６年度）主なスポーツイベントのボランティア役員数

主なスポーツイベント	従事者数
東日本実業団対抗駅伝競走大会	４１１人
熊谷めぬま駅伝競走大会	２１５人
埼玉県駅伝競走大会	２０８人
熊谷さくらマラソン大会	１，１３６人

図６　今後、スポーツ・ボランティアとして活動したいか。



（「スポーツやレクリエーション」についてのアンケート）

課　題

今までスポーツをしていなかった市民に対して、日常の生活に身体活動を取り入れるはたらきかけをして、実施率を高めていくことが課題となっています。

また、要望の高い種目の大会を誘致し、さらに多くの市民が観戦に訪れたり、ボランティアに参加したりできるように、スポーツに親しみをもってもらえるような情報発信の工夫が必要となっています。



熊谷さくらマラソン大会　大会ボランティア

（２）　高齢者のスポーツ

現　状

本市では、高齢者や体力に自信がない等の理由から軽い運動を好む方を対象にして、公益財団法人熊谷市体育協会や熊谷市レクリエーション協会等と連携し、卓球、テニスやバドミントン等のスポーツ教室やターゲット・バードゴルフ、民踊等レクリエーション種目の初心者講習会を開催しています。

また、ゲートボール、グラウンド・ゴルフやターゲット・バードゴルフ等を実践している市民は多く、公益財団法人熊谷市体育協会や熊谷市レクリエーション協会の加盟団体が大会を実施するなど、高齢者の健康づくりと交流機会を提供しているほか、公民館では、高齢者体力測定会、ウォーキングやハイキング等のスポーツ・レクリエーション活動を実施しています。

課　題

高齢者や体力に自信がない市民に対しても、それぞれの体力などに合わせて継続的に運動に取り組んでいくことができ、また、現在運動していない市民が運動に取り組んでいくことができるよう、情報発信や啓発活動が必要となっています。

（３）　障害者のスポーツ

現　状

本市では、障害者の体力の維持・増進及び社会参加の推進を図るため、多様なスポーツ活動への参加機会の拡大を図っています。

彩の国ふれあいピック春季･秋季大会や全国障害者スポーツ大会等の選手募集をはじめ、埼玉県障害者スポーツ協会の加盟団体等が主催する各種スポーツ教室への参加のお知らせを行っています。

また、年に１回、特定非営利活動法人熊谷市身体障害者福祉会が中心となって「ふれあい運動会」を開催しています。

課　題

障害者がスポーツ活動に取り組むことができるよう施設を整備していくことや実践可能な運動を紹介したり、彩の国ふれあいピック等のイベントへの参加を広く呼びかけたりして、運動の機会を増やす工夫が必要となっています。

２　児童・生徒の現状と課題

（１）　児童・生徒のスポーツに対する関心や実施状況

現　状

本市では、国・県の意向を受け、昭和５３年度に熊谷市体力向上推進委員会が発足して以来、市と各学校の連携を深めながら、児童・生徒の体力向上や健康安全に関する調査研究・取組等を行い、「学力（知・徳・体）日本一」を体力の面で実現すべく取り組んできました。

また、平成２７年度（２０１５年度）から教師の指導力向上と児童・生徒の体力の向上を目的として、体育指導専門員を全小・中学校に派遣し、体育授業の指導に直接あたっています。

その成果もあり、平成２８年度（２０１６年度）の新体力テストの結果において、小・中学校合わせて１４４項目（小学校６学年×８種目×２男女、中学校３学年×８種目×２男女）中、計１３６項目で県平均を超えました。目標値の８０％を大きく上回り９４．４％の項目で、県平均を超えるという、今までにない好記録を達成し、県内でもトップクラスとなっています。埼玉県が全国上位に位置することを考えると、本市児童・生徒の体力は、着実に向上傾向を示しており、日本一に近づいています。

図７　平成２８年度新体力テスト　熊谷市平均値と埼玉県平均値との比較

男子	小学校（48 項目）						中学校（24 項目）		
	1	2	3	4	5	6	1	2	3
握力	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上体起こし	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長座体前屈	○	○	○	○	○	○	○	○	○
反復横とび	○	○	○	○	○	○	○	○	○
持久走							×	○	×
20mシャトルラン	○	○	○	○	○	○			
50m走	○	×	○	○	○	○	－	○	－
立ち幅とび	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ボール投げ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上回った項目数	47						20		
上回った割合	97.9%						83.3%		

女子	小学校（48 項目）						中学校（24 項目）		
	1	2	3	4	5	6	1	2	3
握力	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上体起こし	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長座体前屈	○	○	○	○	○	○	○	○	○
反復横とび	○	○	○	○	○	○	○	○	○
持久走							○	×	×
20mシャトルラン	○	○	○	○	○	○			
50m走	○	○	○	○	○	○	○	○	×
立ち幅とび	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ボール投げ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上回った項目数	48						21		
上回った割合	100.0%						87.5%		

男女合計	小学校	中学校	小中合計
合計　上回った項目数	95	41	136
合計　上回った割合	98.96%	85.42%	94.40%

○・・・県平均値を上回っている
×・・・県平均値を下回っている
－・・・県平均値と同じ

また、「朝ごはんをしっかり食べることができれば、自ずと他の活動もできるようになる」と考え、本市では、「熊谷の子どもたちは、これができます！『４つの実践』と『３減運動』」を続けてきました。その取組が評価され、平成２８年度（２０１６年度）文部科学大臣表彰を受けました。アンケート結果によると、本市児童・生徒の「ほぼ毎日、朝食を食べる割合」は、９７．６％と高水準を維持しております。また、ＨＱＣシート（ヘルス・クオリティ・コントロールシート）を活用した取組を通じ、一層の生活習慣の改善や食育の充実を目指しています。さらに、スポーツに対する関心を高めるために、子供たちに明確な個人目標をもたせる授業を展開し、総合的な体力・運動能力の向上に取り組んでいます。

小学校では、平成２９年度（２０１７年度）からアルカス熊谷の協力のもと、すべての学校でタグラグビー教室を実施しています。また、小学校５年生を対象とした「親善タグラグビー大会」、教員を対象とした指導者講習会や審判講習会を通じ、「ラグビーワールドカップ２０１９」への機運の醸成と運動好きな子供の育成を図っています。

中学校の部活動においては、平成２９年度（２０１７年度）の部活動加入率は９４．９％と高い加入率を示しています。また、本市では、外部指導者による専門的指導の充実及び教師の指導力の向上を目指し、熊谷市部活動地域連携事業を推進するとともに、平成２８年度（２０１６年度）からは、熊谷市運動部活動支援員活用事業を導入し、一層の指導の充実を図っています。その結果、ラグビー、陸上競技、柔道など全国・関東大会に出場している部も数多くあり、世界を舞台に活躍するアスリートも輩出しています。

課　題

今後は、児童・生徒一人一人の課題を明確にし、その課題にあった取組を工夫するなどの授業改善を通じ、さらなる体力の向上を図るとともに、運動好きな子供を育てていくことが課題となっています。

（２）　学校外でのスポーツ活動

現　状

児童・生徒がスポーツに親しめる場として、熊谷市スポーツ少年団や熊谷市スポーツ教室、総合型地域スポーツクラブ、学童野球のほか各種目のクラブチームなどがあり、多くの児童・生徒が参加しています。

また、地域による子供たちの健全育成を目的とする熊谷市子ども会育成連絡協議会では、各地区子ども会単位でソフトボール、フットベースやドッヂボールのチームを編成し、地域の方の熱心な指導の下、年間を通して活動しており、同協議会が主催する球技大会も開催されています。

さらに、放課後子供教室推進事業では、文化的な活動とともにスポーツ体験や球技大会が開催されています。

そのほか、スイミングスクールなど民間のスポーツクラブで活動している児童・生徒もいます。

一方、体育授業以外でのスポーツ・レクリエーション活動への満足度が、場所や時間がない等の理由から、７０％を下回っています。

課　題

いろいろな種目のチームが数多く組織され活動をしていますが、少子化が進行する中で、いかに活動を充実させていくか、必要となる経費も含めて、運営の工夫が必要になっています。

また、スポーツ関連団体と連携して学校外で運動に取り組むことができる受け皿の充実を図ることが必要になっています。

総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブとは、人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、⑴子供から高齢者まで（多世代）、⑵様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、⑶初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブをいいます。

３　スポーツ関係団体の現状と課題

（１）　公益財団法人熊谷市体育協会

現　状

大正８年（１９１９年）に熊谷町体育会として創立、昭和２２年（１９４７年）に熊谷市体育協会に改組、昭和６０年（１９８５年）４月に財団法人となりました。その後、新熊谷市の誕生に伴い、大里町体育協会、妻沼町体育協会及び江南町体育協会と統合し、平成２３年（２０１１年）１１月に公益財団法人に移行しました。平成２９年（２０１７年）４月現在、加盟団体は２８団体で、会員数は１２，０００人を超えています。

市民の心身の健全な発達､健康で明るい市民生活の向上と発展に寄与するため、体力づくりの推進、熊谷市総合体育大会、各種スポーツ教室の実施、広報紙「スポーツ熊谷」の発行、スポーツ功労者や優秀選手の表彰のほか、市内で開催されるスポーツ大会の運営支援等、様々な事業を行っています。

また、本市から指定管理者として委託を受け、市民体育館、東部体育館、別府体育館、大里体育館、江南体育館、籠原体育館、大里総合グラウンド及び江南総合グラウンドの管理運営を行っています。

課　題

若手指導者の育成や専門的な知識・技術を習得するための研修の充実等、スポーツにおける競技力の向上や一層の普及振興を目指した取組が必要となっています。

図８　公益財団法人熊谷市体育協会加盟団体　（平成２９年（２０１７年）４月現在）

野球連盟	ソフトテニス連盟	卓球連盟
バスケットボール連盟	ラグビーフットボール協会	体操協会
バレーボール連盟	陸上競技協会	弓道連盟
柔道連盟	剣道連盟	水泳連盟
スキー連盟	山岳連盟	サッカー協会
相撲連盟	バドミントン協会	ソフトボール協会
射撃協会	テニス協会	ゴルフ連盟
グラウンド・ゴルフ協会	空手道連盟	ゲートボール連盟
少林寺拳法連盟	小学校体育連盟	中学校体育連盟
高等学校体育連盟		



熊谷市総合体育大会（野球）



熊谷市総合体育大会（陸上競技）

（２）　熊谷市レクリエーション協会

現　状

平成２９年（２０１７年）４月現在、部門（種目）は１０部門、加盟団体は５５団体で、会員数は１，４００人を超えています。

「レクリエーション活動を通して市民の心身の健康増進を図るとともに、レクリエーション関係団体相互の親睦と連帯を深め、本市レクリエーション活動の振興に寄与すること」を目的とし、主な行事としては、国体開催記念熊谷市スポレクフェスティバルに参加するほか、レクリエーションの集いが熊谷文化創造館さくらめいとを会場に盛大に開催されています。

また、部門ごとに初心者を対象とした講習会が毎年開催されており、レクリエーションに取り組む市民の裾野を広げているほか、年１回「レク協だより」を発行し、活動を情報発信しています。

課　題

グループごとに行われている活動を市民に紹介する広報活動を一層充実させて、会員を増やしていくことや組織の自立性を一層高めていくことが課題となっています。

図９　熊谷市レクリエーション協会加盟部門　（平成２９年（２０１７年）４月現在）

リズム体操	民踊	現代舞踊
カラオケ	ターゲット・バードゴルフ	フラダンス
鳴子踊り	和太鼓	民謡
太極拳		



レクリエーションの集い

（３）　熊谷市スポーツ少年団

現　状

平成２９年（２０１７年）４月現在、登録団数は３９団体、１，１００人を超える団員と指導者３１２人で構成されています。

それぞれの団が技術の向上と人間形成を理念に活動を展開しており、市内の少年団が一堂に会して、団を越えた交流を目的とした行事「親子フェスタ」と「団対抗駅伝大会」を開催しています。

また、指導者の資質向上のための認定員講習会や資格取得のための認定員養成講習会、保護者の理解を深めるための母集団研修会を開催して、スポーツ少年団の理念に基づいた団運営の充実に努めています。

熊谷市スポーツ少年団や各団のホームページを作成して活動の様子を広報したり、イベントに団員以外の子供も招いたりして情報提供に努めています。

課　題

少子化の進行に伴い、団員数が減少傾向にあり、一緒に活動する子供たちを増やしていくための工夫が必要になっています。

また、組織の自立性を一層高めていくことが課題となっています。

図１０　熊谷市スポーツ少年団登録種目　（平成２９年（２０１７年）４月現在）

サッカー	ミニバスケットボール	バレーボール	野球
ソフトテニス	空手道	剣道	水泳



団対抗駅伝大会

（４）　総合型地域スポーツクラブ

現　状

平成１７年度（２００５年度）に財団法人日本体育協会（当時）の育成指定クラブ委託事業に市内の団体が応募し、現在「熊谷リリーズ・ふぁいぶるクラブ」と「ピースふぁいぶるクラブ」の２つの総合型地域スポーツクラブがあります。ライフステージに応じたスポーツ活動の場や地域コミュニティ形成の場として幅広い年齢層で構成されています。

「熊谷リリーズ・ふぁいぶるクラブ」は、スポーツ少年団の女子サッカーチームをもとに設立されており、サッカーを中心にしながら他の種目のスポーツも楽しみ、仲間と交流を深めています。

「ピースふぁいぶるクラブ」は、多くの加盟サークルが活動に励んでいます。また、年に一度、全体で集まって「クラブフェスタ」や「菜の花ウォーク」、春秋の合同ハイキングを開催し、サークル間の交流を図っています。

課　題

上記２つのクラブは平成１９年度（２００７年度）に設立されましたが、その後、新たなクラブ誕生の動きが見られません。総合型地域スポーツクラブの育成・支援を推進する体制をつくり、市民が身近に参加でき自主的に運営される総合型地域スポーツクラブを育成することが必要となっています。

また、既存のクラブでは、地域住民に活動の様子を知らせたり、地域住民が気軽に参加できる機会を設けたりするなどの活動を一層充実させ、地域に根ざしたクラブの運営が期待されています。



熊谷リリーズ・ふぁいぶるクラブ



ピースふぁいぶるクラブ

４　スポーツ行政の現状と課題

（１）　熊谷市スポーツ熱中都市宣言の推進

現　状

本市は、平成１６年（２００４年）に開催された「彩の国まごころ国体」や平成１７年（２００５年）１０月の新「熊谷市」のスタートを機に、平成１８年（２００６年）７月、「熊谷市スポーツ熱中都市」を宣言しました。この宣言のもと、熊谷さくらマラソン大会や熊谷めぬま駅伝大会、スポレクフェスティバルをはじめとした様々なスポーツイベントを開催し、市民がそれぞれの立場からスポーツを「実践」「応援」「協力」する機会になっています。

また、全国選抜高等学校ラグビーフットボール大会や東日本実業団駅伝競走大会、サッカーＪリーグ公式戦等の開催に当たっては、地元市として積極的に協力しながら円滑な運営と広報・集客に努めるとともに、市民にとって魅力あるスポーツイベントが市内で開催されるよう誘致に努め、市内の関係団体や支援者と連絡調整を図っています。

図１１　熊谷市で開催される主なスポーツイベント

熊谷さくらマラソン大会	全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会
熊谷めぬま駅伝大会	選抜高校女子サッカー大会めぬまカップ in 熊谷
東日本実業団対抗駅伝競走大会	埼玉県駅伝競走大会
埼玉スカイスポーツフェスタ	熊谷市スポレクフェスティバル



熊谷めぬま駅伝競走大会


選抜高校女子サッカー大会めぬまカップ in 熊谷

「実践（行う）」

競技スポーツを志向する市民や自己の記録に挑戦する市民を対象に熊谷市総合体育大会や熊谷さくらマラソン大会等を開催しています。健康づくりを志向する市民向けには、市民体力測定会等のイベントを行っているほか、市内各地のウォーキングコースを紹介して身近な場所でのウォーキングを奨励しています。

また、スポーツに親しむきっかけづくりとして、子供から大人、高齢者まで幅広い年齢層の市民を対象にして、公益財団法人熊谷市体育協会加盟団体による各種スポーツ教室や熊谷市レクリエーション協会各部門による初心者講習会が毎年行われ、多くの参加者が指導を受けながらスポーツに親しんでいます。

「応援（見る・感動する）」

熊谷スポーツ文化公園にある陸上競技場や彩の国くまがやドーム、熊谷ラグビー場では、その充実した施設を生かしてプロスポーツや実業団等の競技が行われています。熊谷さくら運動公園野球場では、本市を本拠地とするＢＣリーグ武蔵ヒートベアーズや高校野球の試合が行われています。また、７人制女子ラグビーチームであるアルカス熊谷の活動拠点であるなど、様々な競技を身近に観戦することにより感動を味わい、「応援」することができます。

「協力（支える）」

スポーツ関連団体や熊谷市スポーツボランティアバンク登録者を中心としたボランティアの皆さんに、熊谷さくらマラソン大会や熊谷めぬま駅伝大会などの役員・係員として大会を支えていただいています。

また、熊谷市スポーツ推進委員や熊谷市交通指導員の方々の協力も、スポーツイベントを開催する上で欠くことのできないものとなっています。

課　題

「実践（行う）」

市民のニーズに合ったスポーツ活動の機会を市民との協働で提供していくことや現在行っている大会やイベントを一層充実させることが必要となっています。

「応援（見る・感動する）」

市内で開催される大会やイベントの情報がより多くの市民に知ってもらえるような広報やより関心を高めるための情報発信の工夫が必要となっています。

「協力（支える）」

スポーツボランティアとして一般の市民の方が参加しやすくなるように、募集にあたってボランティア活動の内容をわかりやすく示すことや活動の魅力など情報の発信に努め、スポーツボランティア人口を増やすとともに、ネットワークづくりにも取り組むことが必要となっています。

熊谷市スポーツボランティアバンク

生涯にわたるスポーツ活動推進の担い手として、スポーツボランティアの活動を支援するための制度で、スポーツイベントの主催者の要請に応じて、登録者に情報を発信しています。

スポーツ推進委員の役割

スポーツ推進委員は、スポーツ基本法で規定されている日本で唯一の公的な社会体育指導者で、市区町村の非常勤公務員として、行政と一体となり、スポーツ施策を推進します。

最近は、地域住民のスポーツ振興、さらには豊かな地域生活のため、従来の実技指導だけでなく、スポーツ振興施策の企画立案に参画するとともに、住民の身近な立場から、行政と地域住民との調整を図るコーディネーターとなっています。

（公益社団法人全国スポーツ推進委員連合のホームページから引用）

（２）　ラグビータウン熊谷の推進

現　状

昭和４２年（１９６７年）の国民体育大会開催に当たり、荒川緑地に２面のラグビー場を整備し、平成３年（１９９１年）には県営の熊谷ラグビー場が完成し、同年に策定した「熊谷市総合振興計画第二次基本計画」に市のイメージアップ事業の一つとして「ラグビータウン熊谷」を位置づけました。

小・中学生への普及を目的とするラグビースクールには、毎年約１００名の子供たちが参加しています。すべての小学校で体育の授業にタグラグビーを取り入れており、毎年１１月には国体開催記念熊谷市スポレクフェスティバルの中で、タグラグビー大会を開催しています。

中・高校生を対象とした熊谷市長杯７人制ラグビー大会では、県内の中学校・高等学校から多くのラグビー部が参加し熱戦を繰り広げています。

また、中学校では、小学生へのタグラグビー普及の効果もあり、平成２８年度（２０１６年度）には富士見中学校にラグビー部が新設され、市内の学校では中学校５校、高等学校３校にラグビー部があります。

平成２７年（２０１５年）３月にラグビーワールドカップ２０１９の熊谷開催が決定し、平成２８年度（２０１６年度）からは、アルカス熊谷との協働によるタグラグビー教室や教職員を対象としたタグラグビー指導者を養成するための講習会の開催をはじめ、インターネット動画サイト「熊谷ラグビー応援団」を開設し熊谷のラグビー情報を発信するなど、関係機関と連携しながら機運醸成等に取り組んでいます。

さらに、アルカス熊谷の小・中学生を中心とした女子ラグビー育成事業やパナソニックワイルドナイツの関連団体であるワイルドナイツスポーツプロモーション（W.K.S.P）による定期的なラグビー教室の開催など、ラグビーの普及啓発に向けた動きも活発化しています。

また、全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会をはじめ、日本並びに関東ラグビーフットボール協会が主催する公式戦を埼玉県並びに熊谷市ラグビーフットボール協会と連携して開催するなど、トップレベルの試合を観戦しラグビーの楽しさを味わうことのできる機会を提供しています。

課　題

中学校の部活動では、ラグビー部の新設を含め指導体制の充実が図られていますが、小学校において、指導方法を含めたタグラグビー授業のさらなる充実が望まれます。

また、ラグビーに関する情報を積極的に発信して、より多くの市民の関心を高めるとともに、ラグビーワールドカップ開催後もそのレガシーを生かし、トップレベルの試合を誘致するなど、ラグビーに触れる機会を増やし、名実ともに「ラグビータウン」と称されるよう、ラグビーファンがあふれるまちづくりを目指していく必要があります。



タグラグビーの普及



全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会

（３）　熊谷市スポーツ教室

現　状

スポーツの普及を目的として、主に初心者を対象に各種スポーツの教室を開催しています。実施は公益財団法人熊谷市体育協会に委託し、加盟団体がそれぞれの種目の教室を運営しています。平成２８年度（２０１６年度）には球技や武道など２２教室を６３会場で開催し、延べ2，４８９名が受講しました。

スポーツ教室は、普及を目的としているため初心者や初級者を対象とした内容になっていますが、一度だけでなく、翌年も参加して一層のレベルアップを目指す市民や、スポーツ教室への参加がきっかけとなりグループやチームに入ってスポーツを続ける市民も多く、スポーツの普及に大きな役割を果たしています。

課　題

種目によって参加申込者数に偏りがあり、参加希望者を全員受け入れられないといった状況の教室がある一方、思うように受講者が集まらない教室もあり課題となっています。

また、今まであまり運動をしていない人でも参加しやすいように、ニュースポーツや軽い運動等、種目の幅を広げていくことが求められています。

ニュースポーツ

ニュースポーツについて、定まった定義はありませんが、一般的には、２０世紀後半以降に新しく考案・紹介されたスポーツを指します。子供から高齢者まで、勝敗にこだわることなく、手軽に楽しむことを目的として考案されたスポーツで、近年の健康志向によって注目されつつあります。グラウンド・ゴルフやソフトバレーボールのように、既存のものを改変したスポーツ等が多くあります。

（４）　熊谷市スポーツ推進委員の活動

現　状

本市では、スポーツ基本法に基づき各小学校区等からの推薦により、６８名のスポーツ推進委員を委嘱しています。地域のスポーツコーディネーターとして、専門性を生かした活動が期待され、地域と行政とをつなぐ役割も担っています。「女性バレーボール親善大会」、「市民体力測定会」や「春スキーの集い」などのスポーツイベントの開催をはじめ、日頃市民に対しスポーツの指導・普及を行うとともに、スポーツの推進を図るために学校や公民館等で様々なスポーツ事業に協力しています。

課　題

様々なイベントに協力を求められることが多く、年間の活動回数が増えていますが、多忙化する中で地域の要望にどのように応えていくかが課題となっています。



市民体力測定会



女性バレーボール親善大会

（５）　熊谷市スポーツ・レクリエーション指導者バンク

現　状

スポーツの普及・振興にとって、指導者の果たす役割はたいへん大きいものです。本市では、市民からの指導者派遣の要請に応じて円滑に指導者を紹介し、スポーツ・レクリエーションの普及・振興を図ることを目的として、平成１３年度（２００１年度）から「スポーツ・レクリエーション指導者バンク」制度を設けています。

登録指導者は、公益財団法人熊谷市体育協会、熊谷市レクリエーション協会や熊谷市スポーツ少年団などの団体から推薦された方のほか、自薦の方もいます。指導者登録の申請を受け、熊谷市スポーツ・レクリエーション指導者バンク運営協議会の審査を経て名簿に登録され、任期は一期５年となっています。平成２９年（２０１７年）４月現在、３９種目に１３９名の指導者登録があります。

登録指導者名簿は、各学校や公民館等市の施設に設置してあり、市民が閲覧し指導者を探すことができます。また、公民館やＰＴＡ活動の一環としてスポーツやレクリエーションの講座を開催するときにも指導者バンクから指導者が派遣されているほか、中学校の外部指導者として部活動の指導にあたっていただいている方もあり、特に技術面での指導に貢献しています。

指導者バンクの制度を市民に知っていただくために、市報やホームページに指導者の派遣や登録についての案内を掲載しています。

課　題

指導に対して意欲的な方にたくさん登録していただいていますが、いかに登録指導者の方に指導の機会をつくり応えていくかが課題となっています。

図１２　熊谷市スポーツ・レクリエーション指導者バンク登録指導種目

（平成２９年（２０１７年）４月現在）

スポーツドクター	野球	ソフトボール	バスケットボール
バレーボール	サッカー	ラグビー	ソフトテニス
テニス	卓球	バドミントン	フットベースボール
体操	陸上競技	弓道	柔道
剣道	スケート	スキー	グラウンドゴルフ
ゲートボール	フライングディスク	スポーツ吹矢	少林寺拳法
野外活動	リズム体操	健康体操	民踊
エアロビクス	社交ダンス	太極拳	フォークダンス
ジャズダンス	フラダンス	音楽（吹奏楽・箏曲）	健身気功
骨盤ヨガ	ヨガ	タグラグビー	

（６）　新たなスポーツ文化への対応

現　状

熊谷市スポーツ熱中都市宣言の趣旨は、スポーツを「実践」することによる健康の保持増進や青少年の健全育成に資するという面ばかりでなく、見て「応援」する、「協力」して支えるという面にも重要な意義があり、これは、スポーツ立国戦略に示されたスポーツ文化としての捉え方と共通するものです。

スポーツ選手の活躍は、市民に感動の共有や夢と希望を与え、スポーツへの関心を高めます。また、スポーツの場では、選手同士はもとより、人と人、地域と地域、国と国、様々なレベルでの交流が生まれ、人々の相互理解にも重要な役割を果たします。

本市では、ラグビーワールドカップ２０１９をはじめ、大規模スポーツイベントが頻繁に開催される環境にあり、こうしたスポーツの価値や役割を認識し、熊谷ならではのスポーツ文化を目指します。

また、近年、政府の成長戦略におけるスポーツの成長産業化の位置付けや、各種大規模スポーツ大会の開催を背景に、スポーツを一つのコンテンツとして捉えた経済・地域の活性化への関心が高まっています。本市においても、熊谷さくらマラソン大会、ラグビートップリーグやサッカーＪリーグの開催によって、スポーツの参加や観戦を目的として来訪する観光客の誘致を行っています。

課　題

スポーツ推進を担当する部署が中心となり、市の各部局間の連携を現在よりもさらに密接で深いものとするとともに、スポーツ関係団体や企業、ＮＰＯ、大学、地域住民等との横断的な協働体制の構築が不可欠となります。

また、スポーツツーリズムの推進やスポーツイベントの誘致・開催を行い、トップアスリートの競技を間近で観戦し、スポーツの感動を共有する機会をつくるため、本市の経済・地域の活性化に向けたスポーツに関するワンストップ窓口サービス体制の構築について、検討を進める必要があります。

スポーツツーリズム

日本の持つ自然の多様性や環境を活用し、スポーツという新たなモチベーションを持った訪日外国人を取り込んでいくだけでなく、国内観光旅行における需要の喚起と、旅行消費の拡大、雇用の創出にも寄与するものある。

（「スポーツツーリズム推進基本方針（スポーツ・ツーリズム推進連絡会議）より引用」

５　スポーツ施設の現状と課題

（１）　公共スポーツ施設

現　状

本市には、陸上競技場やラグビー場、野球場、テニスコート、体育館など競技スポーツに対応することのできる施設から、市民が気軽に利用できるプールやジョギングコース、自由広場まで、多様なスポーツ施設が整備されています。

特に、熊谷スポーツ文化公園には、「彩の国まごころ国体」のメイン会場となった陸上競技場・屋内運動施設（くまがやドーム）やラグビー場があり、国内最高レベルの競技会が開催されています。

また、衝撃吸収性のある弾性ゴムチップ舗装のジョギングコースを、熊谷スポーツ文化公園や熊谷さくら運動公園のスポーツ施設のほか、別府沼公園、伊勢町ふれあい公園や籠原中央公園に整備し、ジョギングやウォーキングに盛んに利用されています。このほか、怪我の心配が少なく、安全で雨の日でも利用できるサッカー・ラグビー専用の人工芝グラウンドを「くまぴあ」に整備し、たいへんな人気施設となっています。

一方、体育館使用のニーズは、各団体の大会等や定期的な活動の会場としてたいへん高くなっていますが、時期によってはなかなか予約ができないという状況があります。スポーツに対する多様化するニーズに応えるため、多様なスポーツに対応できるような公共施設の整備が求められているとともに、既存施設の有効活用が期待されています。

課　題

老朽化が進み改修の必要な施設が多くなっています。財政状況が厳しい中で、施設を良好かつ効率的に維持管理していくことが求められており、施設の改修などにあたってはスポーツだけでなく文化、福祉や商業等のほかの分野の施設との複合化をあわせて検討する必要があります。

また、施設のバリアフリー化や市民のニーズに応じた整備を進めていくことも課題となっています。

（２）　学校体育施設開放

現　状

市立小中学校４５校の体育館と校庭を一般市民のスポーツの場として、学校の教育活動に支障のない範囲（平日の夜間、土曜日・日曜日の午前・午後・夜間）で、市民に開放しています。

体育館は、平日夜間にバレーボールやバスケットボール、卓球等で地域の方やＰＴＡのスポーツ活動によく利用されています。土曜日や日曜日には、午前・午後・夜間ともスポーツ少年団の活動や地域の団体によって利用されており、市内全体を合計すると、利用者は平成２８年度（２０１６年度）実績では延べ２７万人となっています。

校庭は、スポーツ少年団や子ども会の活動での利用が中心となっているほか、地域の体育祭やスポーツイベントの会場として利用されるなど、地域住民の交流の場としての役割も果たしています。

課　題

各学校体育施設の利用状況を全体的に把握し、施設の充実など利用者のニーズに合わせた運営が課題となっています。

（３）　民間のスポーツ施設

現　状

市内には、スポーツクラブやスイミングスクール、ゴルフ場などの民間のスポーツ施設があり、市民のスポーツの場となっています。

課　題

市の行事での民間スポーツ施設利用や指導者の交流等、連携を図っていくことが課題と考えられます。

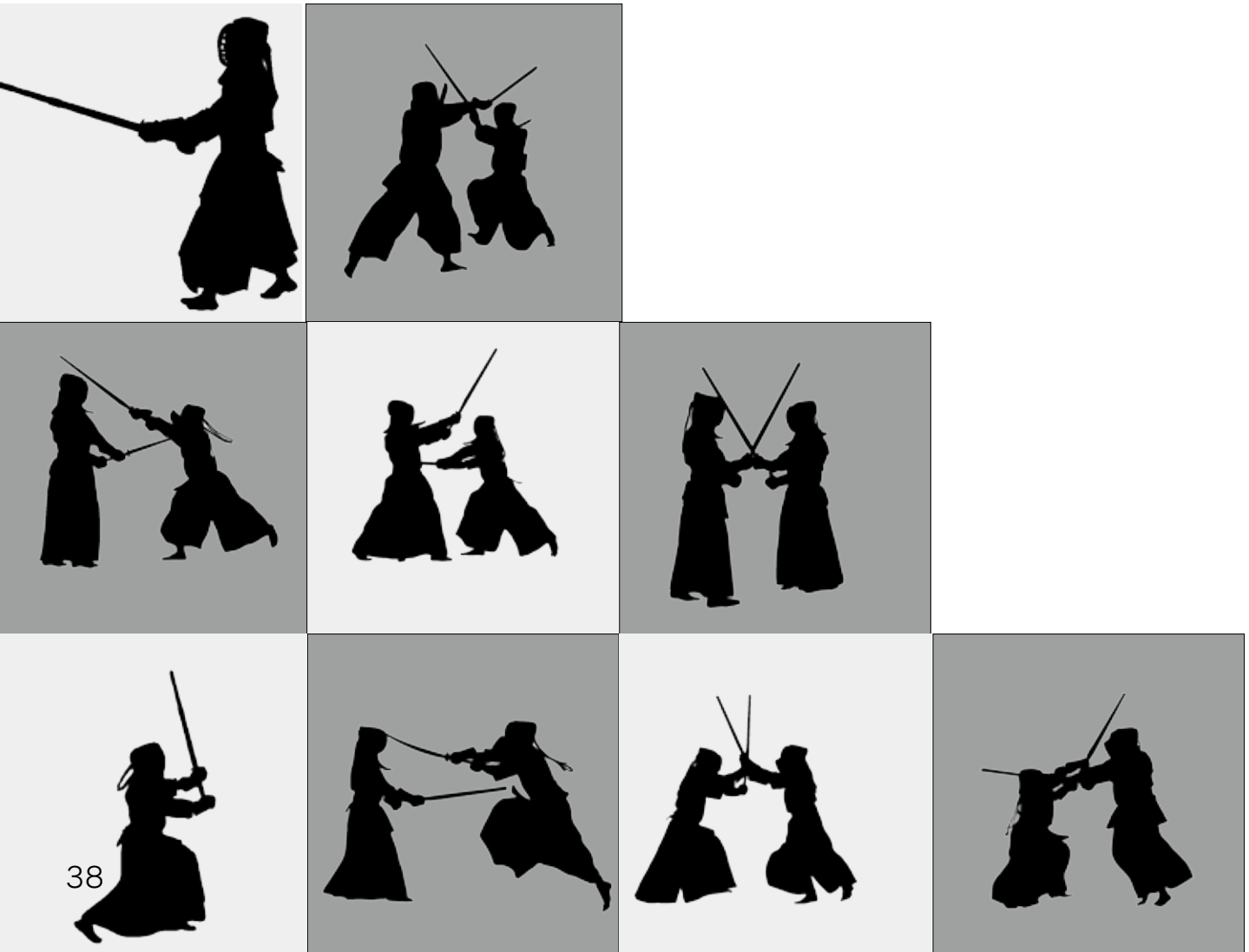
図１３　市内の民間スポーツ施設の状況

種目名	箇所数	種目名	箇所数
ｽｲﾐﾝｸﾞｽｸｰﾙ	2	体操教室	7
テニスクラブ	1	空手道場	5
少林寺拳法道場	1	ボクシングジム	2
ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞｾﾝﾀｰ	8	ゴルフ練習場	8
ｺﾞﾙﾌｼｮｰﾄｺｰｽ	1	ゴルフ場	5
ﾊﾞｯﾃｨﾝｸﾞｾﾝﾀｰ	1		

※体操教室は、ダンス教室を含みます。

出典：平成２８年度（２０１６年度）市町村における生涯スポーツの実態等に関する調査

第３章
スポーツ推進の基本的な考え方



１　基本理念

今回の策定に併せて実施した市民アンケートでは、市民がスポーツを気軽にできる場所の確保やスポーツへのニーズの多様化も明らかになり、また、既存の施設の有効利用、スポーツ施設の老朽化といった課題も喫緊に対処すべきものとなっています。

同時に、ラグビーワールドカップ２０１９の開催に向けての取組とそのレガシーを継承・発展させスポーツ全般へと活用し、「スポーツ熱中都市宣言」の合言葉「実践」「応援」「協力」により、市民一人ひとりがスポーツに熱中することを通して「魅力あふれるまち熊谷」を実現することが必要です。

本計画では、こうした課題を、市民、スポーツ関連団体、事業者と市それぞれが役割を果たし、連携することで、目標の達成を目指すものとし、本市のスポーツ推進の基本理念を次のとおり設定します。

基本理念

スポーツ熱中、生き生き熊谷

・スポーツに熱中する市民とスポーツを支え、連携するまち
・スポーツを通じた新しい価値の創造と地域社会への貢献

２　基本目標

基本理念に基づいて、基本目標を次のように設定します。

基本目標１

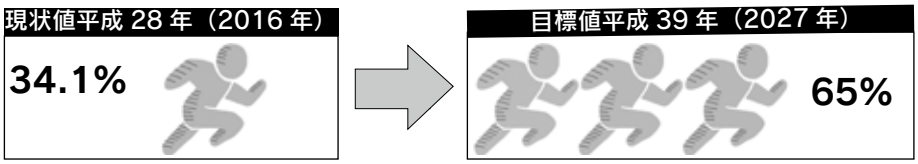
生涯にわたるスポーツ活動の推進

幼児から高齢者まで、だれもが自分にふさわしいスタイルでスポーツ活動に熱中できるよう生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進を図ります。

【重点】

スポーツを週１回以上行う成人の市民が６５％以上になることを目指します。

平成２８年（２０１６年）３４．１％→平成３９年（２０２７年）６５％



基本目標２

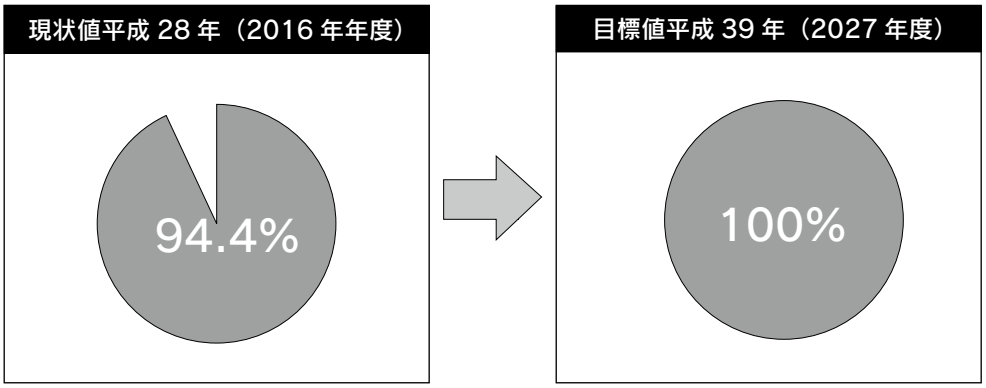
学校体育の充実

児童・生徒が生涯にわたって運動やスポーツに親しむことのできる資質を育てるために、学校体育の充実を図ります。

【重点】

新体力テストの全ての項目で、県平均を上回ることを目指します。

平成２８年（２０１６年度）９４．４％→平成３９年（２０２７年度）１００％）



基本目標３
気軽にスポーツに親しむことができる環境の整備

スポーツ施設の有効利用や整備、指導者の育成・活用の体制の充実、スポーツ情報の収集・発信の充実により、市民が気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりを目指します。

【重点】

施設や指導者、イベント等、スポーツに関する情報を集約し、広く市民に発信します。

目標



基本目標４
スポーツとの連携・協働による活力あるまちづくりの推進

スポーツ大会やスポーツ活動を地域の資源とし、一体感の醸成、交流人口の拡大、まちの活性化・地域経済の発展に寄与できるよう、様々な部門と連携・協働します。

熊谷の伝統とラグビータウン熊谷をはじめとする本市の様々なスポーツ施策によって培われたスポーツ文化に、ラグビーワールドカップ２０１９のレガシーを融合し、熊谷ならではのスポーツ文化（ホームタウン意識）の創出を目指します。スポーツ大会の招致やスポーツツーリズムの推進を含むこの基本目標は、総合振興計画においても重要かつ優先度の高い施策としてリーディングプロジェクトにも位置付けられており、本市の将来像の実現に大きな役割を果たします。

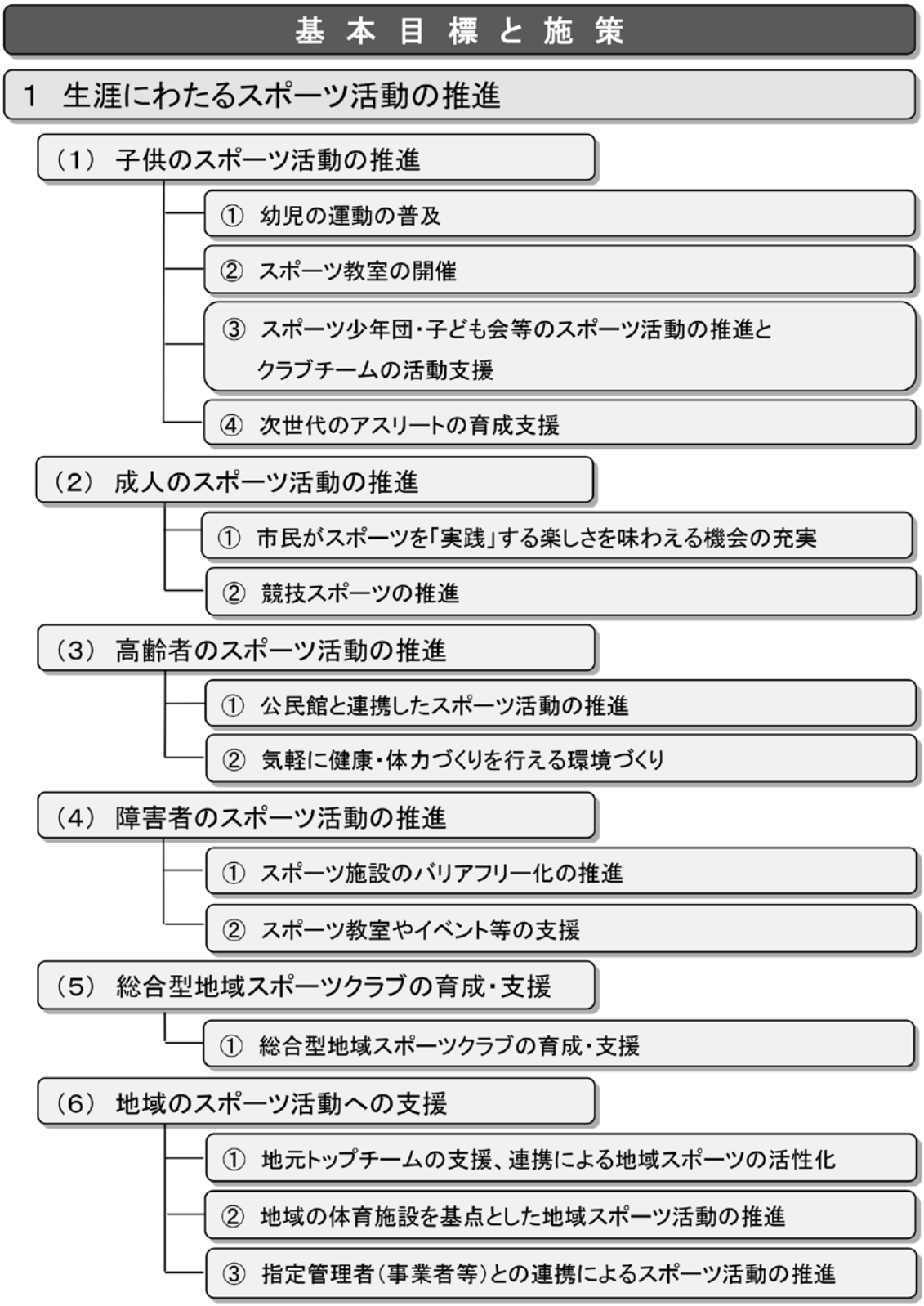
【重点】

市民やスポーツ関係団体、商業関係団体等と協働し、スポーツイベントを充実します。また、様々な場面で市民の参画を促し、「熊谷らしい」おもてなしを工夫し、交流人口の拡大を目指します。

目標



3　推進計画の骨子（基本目標と施策）



２　学校体育の充実

（１）　学校体育の充実

- ①　学校体育の充実
- ②　熊谷教育推進プロジェクト体力向上推進委員会の充実
- ③　中学校運動部活動等の充実

３　気軽にスポーツに親しむことができる環境の整備

（１）　スポーツ施設の整備と有効利用

- ①　スポーツ施設の有効利用の促進
- ②　ウォーキング・ジョギング・サイクリングコースの設定・整備
- ③　市立小中学校の体育施設（校庭・体育館）の開放

（２）　指導者の育成・活用

- ①　スポーツ指導者の発掘・育成
- ②　スポーツ指導者の活用

（３）　スポーツ情報の収集と発信

- ①　スポーツ情報の収集と発信
- ②　ホームチームや本市ゆかりの選手情報の発信

4　スポーツとの連携・協働による活力あるまちづくりの推進

（1） スポーツイベントによるまちの活性化

- ① プロスポーツやスポーツ関連団体等との連携による大会招致
- ② ラグビーワールドカップ2019開催によるスポーツ推進
- ③ スポーツ関連団体との連携によるスポーツボランティアの育成・活用

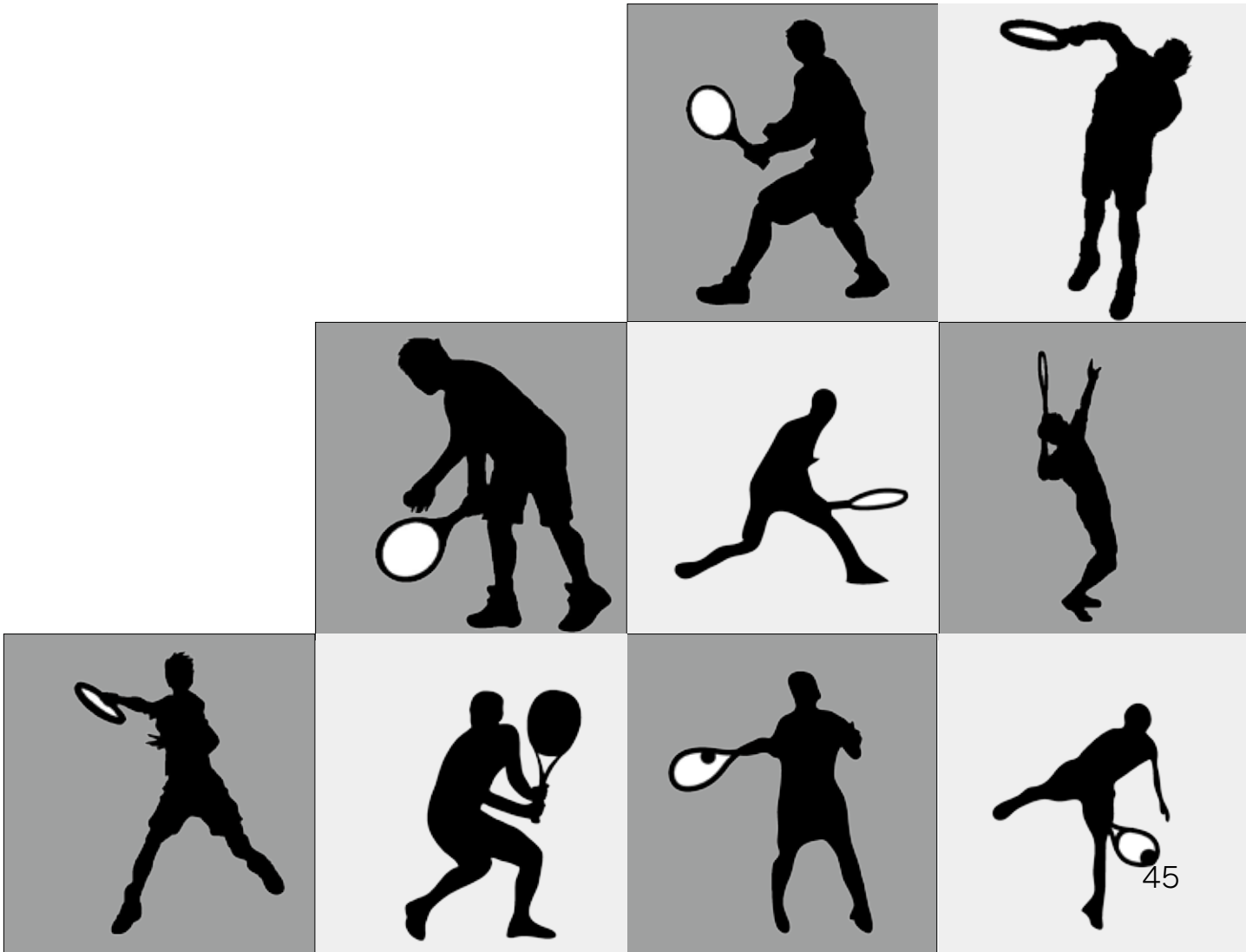
（2） スポーツ文化の創出

- ① スポーツを通じた交流の促進
- ② 熊谷らしいスポーツ文化と
  ラグビーワールドカップ 2019 レガシーの融合

（3） スポーツと地域社会・経済活動の連携

- ① 地元企業、経済界とスポーツの連携による経済効果の創出
- ② スポーツツーリズムの推進
- ③ スポーツ関連事業者との連携による体験型スポーツの研究

第４章
スポーツ推進のための具体的施策



１　生涯にわたるスポーツ活動の推進

（１）　子供のスポーツ活動の推進

幼児・児童・生徒のだれもが、運動に親しみながら体力の向上や健康の保持増進に取り組めるよう、スポーツ活動の推進を図ります。

①　幼児の運動の普及

・親子スポーツ教室の実施等により、運動に取り組む機会の増加に努めます。
・親子で楽しめるスポーツやレクリエーションの情報を提供します。

②　スポーツ教室の開催

・公益財団法人熊谷市体育協会加盟団体が中心となって実施する、様々なスポーツ種目の初心者・初級者を対象としたスポーツ教室の開催を推進・支援します。

③　スポーツ少年団、子ども会等のスポーツ活動の推進と
　　クラブチームの活動支援

・スポーツ少年団活動の充実のために必要な指導者育成事業を推進します。
・熊谷市子ども会育成連絡協議会や放課後子供教室推進事業のスポーツ活動を、地域の方々の参画を得て推進します。
・クラブチームの活動充実に向けた支援を行います。

④　次世代のアスリートの育成支援

・各種スポーツの全国大会などに出場する次世代のアスリートを支援します。
・地域のスポーツ関係団体、武蔵ヒートベアーズやアルカス熊谷のようなトップレベルのチーム・選手と連携した育成活動を通じ、競技力の向上を図ります。

（２）　成人のスポーツ活動の推進

だれもが自分にふさわしいスタイルでスポーツ活動に熱中できるよう生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進を図ります。

①　市民がスポーツを「実践」する楽しさを味わえる機会の充実

・市民がスポーツに親しむきっかけづくりとして、公益財団法人熊谷市体育協会や熊谷市レクリエーション協会などが行うスポーツ教室や講習会が一層充実するよう支援します。
・熊谷市スポーツ推進委員協議会と連携しながら、出前講座を実施するなどして、手軽に楽しめる運動やニュースポーツの普及を図ります。
・熊谷さくらマラソン大会や熊谷めぬま駅伝大会をはじめとしたスポーツイベントを、市民が参加して楽しめるよう一層充実させます。
・仲間とともに楽しむスポーツを志向する市民に向けた女性バレーボール親善大会や卓球親善大会などを、スポーツ推進委員協議会やスポーツ関係団体と協力して開催します。
・熊谷市スポーツ・レクリエーション指導者バンクや熊谷市スポーツボランティアバンクを活用し、地域が開催するスポーツイベントに指導者や支援者を派遣するなどの支援体制を築きます。
・通勤や買物を車から自転車や徒歩に変更するなどの身体活動を、日常の生活に取り入れることを推奨します。

②　競技スポーツの推進

・競技志向に対応し、熊谷市総合体育大会をはじめとした各種スポーツの大会を公益財団法人熊谷市体育協会などと協力して開催します。
・各種スポーツの全国大会などに出場する市民を支援するとともに、オリンピックやパラリンピックなどで優秀な成績をあげた市民や本市ゆかりの選手の顕彰制度を充実します。
・地元の選手や団体の活動状況や活躍などを、市報や市のホームページなどで広報します。
・地域のスポーツ関係団体、武蔵ヒートベアーズやアルカス熊谷のようなトップレベルのチーム・選手と連携し、競技力の向上を図ります。

（３）　高齢者のスポーツ活動の推進

いつまでも生き生きと心身ともに健康で充実した日々を過ごすことができ、介護予防にもつながるよう地域におけるスポーツ環境の整備を図るとともに、高齢者がスポーツ教室やスポーツ大会へ参加できる機会を広げ、高齢者の積極的な社会参加を促進します。

①　公民館と連携したスポーツ活動の推進

・公民館と連携し、高齢者のニーズに応じた各種教室やイベントの開催を推進し、スポーツ活動の機会の拡充を図ります。
・生涯にわたって活動できるようなグループづくりを支援します。

②　気軽に健康・体力づくりを行える環境づくり

・市政宅配講座「高齢者体力測定会」を広く行い、市民が日常の健康・体力づくりに生かせる情報を提供します。
・ウォーキングやラジオ体操など、年齢を問わず実践できる健康づくりのための運動を奨励します。
・高齢者が自ら主体となって体力づくりを行う、介護予防体操を奨励します。


介護予防体操


世代間グラウンドゴルフ大会

（４）　障害者のスポーツ活動の推進

障害者が気軽に身近な施設でスポーツに親しむ機会を広げるため、スポーツ施設のバリアフリー化を進めるとともに、定期的な活動ができるスポーツ教室やスポーツ大会などの充実を図ります。

①　スポーツ施設のバリアフリー化の推進

・障害者が使いやすいようスポーツ施設のバリアフリー化を進めます。

②　スポーツ教室やイベント等の支援

・障害者がスポーツ教室やイベントなどに参加し、楽しむことができるように支援します。また、スポーツボランティアが活動できるような情報を発信します。

・彩の国ふれあいピックなどへの参加を広く呼びかけます。



市民体育館　スロープ



ふれあい運動会

（５）　総合型地域スポーツクラブの育成・支援

市民のだれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツ活動に親しめる環境づくりをすすめるために、「総合型地域スポーツクラブ」の育成・支援事業を実施します。

①　総合型地域スポーツクラブの育成・支援

・子供から高齢者まで全ての年代の市民が自主的に生涯を通してスポーツを行える総合型地域スポーツクラブを育成します。
・スポーツはもとより、地域住民の交流と活性化を図るため、地域のだれもが関わり参加のできるクラブの育成を図ります。
・既存のクラブの一層の発展に向けて、指導者の育成、情報発信や広報などによる支援を行います。

（６）　地域のスポーツ活動への支援

トップレベルのチーム、選手を支援し、地域連帯感の高揚や地域コミュニティ活動の活性化に寄与するよう地域スポーツ活動への支援をします。

①　地元トップチームの支援、連携による地域スポーツの活性化

・市内を拠点とする武蔵ヒートベアーズやアルカス熊谷のほか、本市との関係も深く市民に親しまれているトップレベルのチーム、選手と連携し、市民参加の講習会、イベントを開催しスポーツの振興を図るとともに、地域のスポーツ団体としての認知度の向上と応援・支援の気運を高めます。

②　地域の体育施設を基点としたスポーツ活動の推進

・学校の体育施設など地域の体育施設を基点として、既存のスポーツチームに地域の住民が参加・支援するなど、共にスポーツ活動に親しめる新しい環境づくりを検討します。

③　指定管理者（事業者等）との連携によるスポーツ活動の推進

・公共スポーツ施設の指定管理者と連携して子供から高齢者まで多様なライフステージに応じたスポーツや健康づくりプログラムの取組を充実させます。



武蔵ヒートベアーズによる野球教室

２　学校体育の充実

（１）　学校体育の充実

児童･生徒が生涯にわたって運動やスポーツに親しむことのできる資質を育むために、学校体育の授業や運動部活動等の充実・改善を図ります。

①　学校体育の充実

・運動の特性や魅力を味わわせる授業の実践のため、指導者研修の充実により教員の指導力向上を図ります。
・地域の優れた人材を体育授業や体育行事等に生かします。
・体育科や保健体育科の授業、体育的活動時に運動量を確保するとともに、いろいろな動きを経験させ体力・運動能力の向上に努めます。
・小学校の体育科やクラブ活動の授業、中学校の保健体育科の授業で、いろいろなスポーツを経験し楽しさが味わえるようにします。
・全小中学校に、体育指導専門員が訪問し、本市児童・生徒の体力向上や教員の指導力改善を図ります。

②　熊谷教育推進プロジェクト体力向上推進委員会の充実

・本市児童・生徒の体力の実態把握を基にして、課題を明確にし、体力向上を図ります。
・広報紙を発行し、各学校の優れた取組を全小中学校に周知します。

③　中学校運動部活動等の充実

・部活動地域連携事業により、専門的な技術指導のできる地域の方を外部指導者として派遣します。
・市内中学校の同じ種目の運動部が合同で、高等学校や大学の運動部と練習会や指導者の交流などを行い、競技力の向上を図ります。
・地域住民が部活動に参加し、住民が生徒を指導し練習相手になることで、住民自身もスポーツが楽しめるような地域と連携した部活動を推進します。
・運動部活動支援員活用事業により、支援員を中学校に配置し、運動部活動の充実及び活性化を図ります。

３　気軽にスポーツに親しむことができる環境の整備

（１）　スポーツ施設の整備と有効利用

スポーツに親しめる場として、施設の整備を検討するとともに、既存のスポーツ施設の有効利用を推進します。また、身近な学校体育施設開放の充実を図ります。

①　スポーツ施設の有効利用の促進

・スポーツに対する多様化するニーズに応えるため、多様なスポーツに対応できるような公共施設の整備を検討するとともに、既存施設の有効活用を図ります。
・ニーズの高いスポーツの用具を、市民の要請に応じて貸し出せるような体制整備を検討します。
・市民のライフスタイルの変化に対応し、個人利用の促進や施設の利用時間などの見直しを行い、利便性の向上を目指します。
・スポーツ関連団体が行う、個人が気軽に楽しめるスポーツ種目の講習を推進します。
・スポーツ施設などの改修にあたっては、スポーツ施設と文化、福祉、商業など他の分野の施設の複合化や相互利用を検討します。

②　ウォーキング・ジョギング・サイクリングコースの設定・整備

・市民が身近に実践できるウォーキングコースやジョギングコースを設定し紹介するとともに、サイクリングコースの整備を検討します。
・既存の道路への自転車レーン整備や公園を周回するジョギングコースの整備などはスポーツ利用も考慮に入れ、整備や改修を検討します。

③　市立小中学校の体育施設（校庭・体育館）の開放

・地域住民によるスポーツ活動の場として開放するとともに、誰もが使いやすい施設の環境づくりに努めます。

（２）　指導者の育成・活用

トップアスリートやその指導者、体育系大学の卒業者など、地域のスポーツ指導者として資質や意欲のある人材を発掘・育成するとともに、これらの人材を地域のスポーツ指導者などとして活用していく体制づくりを進めます。

①　スポーツ指導者の発掘・育成

・ホームページや広報紙により公募を行うとともに、スポーツ関係団体やトップレベルのチームなどと協力して、スポーツ指導者の発掘に努めます。
・熊谷市スポーツ・レクリエーション指導者バンクへの指導者登録を促進し、指導者の育成・派遣の体制を充実させます。
・スポーツ指導者の研修会などへの参加を促進し、トップレベルのスポーツ選手などを指導者として派遣し、支援を行います。

②　スポーツ指導者の活用

・熊谷市スポーツ・レクリエーション指導者バンクの登録指導者を地域のスポーツ活動の指導者として派遣します。

（３）　スポーツ情報の収集と発信

市民がいつでもスポーツに親しむことができるように、スポーツイベントやスポーツ施設などの情報収集とその発信を行い、市民がスポーツに親しむ機会を増やすとともに、郷土愛の醸成に努めます。

①　スポーツ情報の収集と発信

・大会・イベント情報の収集を行い、広報紙やホームページなどを活用して、市民にわかりやすく発信し、多くの市民が来場して応援し、スポーツの感動を共有できるようにします。
・ウォーキングなど年齢を問わず実践できる運動を奨励し、健康づくりやスポーツを始めたい人に役立つ情報発信に努めます。
・ラグビーワールドカップ２０１９をはじめとしたラグビーに関する情報をＳＮＳなどの情報発信ツールも活用しながら積極的に発信し、ラグビーに対する市民の関心を高めます。

②　ホームチームや本市ゆかりの選手情報の発信

・本市を拠点とするトップスポーツチームやゆかりのスポーツ選手等に関する情報を発信し、試合会場での応援の機会を増やします。
・市民が地元のスポーツチームや選手の活躍を共有、応援できる場所を作ります。
・本市を本拠地とするスポーツチームや、ラグビーなど本市にゆかりの深いスポーツを中核に、ホームタウン意識の醸成を図ります。
・オリンピックやパラリンピックなど国際大会における本市ゆかりのチームや選手のパブリック・ビューイングを実施します。



リオデジャネイロ パラリンピック　パブリック・ビューイング

４　スポーツとの連携・協働による活力あるまちづくりの推進

（１）　スポーツイベントによるまちの活性化

スポーツイベントを生かし、広い視野に立ってまちの活性化を図ります。

魅力あるスポーツ大会やプロスポーツ等の招致・開催に努め、市民に夢や感動を与える機会の拡充に努めます。

また、市民の多様な生涯スポーツ活動が楽しく円滑に行われるように、スポーツボランティアの育成・組織化を促進します。

①　プロスポーツや関連団体等との連携による大会招致

・関係機関や競技団体と連携した積極的な大会招致活動を行います。
・スポーツ大会の主催者ニーズを把握し、大会運営に必要な各種情報を一元的に提供できる体制の構築を目指します。
・全国レベルの新たなスポーツ大会の開催を促すため、観光事業者と連携し、主催者の開催支援につながる方策を検討します。
・スポーツと連携したシティープロモーション活動を展開します。

②　ラグビーワールドカップ２０１９開催によるスポーツ推進

・ラグビータウン熊谷を世界に発信するとともに、スポーツを実践・観戦しやすい環境整備、子供たちの郷土愛醸成など、次世代に誇れる有形・無形の遺産（レガシー）の創出を図ります
・大会後も、日本代表戦やトップリーグなどが開催され、ラグビーの聖地という誇りと郷土愛が末永く継承されるように取り組みます。

③　スポーツ関連団体との連携によるスポーツボランティアの育成・活用

・各競技団体や公益財団法人熊谷市体育協会などと連携し、広く市民に呼びかけ、スポーツボランティアの募集や登録を進めるとともに積極的な参画を図ります。
・平成２８年度（２０１６年度）に発足したスポーツボランティア制度を拡充し、様々な大会への協力体制を図ります。
・スポーツに関する様々な分野で、大会主催者などと連携し、ボランティアが活躍できる場を創出します。

（２）　スポーツ文化の創出

スポーツ選手の活躍は、市民に感動の共有、夢と希望を与え、スポーツへの関心を高めます。また、スポーツの場では、選手同士はもとより、人と人、地域と地域、国と国、様々なレベルでの交流が生まれ、人々の相互理解にも重要な役割を果たします。

本市では、ラグビーワールドカップ２０１９を始め、大規模スポーツイベントが頻繁に開催される環境にあり、こうしたスポーツの価値や役割を認識し、本市ならではのスポーツ文化を目指します。

①　スポーツを通じた交流の促進

・スポーツ会場やパブリック・ビューイングにおける応援と協力を積極的に行い、選手と市民や市民同士の交流を行います。
・ラグビーワールドカップ２０１９を契機にした、国際的な交流の機運を醸成します。

②　熊谷らしいスポーツ文化とラグビーワールドカップ２０１９レガシーの融合

・ラグビーワールドカップ２０１９の開催都市として、イベントの充実を図ります。
・ラグビーワールドカップ２０１９のレガシーと既存のスポーツ事業を融合し、熊谷ならではのスポーツイベントを検討します。
・「ラグビータウン熊谷」の伝統を継承・発展させ、本市独自のスポーツ文化の創出を目指します。
・参加国の言語、食や伝統など文化に関する講座などを開催し、ラグビーワールドカップ２０１９の機運を盛りあげるとともに、ラグビー文化のさらなる発展に取り組みます。

（３）　スポーツと地域社会・経済活動の連携

本市で開催される各種スポーツ大会に伴う交流人口の拡大は、観光や商業と同様、地域経済の発展にも広く寄与すると考えられます。

スポーツ大会、イベントの開催に伴う直接的な効果に加え、スポーツ関係者が市内に滞在、回遊することでより大きな経済効果が見込まれます。スポーツ、観光と商業の各分野が連携し、スポーツ団体や観戦者のニーズを踏まえた熊谷の魅力を提案します。

①　地元企業、経済界とスポーツの連携による経済効果の創出

・本市を拠点とするスポーツチームや民間事業者と連携し、本市ならではのスポーツビジネスの創出に向けて取り組みます。
・スポーツコミッション（スポーツ大会やスポーツイベントの主催者、来訪者、それぞれのニーズに対して柔軟に対応できるワンストップ窓口サービス）の設立に向けた取り組みを行います。あわせて、地域のネットワークを活用しながら、交流人口の拡大を目指します。

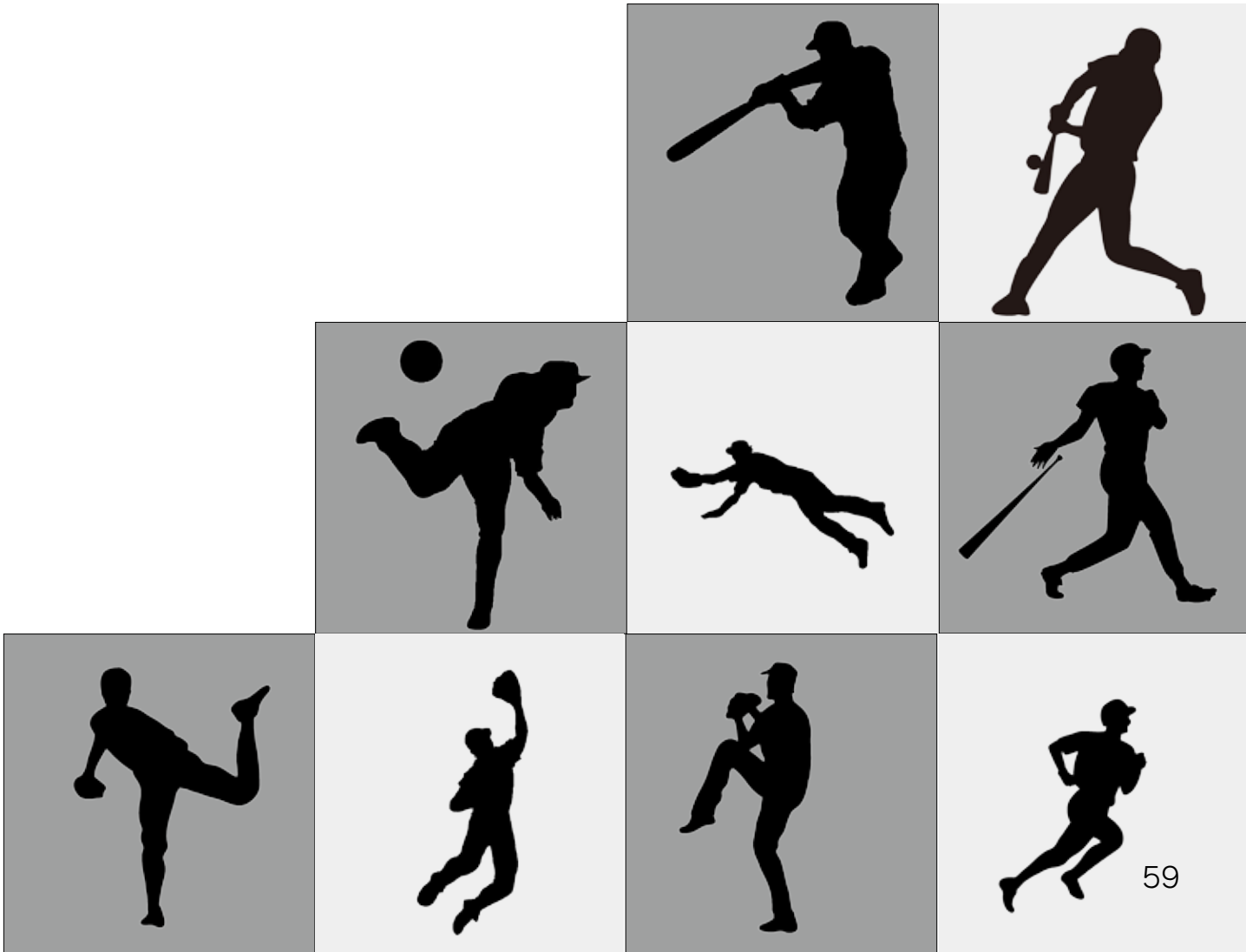
②　スポーツツーリズムの推進

・本市のスポーツ環境を生かして誘客の期待できるスポーツ大会やイベントの誘致に取り組むとともに、観光事業と密接に連携し、官民一体となって満足度の高いスポーツツーリズムを提供します。
・大会主催者等と連携し、大会関係者や観客に本市のご当地グルメや物産などのＰＲを行います。

③　スポーツ関連事業者との連携による体験型スポーツの研究

・本市への来訪者に対し、簡単に取り組めるスポーツ体験の場の整備を検討します。

第５章
計画の推進体制



本計画の実現にあたっては、市民の健康増進、郷土愛の醸成や地域経済の活性化などに繋がるスポーツに関する施策を総合的、体系的かつ戦略的に推進することが求められます。

また、本市を取り巻くスポーツ環境の変化や多様化するニーズに応えるためには行政の取組だけでなく地域住民との協働が欠かせません。地域の中で、市民、スポーツ関連団体、事業者は、それぞれの役割を担うとともに、相互に連携を図りながら、計画の推進にあたることが必要です。

１　役割

（１）　市民の役割

スポーツ推進の担い手として、スポーツの実践に加え、地域のスポーツ活動に参画し、地元のチームを応援、さらにスポーツイベントや各種大会等スポーツボランティアとして積極的に参加していくことが期待されます。

（２）　スポーツ関連団体の役割

市や事業者と連携し、市民のスポーツに親しむ機会の充実、競技力の向上やスポーツの持つ魅力を発信していくことが求められます。

また、団体の特性によっては、スポーツボランティアなど地域の人材を活用しながら、自立的かつ継続した運営が期待されます。

（３）　事業者の役割

事業者は、地域社会の構成員であるという自覚のもと、自らが所有する施設、設備、人材や情報などを可能な範囲で、地域のスポーツ活動に提供していくことが期待されます。

また、スポーツ施設の管理・運営や、各種教室の実施に当たっては、指定管理者制度や業務委託などの方法により、効率的かつ効果的な事業の実施やノウハウを生かしたスポーツ推進事業の実施が期待されます。

（４）　市の役割

市民がスポーツを積極的に実践、応援、及び協力することを推進するため必要な施策に取り組みます。

また、市民、スポーツ関連団体、事業者及び市が連携し、スポーツを活用した総合的なまちづくりを推進します。

２　連携分野

（１）　教育

子供たちの心身の健全な育成を図り、実践だけでなくスポーツに対する多様な関係の在り方も学習し、生涯スポーツの推進へつなげます。

また、学校や部活動だけでなく、地域、スポーツ関連団体とも連携し、トップレベルの選手とのふれあいや指導を受けることで、スポーツに親しむ環境をつくります。

（２）　経済・観光

大規模スポーツイベントの誘致・実施・支援を通じて地元の経済、観光団体と連携し、市内での交流、回遊を生み出し、地域の魅力を発信します。

特に、世界の３大スポーツイベントの一つであるラグビーワールドカップ２０１９や翌年の東京２０２０オリンピック・パラリンピックは、国内外に、本市の魅力をアピールする絶好の機会であり、各種団体、事業者や市民レベルの様々な分野と連携し、シティープロモーション活動を積極的に行います。

（３）　文化

ラグビータウン熊谷や国体を契機としたスポレクフェスティバルをはじめとする本市のスポーツ文化と地域の文化活動や観光事業との連携も視野に入れ、交流の拡大を図り、スポーツ文化の裾野を広げます。

また、地域ゆかりのスポーツ選手やトップレベルのチームを本市の貴重な財産と考え、市民から行政まで様々な各階層での応援、支援を通じた熊谷ならではのスポーツ文化を育みます。

（４）　健康・福祉

ウォーキングやヨガ、健康体操など、だれもが自分のペースで実施できるスポーツの機会を提供し、心身の健康づくりを推進します。

また、市民が望むニーズに対応できるよう、施設の多様な利用形態を検討します。

上記の分野以外でも、スポーツの推進が地域社会において好影響と好循環をもたらす連携を積極的に進めます。

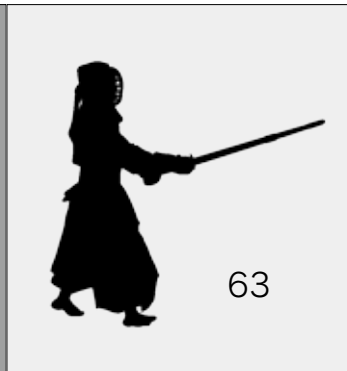
３　計画の見直し

本計画では、計画の進捗状況を全般的に評価し、スポーツ・社会を取り巻く環境変化や市民ニーズの把握に努め、より効果的にスポーツの推進が図れるよう必要に応じて計画の見直しを行います。

熊谷市スポーツ推進計画
資　料　編

資料１　熊谷市スポーツ推進審議会設置条例
資料２　熊谷市スポーツ推進審議会委員
資料３　熊谷市スポーツ振興計画庁内検討会議設置要綱
資料４　計画策定の経過
資料５　熊谷市スポーツ振興まちづくり条例
資料６　市内の主な公共スポーツ施設
資料７　「スポーツやレクリエーション」についてのアンケート調査報告書



資料１　熊谷市スポーツ推進審議会条例

平成 17 年 10 月 1 日
条例第 115 号

(設置)

第 1 条　スポーツ基本法(平成 23 年法律第 78 号。以下「法」という。)第 31 条の規定に基づき、熊谷市スポーツ推進審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(任務)

第 2 条　審議会は、法 35 条に規定するもののほか、市長の諮問に応じて、次に掲げる事項について調査審議し、及びこれらの事項に関して市長に建議する。

(1)法第 10 条に第 1 項に規定する地方スポーツ推進計画に関すること。
(2)スポーツの施設及び設備の整備に関すること。
(3)スポーツ指導者の養成及びその資質の向上に関すること。
(4)スポーツ事業の実施及び奨励に関すること。
(5)スポーツ団体の育成に関すること。
(6)スポーツによる事故の防止に関すること。
(7)スポーツの技術水準の向上に関すること。
(8)前各号に掲げるもののほか、スポーツの推進に関すること。

(組織)

第 3 条　審議会は、15 人以内で組織する。

2　審議会に会長及び副会長 1 人を置き、委員の互選によってこれを定める。

第 4 条　審議会の委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

(1)学識経験のあるもの
(2)関係行政機関の職員

(任期)

第 5 条　審議会の委員の任期は 2 年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

2　審議会の委員は、再任されることができる。

(議事)

第 6 条　審議会は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

2　議題に対し表決の必要ある場合には出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは会長がこれを決定する。

(委任)

第 7 条　この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附　則

この条例は、平成17年10月1日から施行する。

附　則

（施行期日）

1　この条例は、平成23年4月1日から施行する。

（熊谷市スポーツ振興審議会設置条例の一部改正に伴う経過措置）

3　この条例の施行の際現に前項の規定による改正前のスポーツ振興審議会設置条例（以下この項において「旧条例」という。）第4条の規定により規定により任命されている委員は、この条例の施行日（以下「施行日」という。）に同項の規定による改正後の熊谷市スポーツ振興審議会（以下この項において「新条例」という。）第4条の規定により任命された委員とみなす。この場合において、任命されたとみなされる委員の任期は、新条例第5条の規定にかかわらず、施行日における旧条例第4条の規定により任命された委員としての任期の残任期間と同一の期間とする。

附　則（平成24年3月26日条例第11号）

この条例は公布の日から施行する。

資料２

平成２８・２９年度熊谷市スポーツ推進審議会委員名簿

（敬称略）

氏　　名	推薦団体等
松　本　富　男	熊谷市議会
閑　野　高　広	
赤　沼　　昇	（公財）熊谷市体育協会
深　町　行　男	
小　島　甲　枝	熊谷市婦人会連盟
山　川　幸　男	熊谷市公民館連合会
藤　間　憲　一	熊谷商工会議所
渡　辺　範　子	くまがや市商工会
磯　山　加代子	熊谷市レクリエーション協会
小　澤　留理子	熊谷市医師会
浅　見　信　行 （平成２８年度）	熊谷市中学校体育連盟
柏　瀬　健　一 （平成２９年度）	
木　島　直　樹	熊谷市小学校体育連盟
飯　島　美智子	熊谷市社会教育委員会議
吉　田　条　枝	熊谷市スポーツ推進委員協議会
西　田　　勝 （平成２８年度）	熊谷市ＰＴＡ連合会
上　原　好　則 （平成２９年度）	

資料３　熊谷市スポーツ振興基本計画策定庁内検討会議設置要綱

平成２９年４月２４日決裁

（設置）

第１条　熊谷市におけるスポーツ振興基本計画の策定に当たり、庁内の関係部局の職員により必要な事項を検討するため、熊谷市スポーツ振興基本計画策定庁内検討会議（以下「庁内会議」という。）を設置する。

（所掌）

第２条　庁内会議は、次に掲げる事務を所掌する。

（１）　スポーツ振興基本計画の基本方針に関すること。

（２）　スポーツ振興基本計画の案に関すること。

（３）　その他スポーツ振興基本計画の策定に関し必要な事項に関すること。

（組織）

第３条　庁内会議に委員長、副委員長及び委員を置く。

２　委員長は、総合政策部長の職にある者を、副委員長はスポーツ観光課長の職のある者を、委員は別表第１に掲げる職にある者をもって充てる。

３　委員長は、庁内会議を代表し、会務を総理する。

４　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

（会議）

第４条　庁内会議の会議は、委員長が必要に応じて招集し、その議長となる。

２　委員は、会議に出席できないときは、その指名する者を代理で会議に出席させることができる。

３　委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求めることができる。

（庶務）

第５条　庁内会議の庶務は、スポーツ観光課において処理する。

（委任）

第６条　この要綱に定めるもののほか、庁内会議の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附則

１　この要綱は、決裁のあった日から施行する。

役職名	所　　属	
委員長	総合政策部	部長
副委員長	〃	スポーツ観光課長
委員	総合政策部	企画課長
〃	〃	財政課長
〃	〃	広報広聴課長
〃	〃	ラグビーワールドカップ 2019 推進室長
〃	市民部	市民活動推進課長
〃	〃	健康づくり課長
〃	〃	男女共同参画室長
〃	福祉部	長寿いきがい課長
〃	〃	障害福祉課長
〃	〃	こども課長
〃	産業振興部	商工業振興課長
〃	都市整備部	公園緑地課長
〃	教育委員会	教育総務課長
〃	〃	学校教育課長
〃	〃	社会教育課長
〃	〃	中央公民館長

資料４　計画策定の経過

⑴　スポーツ推進審議会

日　付	内　容
平成２８年７月１２日	⑴今後のスポーツ推進策について
平成２８年１２月２２日	⑴スポーツ振興基本計画について
平成２９年９月２０日	⑴スポーツ推進計画の策定について
平成２９年１１月１０日	⑴スポーツ推進計画（案）についての諮問 ⑵スポーツ推進計画（案）について
平成３０年　２月　９日	⑴スポーツ推進計画（案）について
平成３０年　２月２２日	⑴スポーツ推進計画（案）について答申

⑵　策定庁内検討会議

日　付	内　容
平成２９年２月２３日	⑴スポーツ振興基本計画策定の概要について ⑵計画素案の検討、修正について ⑶今後のスケジュールについて
平成２９年６月２８日	⑴計画の名称について ⑵計画素案の検討、修正について

⑶　策定庁内検討会議作業部会

日　付	内　容
平成２８年１１月２９日	⑴スポーツ振興基本計画策定の概要について ⑵計画素案の検討、修正について ⑶今後のスケジュールについて
平成２９年５月１７日	⑴計画素案の検討、修正について

資料５　熊谷市スポーツ振興まちづくり条例

平成 23 年 3 月 24 日
条例第 5 号

スポーツは、人格の形成、体力の向上及び健康長寿の礎であるとともに、地域の活性化、スポーツ産業の広がりによる経済的効果の増大等に寄与し、明るく豊かで活力に満ちた社会を形成する上で欠かすことができないものである。

本市は、「実践」「応援」「協力」を合い言葉に、誰もが生涯にわたって健康で元気に暮らせるまちづくりを目指し、「スポーツ熱中都市」を宣言した。

市民等、スポーツ関連団体、事業者及び行政が連携を強化し、生涯スポーツ、障害者スポーツ及び高齢者スポーツを振興するとともに、スポーツを活用した活力あるまちづくりを推進するため、この条例を制定する。

（目的）

第１条　この条例は、スポーツの振興によるまちづくりを総合的に実施することにより、市民の健康及び福祉の増進並びに活力あるまちづくりに資することを目的とする。

（定義）

第２条　この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

⑴　市民等　市内に居住し、通学し、通勤し、若しくは滞在する者又は本市が推進するスポーツ振興まちづくりに賛同し、及び協力する個人をいう。

⑵　スポーツ関連団体　市内においてスポーツ関連活動を行う法人その他の団体（国及び地方公共団体を除く。）をいう。

⑶　事業者　市内において事業活動を行うすべての者（スポーツ関連団体を除く。）をいう。

⑷　スポーツ振興まちづくり　広範な分野において、市民等、スポーツ関連団体、事業者及び行政が連携することにより、スポーツを振興し、健康で活力ある地域社会を形成することをいう。

⑸　スポーツ関連活動　スポーツをすること、見ること若しくは学ぶこと又はこれらを支えることをいう。

⑹　スポーツ財産　スポーツ関連活動を行う者、スポーツ施設その他スポーツ振興まちづくりの推進に寄与する財産をいう。

（市の責務）

第３条　市は、この条例の目的を達成するため、スポーツ振興まちづくりを推進しなければならない。

２　市は、市民等がスポーツを積極的に実践し、応援し、及び協力することを推進するために必要な措置を講ずるものとする。

（市民等の役割）

第４条　市民等は、自らの自由な意思に基づき、スポーツ活動を通じて、スポーツ振興まちづくりを実現するよう努めるものとする。

（スポーツ関連団体の役割）
第５条　スポーツ関連団体は、自主的なスポーツ関連活動を通じて、スポーツ振興まちづくりに関する施策に協力する役割を担うものとする。
（事業者の役割）
第６条　事業者は、スポーツ関連活動を行いやすい環境の整備に努めるとともに、スポーツ振興まちづくりに関する施策に協力する役割を担うものとする。
（生涯スポーツ等の振興）
第７条　市は、すべての市民等が生涯にわたってスポーツに親しむことができるよう生涯スポーツの振興に努めるものとする。
２　市は、障害者及び高齢者の社会参加を促進するため、障害者及び高齢者のスポーツ振興に配慮するものとする。
（スポーツ施設の整備）
第８条　市は、本市のスポーツ施設を整備し、及び充実するため必要な措置を講ずるものとする。
（スポーツ財産の活用）
第９条　市は、本市のスポーツ財産について、効果的及び効率的な活用を図るものとする。
（スポーツ選手の育成）
第１０条　市は、スポーツの競技力向上のため、スポーツ関連団体と協力して、選手を育成する必要な措置を講ずるものとする。
（推進組織）
第１１条　市は、市民等、スポーツ関連団体及び事業者と意見を交換し、相互に協力して、スポーツ振興まちづくりを推進するための組織を設置するものとする。
（委任）
第１２条　この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附　則
この条例は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

資料６　市内の主な公共スポーツ施設

総合施設（屋外・屋内複合）

熊谷さくら運動公園	
所在地	熊谷市小島１５７－１
主な機能	屋内プール（アクアピア）、屋外プール、トレーニングルーム、野球場（メイン、第１、第２）、テニスコート（１８面）、陸上競技場、多目的広場、弓道場、相撲場、ジョギングコース（1周約1ｋｍ）

妻沼運動公園	
所在地	熊谷市飯塚２００－１
主な機能	体育館（バレーボールコート２面分）、緑の広場（照明設備あり）、野球場、テニスコート、こども広場、スケートパーク

熊谷市スポーツ・文化村くまぴあ	
所在地	熊谷市原島３１５
主な機能	体育館（アリーナ（バレーボールコート２面分）、卓球場、柔道場・剣道場）、テニスコート（２面）、人工芝グラウンド（サッカー１面）、多目的グラウンド（ソフトボール1面）、宿泊棟

体育館等

市民体育館	
所在地	熊谷市桜木町２－３３－５
主な機能	アリーナ（バレーボールコート３面分）、柔道場、剣道場

東部体育館	
所在地	熊谷市佐谷田３７１－１
主な機能	アリーナ（バレーボールコート１面分）

別府体育館	
所在地	熊谷市西別府２２５２－１
主な機能	アリーナ（バレーボールコート１面分）

大里体育館	
所在地	熊谷市津田２１
主な機能	アリーナ（バレーボールコート２面分）

江南体育館	
所在地	熊谷市江南中央２－３－１
主な機能	アリーナ（バレーボールコート２面分）

武道館	
所在地	熊谷市江波３６３
主な機能	柔道場（２面）、剣道場（２面）、弓道場（三人立）

グラウンド

大里総合グラウンド	
所在地	熊谷市中曽根６５０
主な機能	グラウンド（照明設備あり）

江南総合グラウンド	
所在地	熊谷市押切２４３６
主な機能	グラウンド（照明設備あり）

熊谷荒川緑地	
所在地	熊谷市熊谷　外
主な機能	ソフトボールグラウンド９面（うち２面は、軟式野球と兼用）、ラグビー場１面、運動広場４面等

江南総合公園	
所在地	熊谷市板井３７７
主な機能	野球場、多目的広場、遊具広場、芝生広場

利根川総合運動公園	
所在地	熊谷市葛和田地先
主な機能	葛和田サッカー場４面（芝）、大野サッカー・ラグビー場、１面（芝）、テニスコート４面、ゴルフ場（妻沼ゴルフ場）

妻沼東運動公園	
所在地	熊谷市上須戸９５２－１
主な機能	グラウンド

プール

健康スポーツセンター	
所在地	熊谷市津田１７８８－１
主な機能	各種プール、スタジオ(トレーニング室)、浴室

その他施設

熊谷スポーツ文化公園	
所在地	熊谷市上川上３００
主な機能	彩の国くまがやドーム（多目的運動場（人工芝、テニスコート８面、フットサルコート２面）、アリーナ（バレーボール４面分）、トレーニングルーム） 陸上競技場（第１種公認陸上競技場）、補助陸上競技場、投てき場 ラグビー場（Ａグラウンド　収容人数　約２４，０００人、Ｂグラウンド　収容人数　約６，７００人、Ｃグラウンド） ソフトボール場、ジョギングコース

資料７　　「スポーツやレクリエーション」についての
アンケート調査報告書

平成２８年１１月　　熊谷市総合政策部スポーツ振興課

Ⅰ　調査の趣旨

近年、豊かなライフスタイルを送るためのスポーツの果たす役割はますます重要となっています。

本市は現在、スポーツ・レクリエーション活動において、「実践」「応援」「協力」の場の創出に努め、市民の皆さまがスポーツをとおした活力に満ちたまちづくりを進めるため、「熊谷市スポーツ振興基本計画（平成２４年度～平成２９年度)」に基づき、各施策に取り組んでいます。

このたび、熊谷市スポーツ振興基本計画の改定にあたり、市民の皆さまにアンケートをお願いし、本市のスポーツをとおしたまちづくりに活かすための資料として活用させていただきたいと思います。

Ⅱ　調査の概要

平成 28 年 9 月中旬、15 歳以上の市民から無作為に抽出した 2,000 人にアンケート調査表を郵送し、返信用封筒による郵送で回収しました。

アンケートの回収数は 837 通、回収率は 41.9%でした。

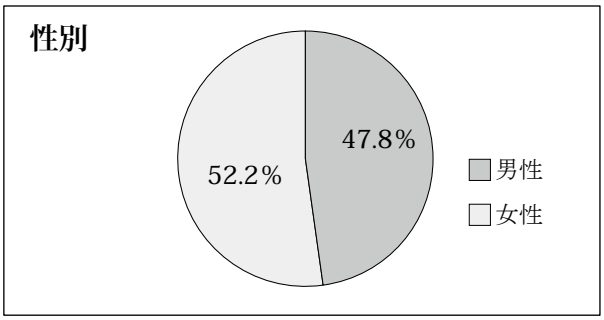
※注１　割合を四捨五入して表示しているため合計が 100%にならない項目があります。
※注２　表の数値及びグラフの単位の記載の無い数字は人数です。

Ⅲ　アンケート集計結果

１　回答者属性について

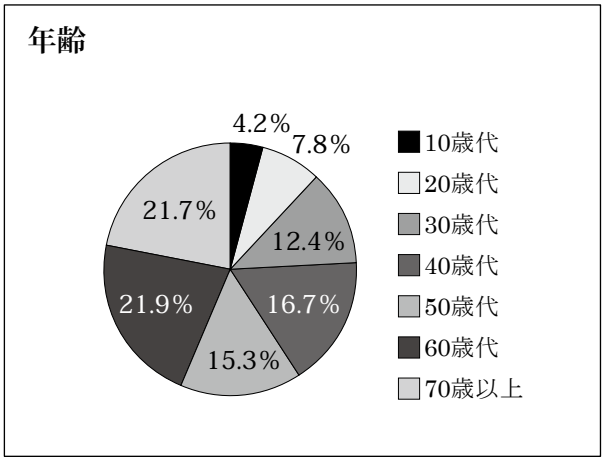
問１　性別

男　性	400
女　性	437
合　計	837



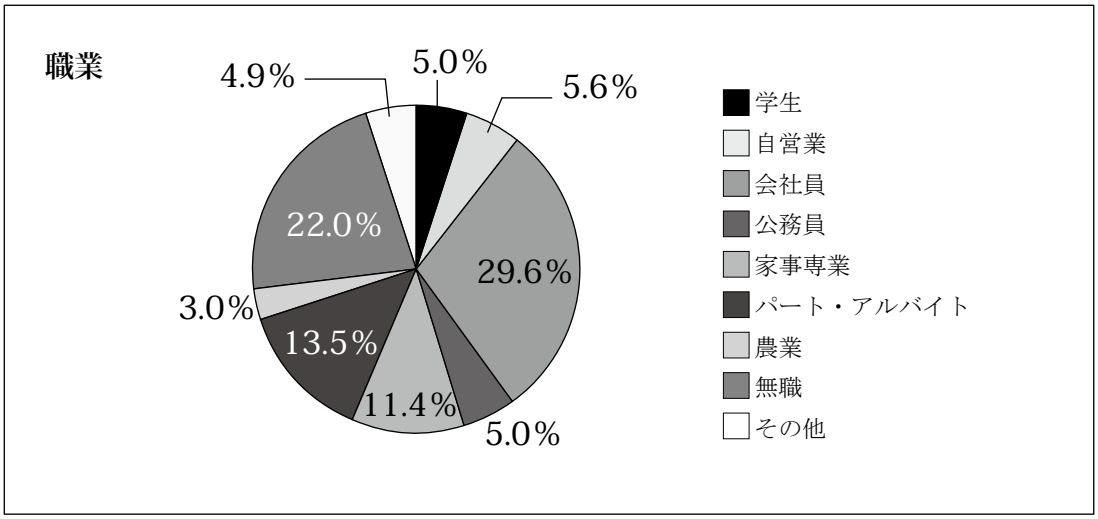
問２　年齢

10 歳代	35
20 歳代	65
30 歳代	104
40 歳代	140
50 歳代	128
60 歳代	183
70 歳以上	182
合計	837



問３　職業

学生	42	パート・アルバイト	113
自営業	47	農業	25
会社員	248	無職	184
公務員	42	その他	41
家事専業	95		

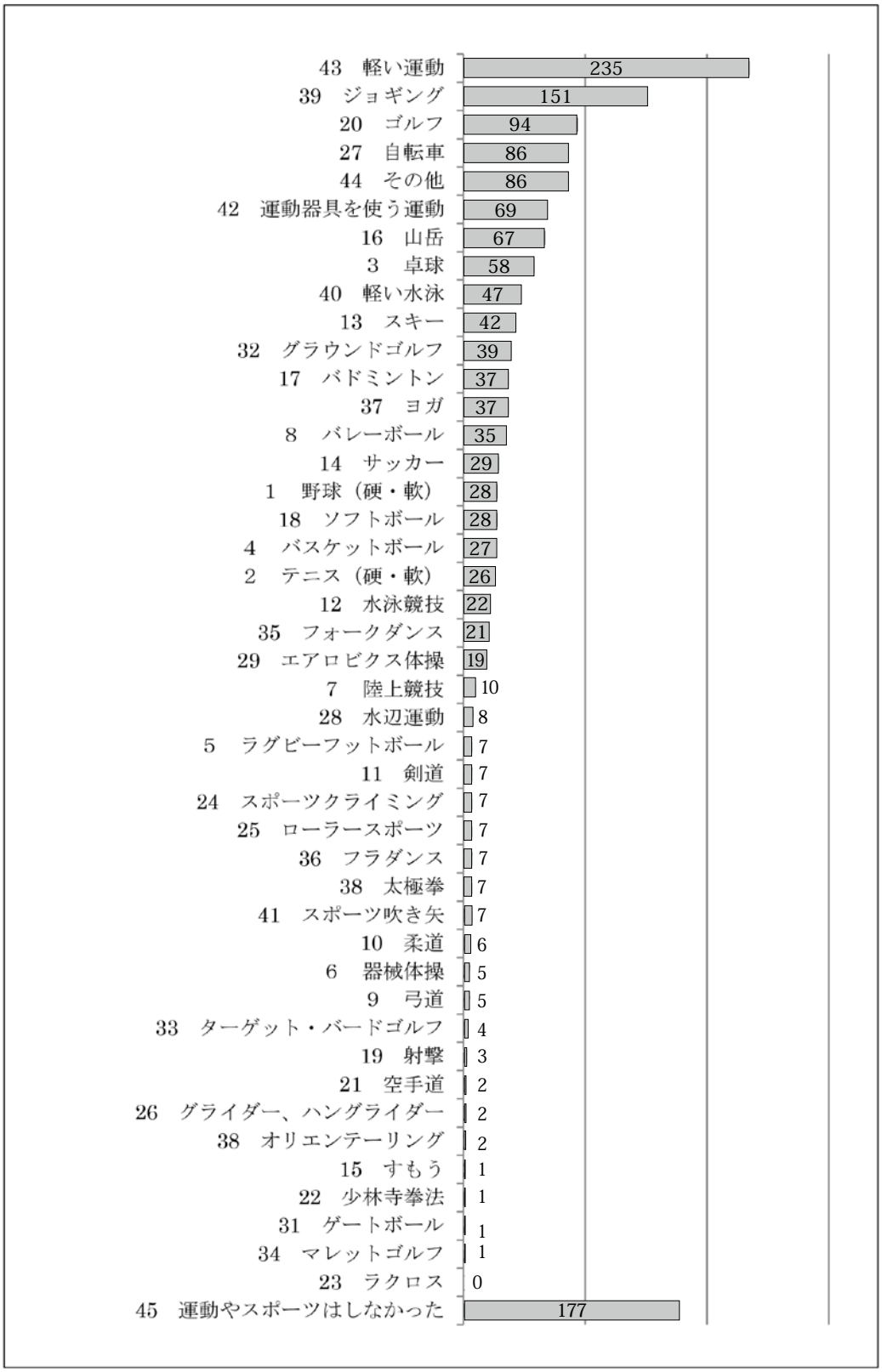


２　スポーツやレクリエーション活動の取組について

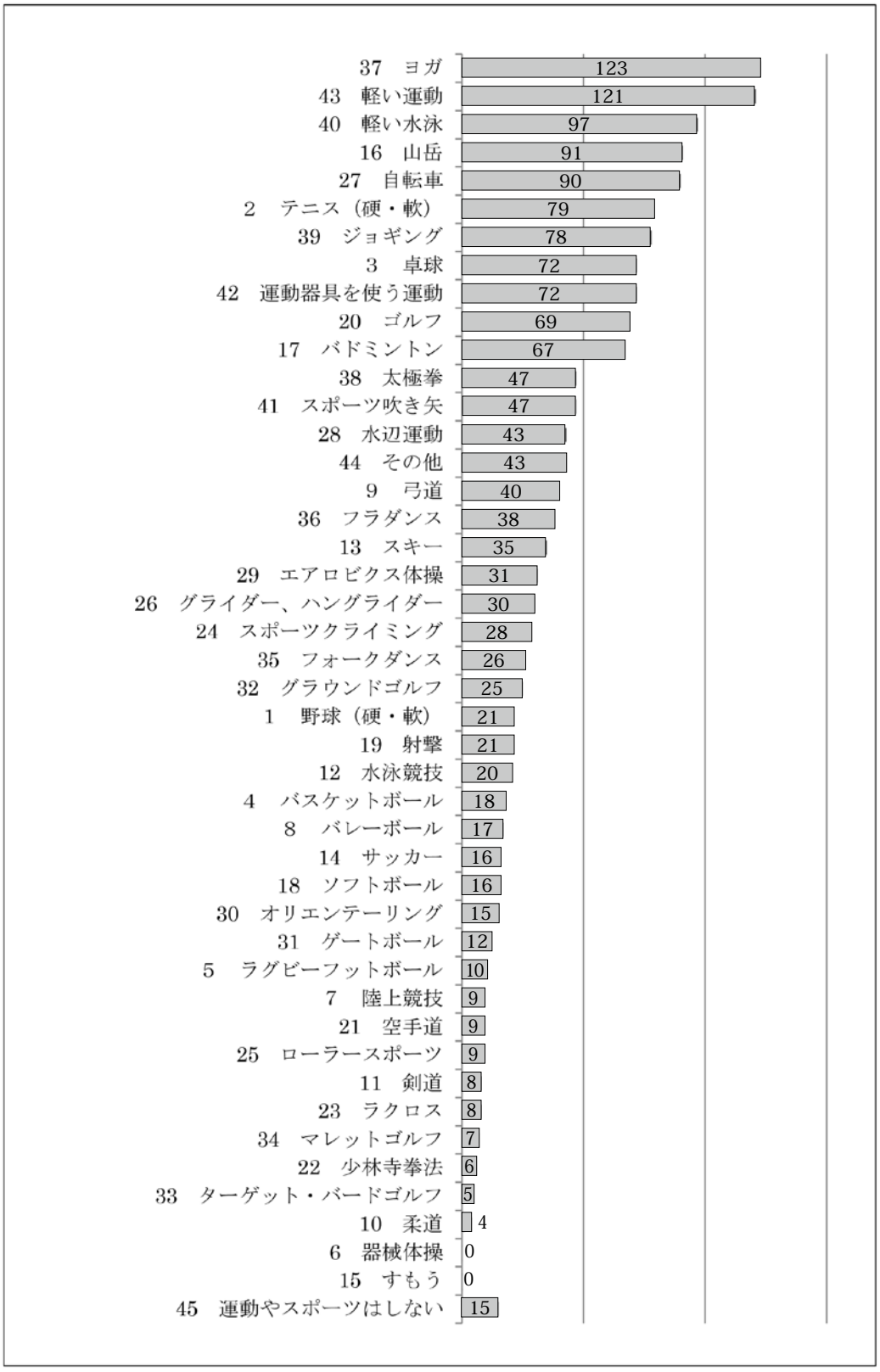
概　要

・この１年間で行ったスポーツ・レクリエーション活動については、ラジオ体操、３Ｂ体操やバランスボールを使った運動など「軽い運動」（235人）、「運動やスポーツはしなかった」（177 人）、「ジョギング」（151 人）が続き、最も少ないのは「ラクロス」（0 人）でした。
・今後やってみたいスポーツ・レクリエーション活動については、「ヨガ」（123 人）、「軽い運動」（121 人）、水中運動や水中エアロビクスなど「軽い水泳」（97 人）が続き、最も少ないのは「器械体操」（0 人）と「すもう」（0 人）でした。
・活動頻度については、「まったく行わない」（27.7%、227 人）、「月に 1～3 日」（25.0%、205 人）、「週に 1～3 日」（20%、167 人）が続きました。
・まったく行わない理由の上位に「忙しくて時間がないから」（33.9%、77 人）や「健康上の理由から」（19.8%、45 人）が挙げられています。
・活動場所については、「その他」（20.8%、237 人）、「熊谷スポーツ文化公園」（13.5%、154 人）、「ゴルフ場・キャンプ場などの専門施設」（9.3%、106 人）が続きます。
・活動目的については、「健康・体力づくり」（32.9%、86 人）、「楽しみ・ストレス解消」（25.9%、383 人）とする理由を挙げています。
・活動の重要度については、「重要」と「やや重要」を合わせると 55.2%の方が、日常生活におけるスポーツやレクリエーション活動の重要度を感じています。
・活動の満足度については、「満足」と「やや満足」を合わせると 37.1%の方が満足度を感じている一方、「やや不満」、「不満」のうち、55.2%は「忙しくて時間がない」とする理由を挙げています。

問４　あなたが１年間の間で行ったスポーツやレクリエーション活動は何ですか。３つまで選んでください。

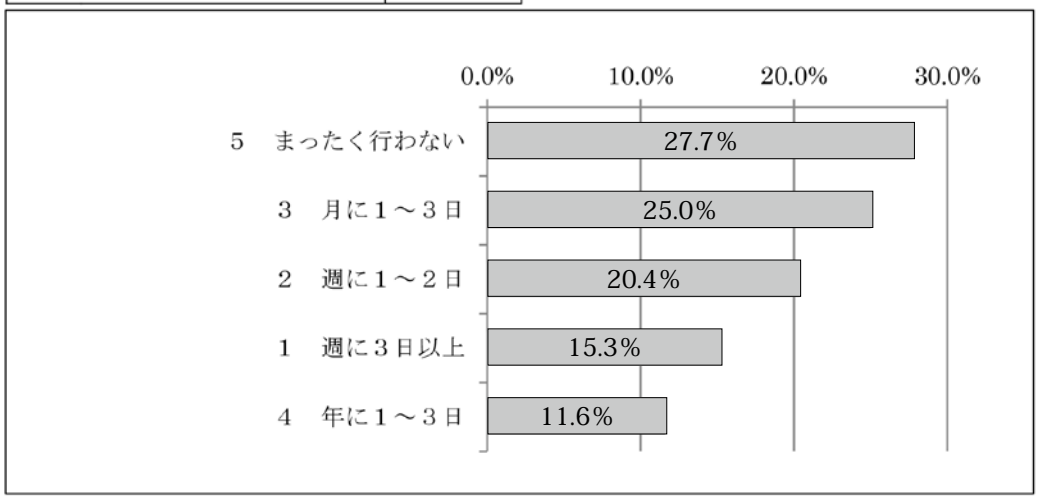


問５　あなたが今後やってみたいスポーツやレクリエーション活動は何ですか。３つまで選んでください。



問６－１　あなたはこの１年間にどれだけのスポーツやレクリエーション活動を行いましたか。１つ選んでください。

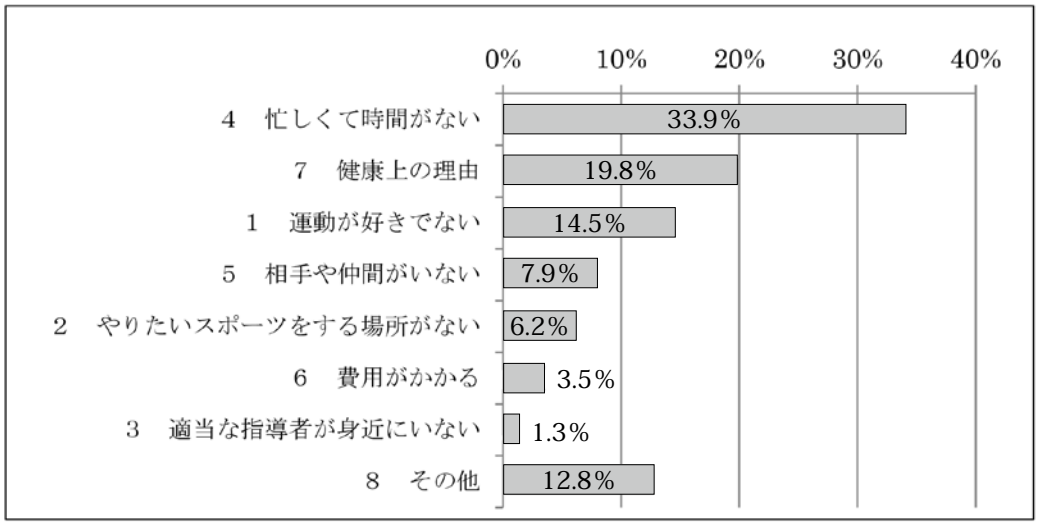
1	週に３日以上	125	4	年に１～３日	95
2	週に１～２日	167	5	まったく行わない	227
3	月に１～３日	205			



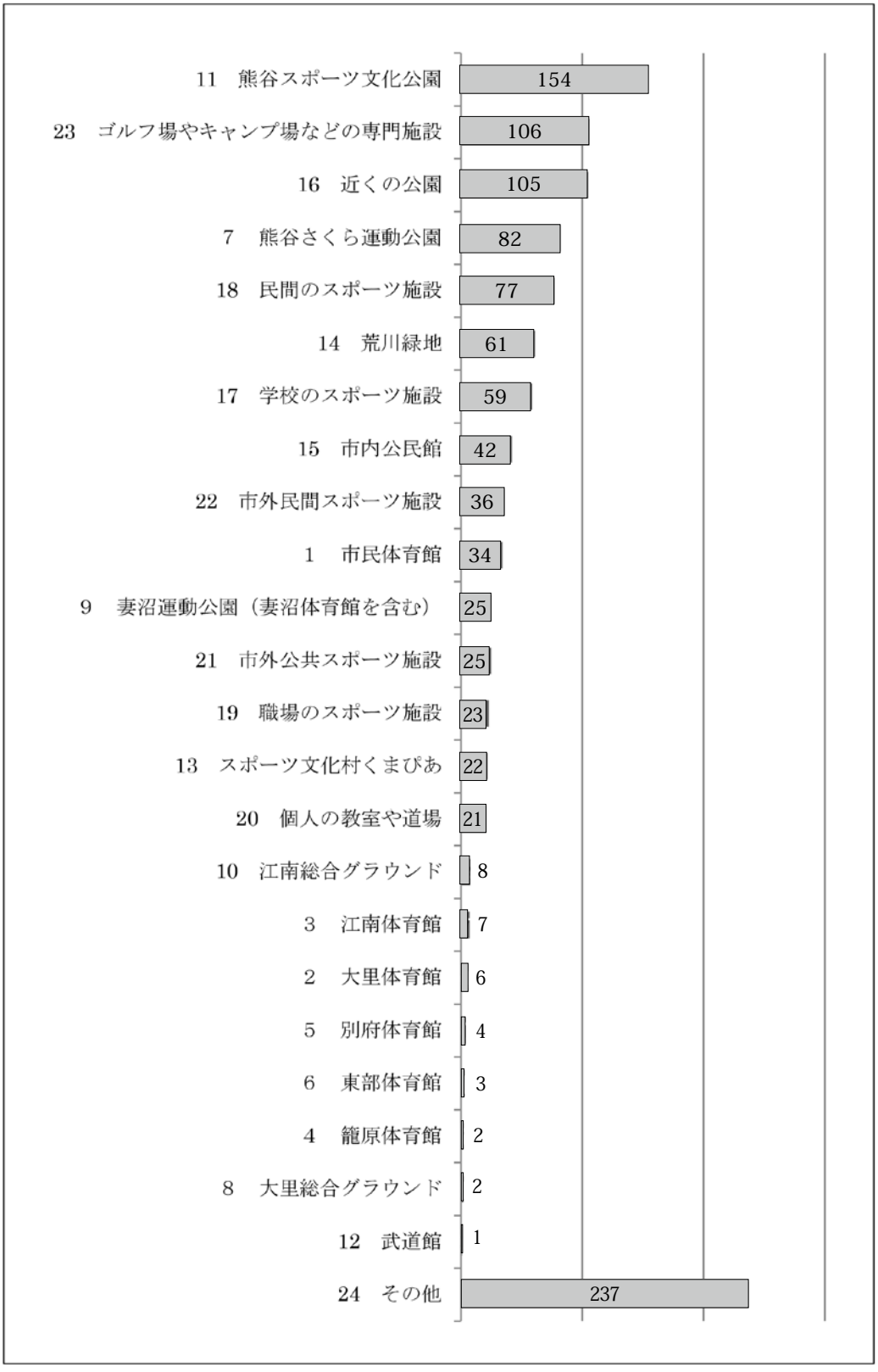
（問６－１で「5 まったく行わない」を選んだ方に伺います。）

問６－２　まったく行わなかった理由は何ですか。１つ選んでください。

1	運動が好きでない	33	5	相手や仲間がいない	18
2	やりたいスポーツをする場所がない	14	6	費用がかかる	8
3	適当な指導者が身近にいない	3	7	健康上の理由から	45
4	忙しくて時間がない	77	8	その他	29

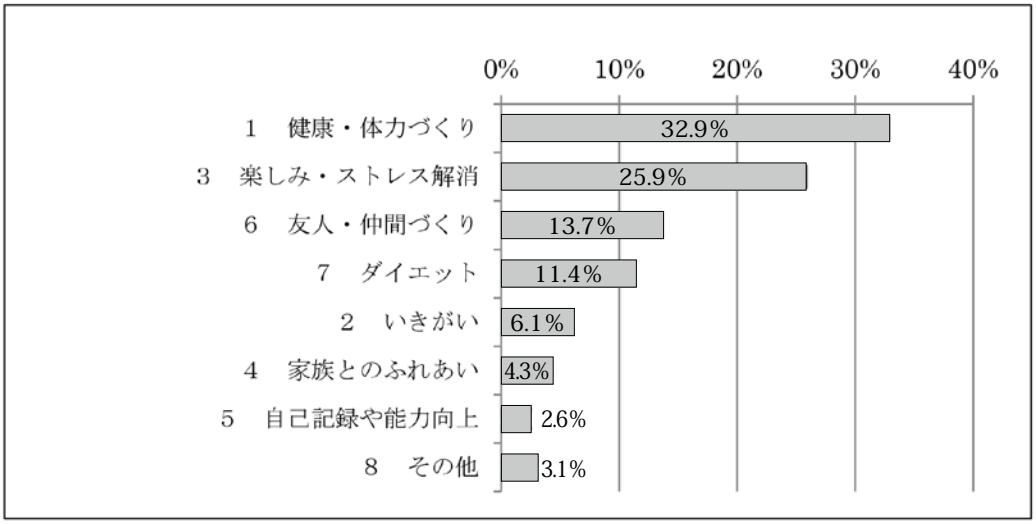


問７　あなたが、スポーツやレクリエーション活動をしている主な場所はどこですか。３つまで選んでください。



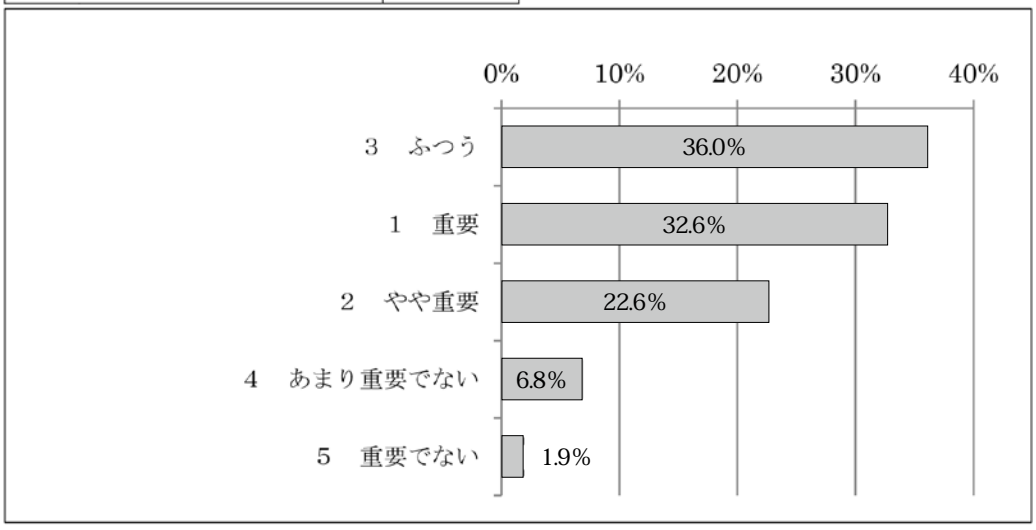
問８　あなたが、スポーツやレクリエーション活動をしている目的は何ですか。３つまで選んでください。

1	健康・体力づくり	486	5	自己記録や能力向上	38
2	いきがい	90	6	友人・仲間づくり	202
3	楽しみ・ストレス解消	383	7	ダイエット	168
4	家族とのふれあい	63	8	その他	46



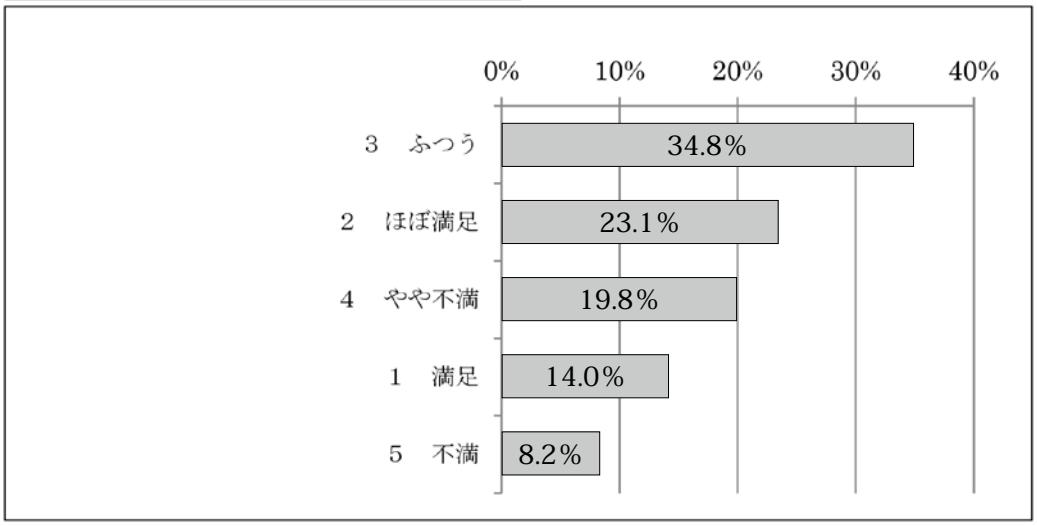
問９　あなたの日常生活における、スポーツやレクリエーション活動の重要度をうかがいます。１つ選んでください。

1	重要	205	4	あまり重要でない	43
2	やや重要	142	5	重要でない	12
3	ふつう	226			



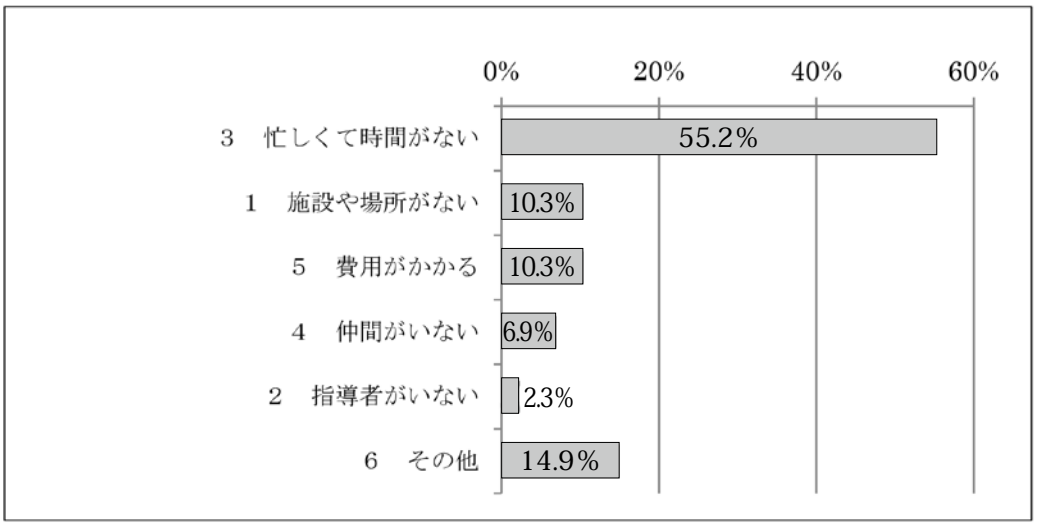
問 10－１　あなたは、自身のスポーツやレクリエーション活動に満足していますか。

1	満足	87	4	やや不満	123
2	ほぼ満足	143	5	不満	51
3	ふつう	216			



（問 10―１で「4 やや不満」または「5 不満」を選んだ方に伺います。）
問 10－２　不満と思う理由は何ですか。１つ選んでください。

1	施設や場所がない	18	4	仲間がいない	12
2	指導者がいない	4	5	費用がかかる	18
3	忙しくて時間がない	96	6	その他	26



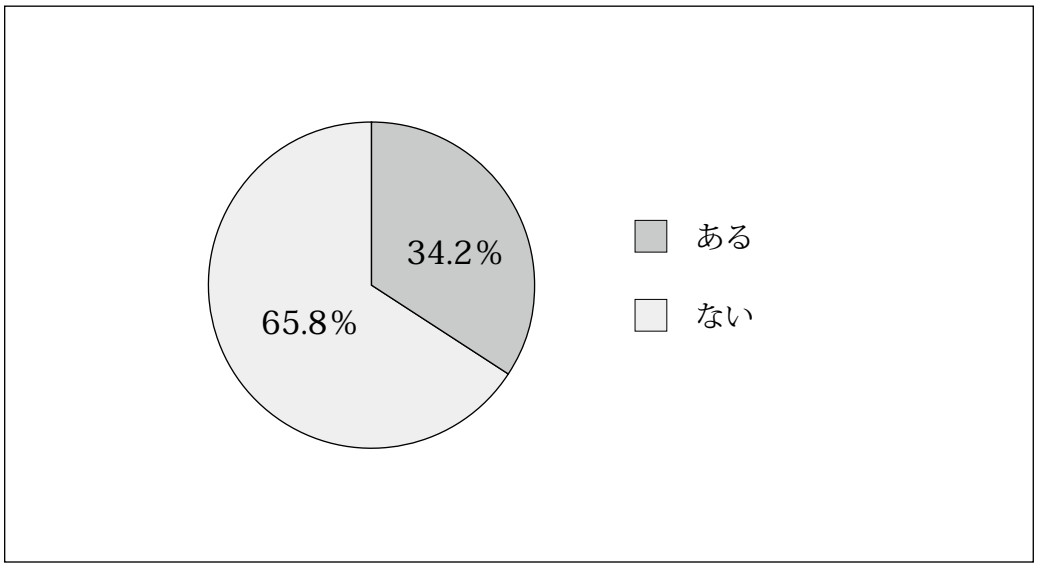
３　スポーツ観戦等について

概要

・テレビやインターネット観戦は除いたこの１年間でスポーツ観戦経験は、「ある」（280 人）、「ない」（538 人）でした。
・観戦した試合では、「プロ野球」（93 人）、「サッカー」（74 人）、「駅伝競走」（54 人）が続きます。
・今後熊谷市で開催してほしいと思う大規模なスポーツ大会やイベントについては、「ラグビー」（223 人）、「サッカー」（202 人）、「野球」（193 人）が続きます。

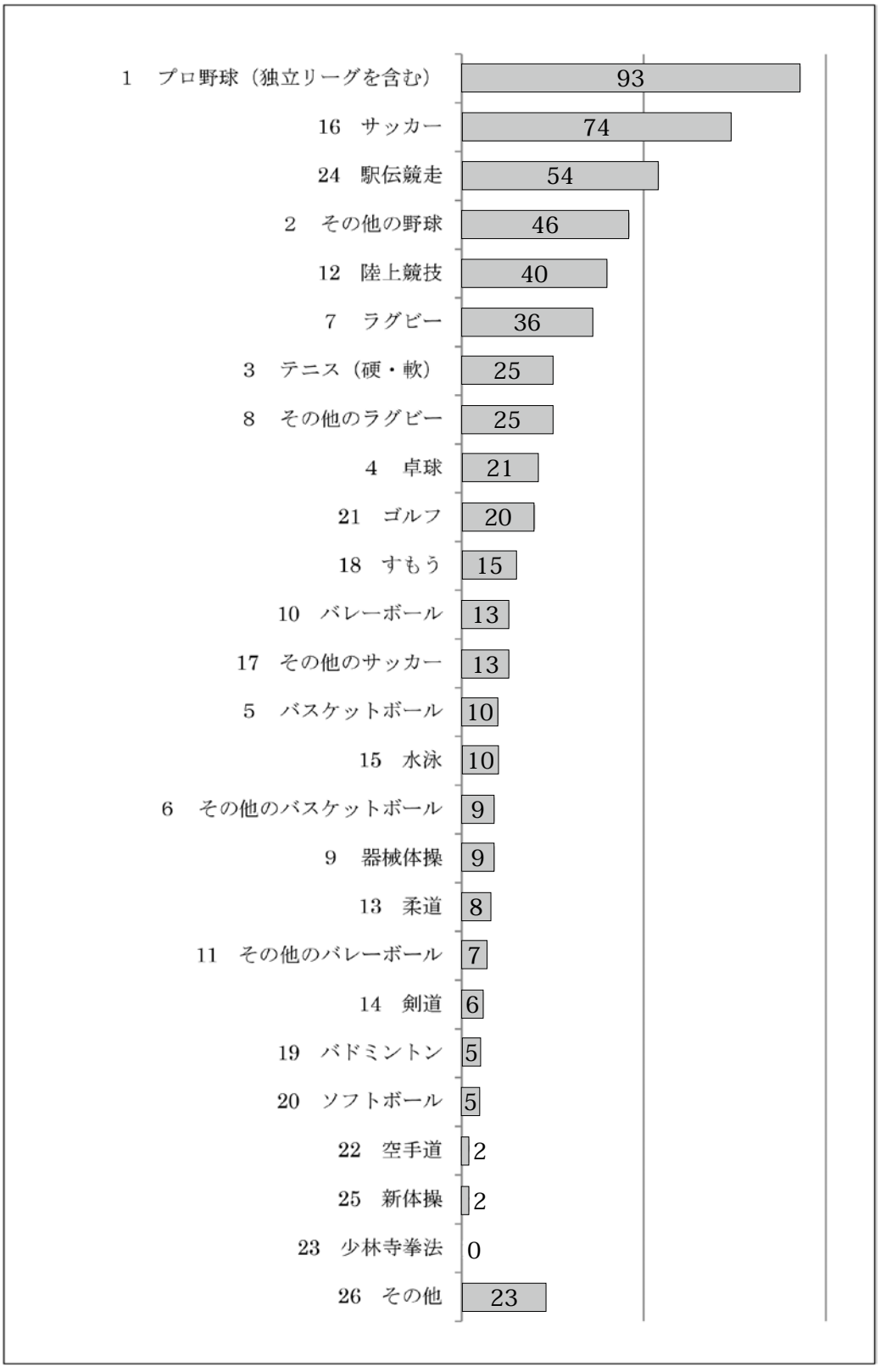
問 11　あなたは、この１年の間にスポーツ観戦をしましたか。（テレビやインターネット観戦は除きます。）

1　ある	280	2　ない	538

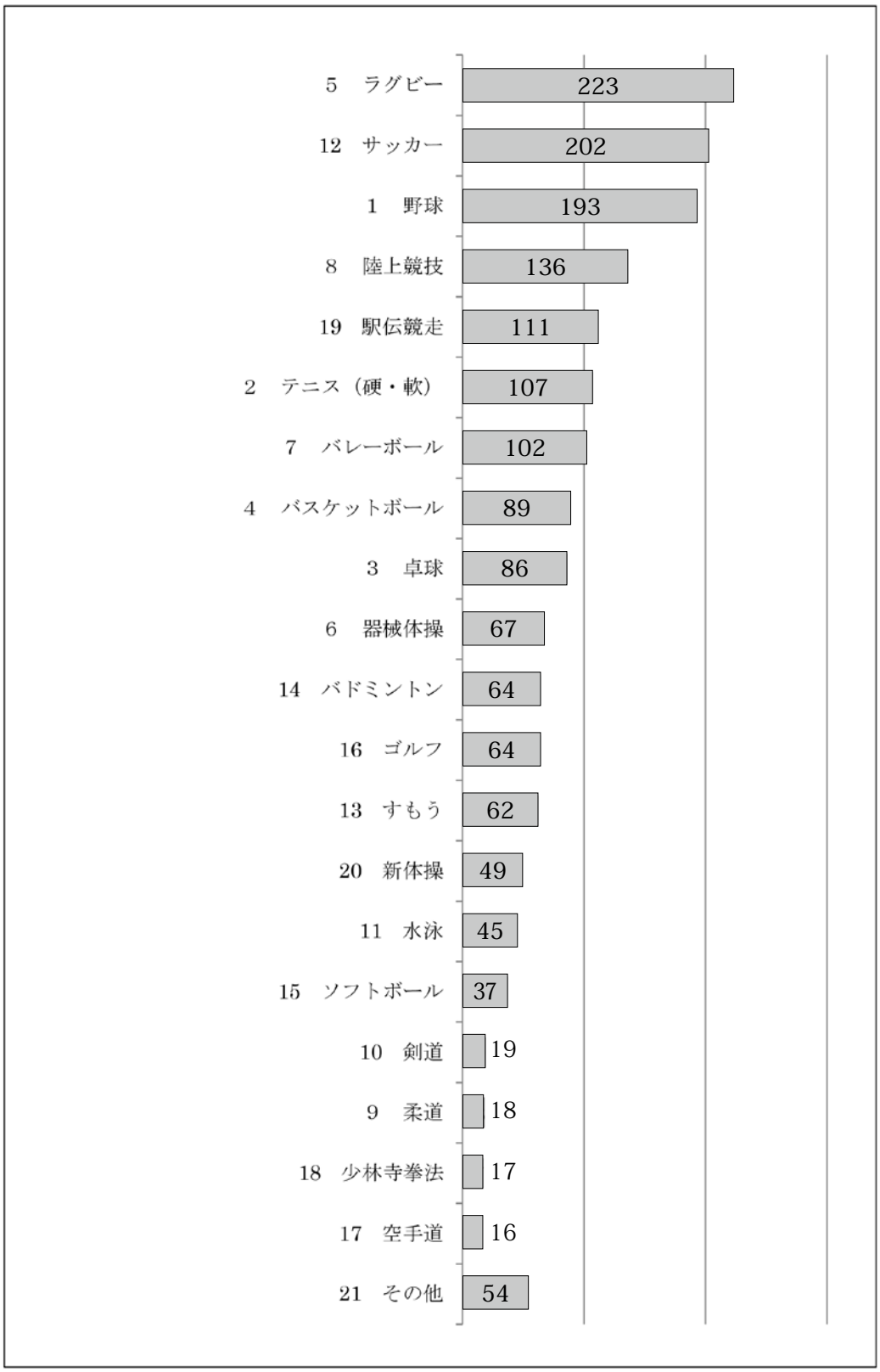


（問 11 で「1 ある」を選んだ方に伺います。）

問 12　それは何の競技ですか。３つまで選んでください。



問 13　あなたが今後、熊谷市で開催してほしいと思う大規模なスポーツ大会・イベントは何ですか。３つまで選んでください。



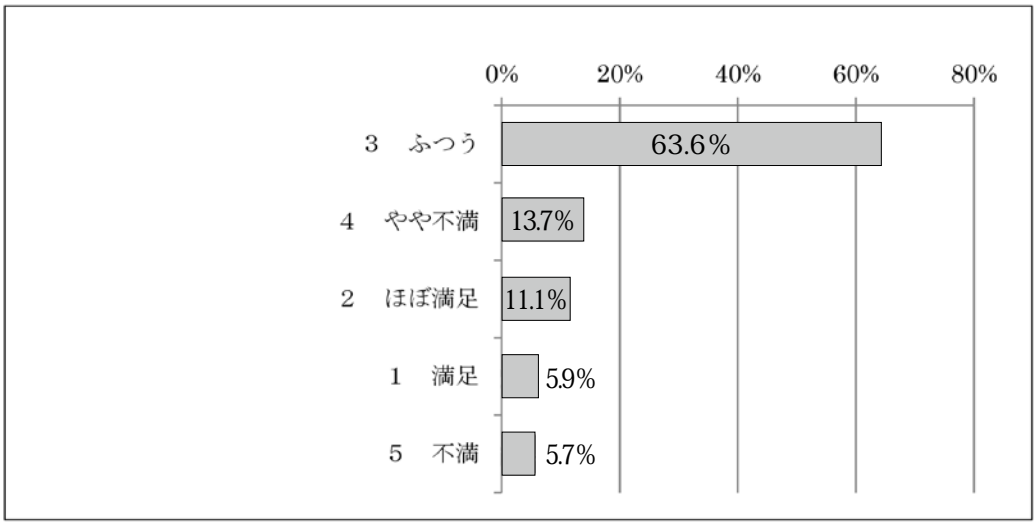
4　スポーツやレクリエーション活動の情報について

概要

・「満足」、「ほぼ満足」を合わせると 17%の人が満足度を感じています。
・情報の入手先については、「市報くまがや」（27.5%、499 人）、「新聞」（16%、290 人）、「テレビ」（14.3%、259 人）が続き、最も少ないのは「市ホームページ」（3.9%、71 人）でした。
・今後、入手したい情報については、「スポーツ行事やイベント情報」（19.6%、368 人）、「健康・体力づくり」（14.4%、271 人）、「新しい、気軽にできるスポーツ情報」（13.3%、250 人）が続き、最も少ないのは、「各種スポーツ指導者の紹介」（1.8%、33 人）でした。

問 14　あなたは、スポーツやレクリエーション活動に関する情報に満足していますか。１つ選んでください。

1　満足	44	4　やや不満	102
2　ほぼ満足	82	5　不満	42
3　ふつう	472		



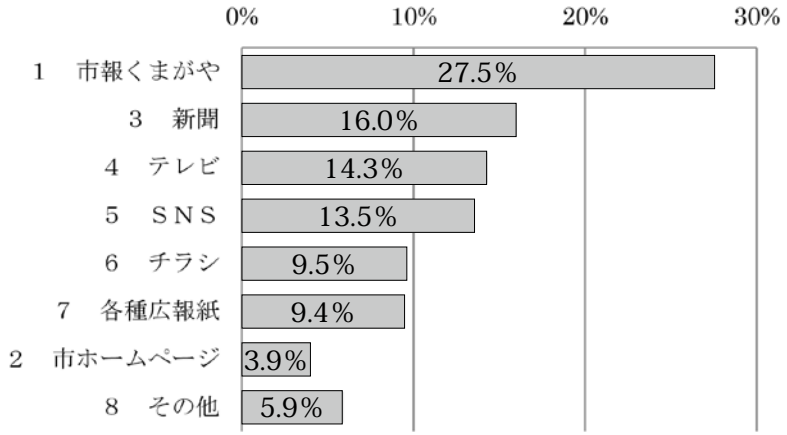
問 15　あなたはスポーツやレクリエーション活動に関する情報をどこから入手しますか。３つまで選んでください。

1	市報くまがや	499	5	ＳＮＳ	246
2	市ホームページ	71	6	チラシ	173
3	新聞	290	7	各種広報紙	171
4	テレビ	259	8	その他	107

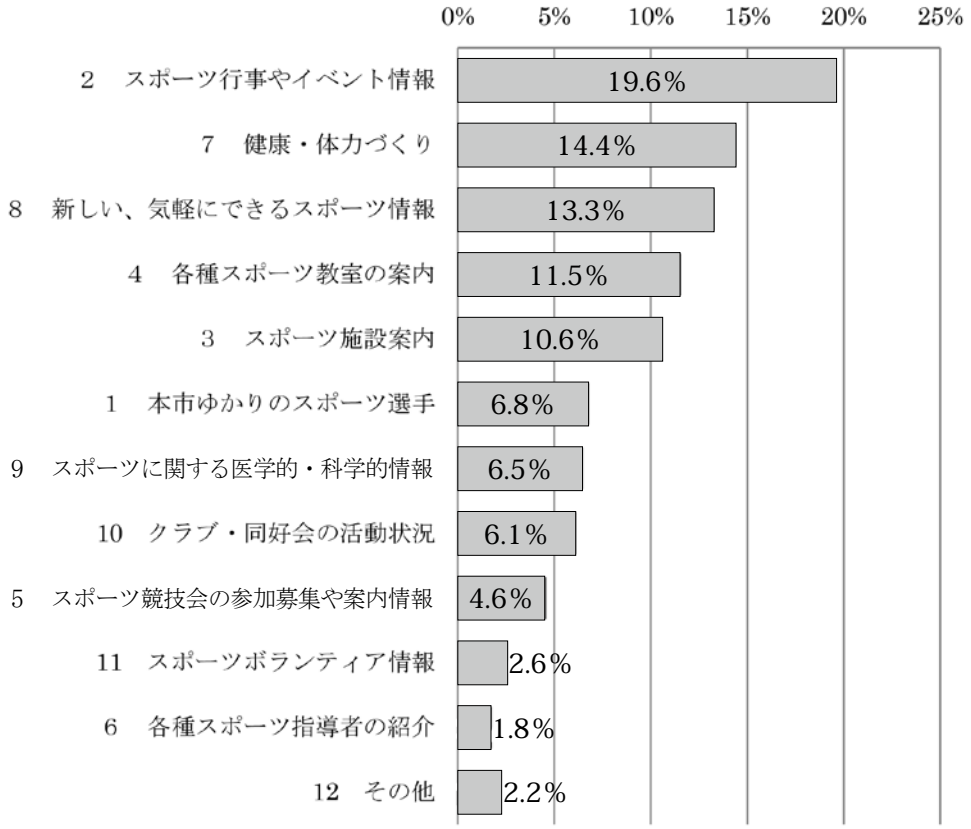
問 16　あなたが、今後入手したい情報は何ですか。３つまで選んでください。

1	熊谷市ゆかりのスポーツ選手	128	7	健康・体力づくり	271
2	スポーツ行事やイベント情報	368	8	新しい、気軽にできるスポーツ情報	250
3	スポーツ施設案内	199	9	スポーツに関する医学的･科学的情報	122
4	各種スポーツ教室の案内	217	10	クラブ、同好会の活動状況	115
5	スポーツ大会の参加募集や案内情報	86	11	スポーツボランティア情報	48
6	各種スポーツ指導者の紹介	33	12	その他	42

情報の入手先



今後入手したい情報



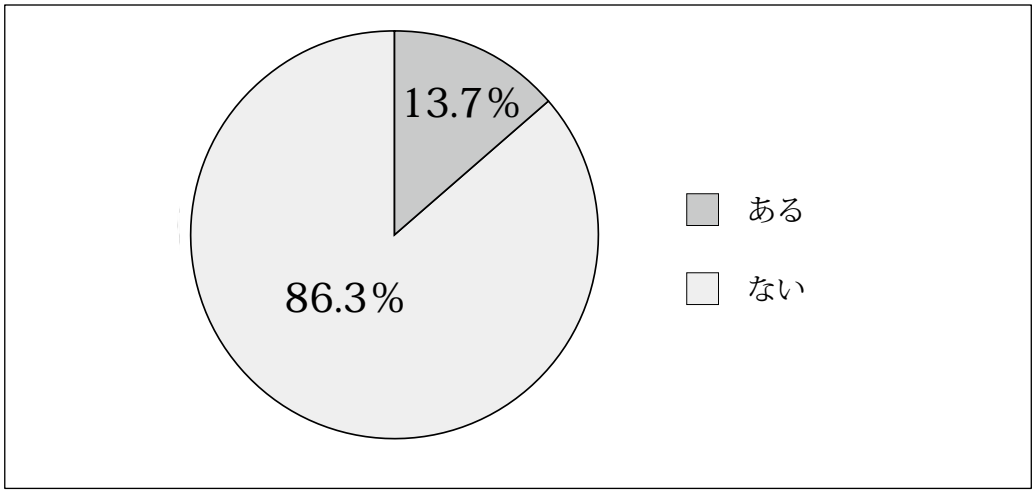
5　スポーツボランティアについて

概要

・スポーツボランティアの活動経験は、「ある」（13.7%、112 人）、「ない」（86.3%、707 人）でした。
・活動した理由は、「頼まれて参加した」（69.4%、77 人）、「自主的に参加した」（30.6%、34 人）でした。
・今後、スポーツボランティアとして活動したいかについては、「参加したくない」（28.5%、225 人）、「あまり参加したくない」（27.5%、217 人）が続き、最も少ないのは「参加したい」（8.2%、65 人）でした。

問17　あなたは、スポーツイベントを支えるボランティアとして活動して経験はありますか。１つ選んでください。

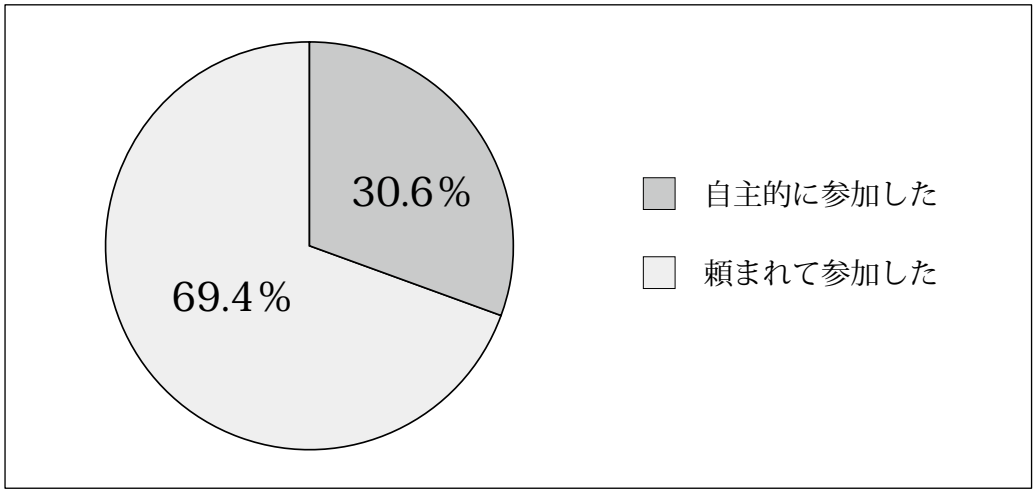
1　ある	112	2　ない	707



（問 17 で「1 ある」を選んだ方に伺います。）

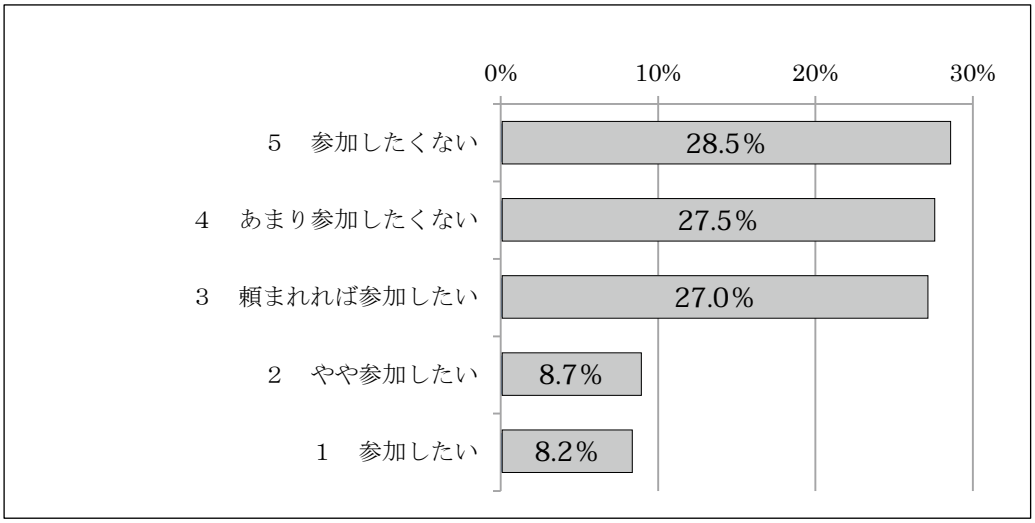
問 18　スポーツボランティアとして活動した理由は何ですか。１つ選んでください。

1　自主的に参加した	34	2　頼まれて参加した	77



問 19　あなたは今後、スポーツボランティアとして参加したいですか。１つ選んでください。

1　参加したい	65	4　あまり参加したくない	217
2　やや参加したい	69	5　参加したくない	225
3　頼まれれば参加したい	213		



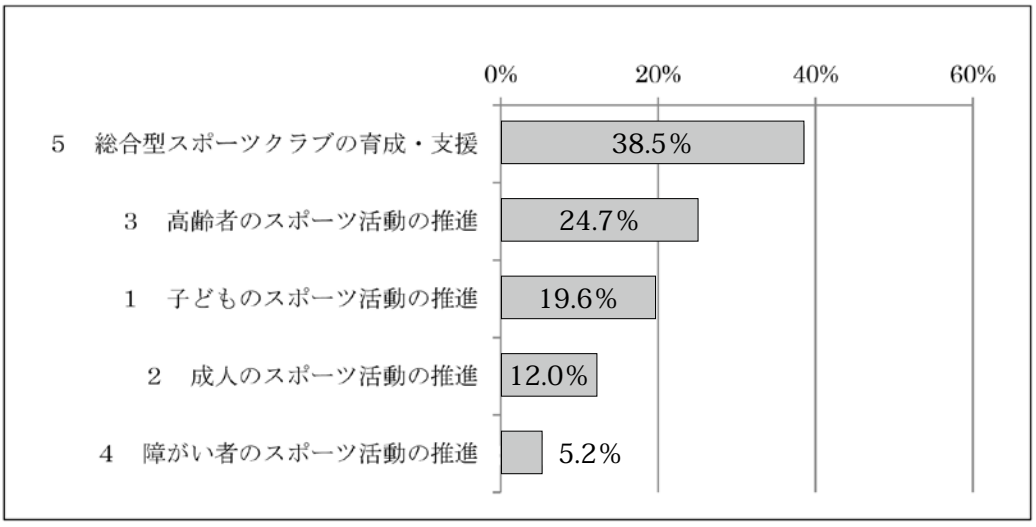
6　スポーツに関する施策について

概要

・スポーツ活動施策について希望が高かった施策は、「総合型スポーツクラブの育成・支援」(38.5%、303 人)、「高齢者のスポーツ活動の推進」(24.7%、194 人)、「子どものスポーツ活動の推進」(19.6%、154 人) が続いた。
・スポーツ資源を活かしたまちの魅力の創造について、「「スポーツ熱中都市をＰＲし、スポーツによる交流を促進する」(38.4%、290 人)、「スポーツイベントの誘致や支援に向けたコンベンション組織を設立する」(26.9%、203 人) が続いた。
・スポーツに親しむことができる環境について、「スポーツ施設の有効活用を図る」(43.2%、333 人)、「多様化するスポーツのニーズに応える施設の整備や用具の貸出を行う」(24.0%、185 人)、「スポーツイベントやスポーツ施設の情報収集し、提供する」(21.3%、164 人) が続いた。

問 20　あなたは、本市のスポーツ施策に対して、どのようなことを望みますか。１つ選んでください。

1	子どものスポーツ活動の推進	154	4	障害者スポーツ活動の推進	41
2	成人のスポーツ活動の推進	94	5	総合型ｽﾎﾟｰﾂｸﾗﾌﾞの育成・支援	303
3	高齢者のスポーツ活動の推進	213			



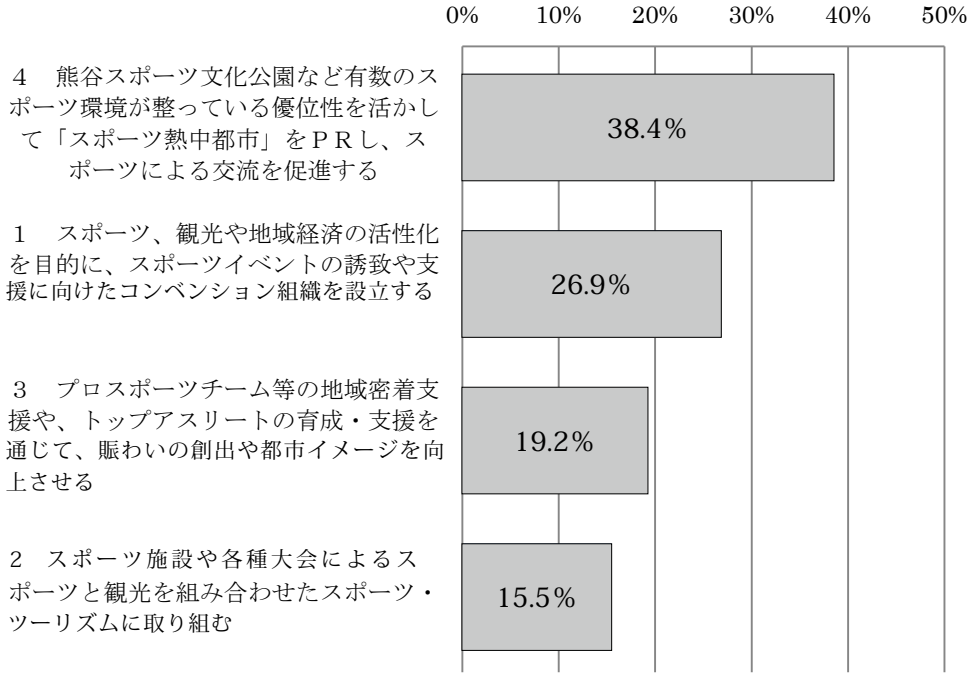
問 21　あなたは、スポーツを通じて本市に誇りと愛着をもつことができるために必要な施策について、どのようなことを望みますか。１つ選んでください。

1	スポーツ、観光や地域経済の活性化を目的に、スポーツイベントの誘致や支援に向けたコンベンション組織を設立する。	203
2	スポーツ施設や各種大会によるスポーツと観光を組み合わせたスポーツ・ツーリズムに取り組む。	117
3	プロスポーツチーム等の地域密着支援や、トップアスリートの育成・支援を通じて、賑わいの創出や都市イメージを向上させる。	145
4	熊谷スポーツ文化公園など有数のスポーツ環境が整っている優位性を活かして「スポーツ熱中都市」をＰＲし、スポーツによる交流を促進する。	290

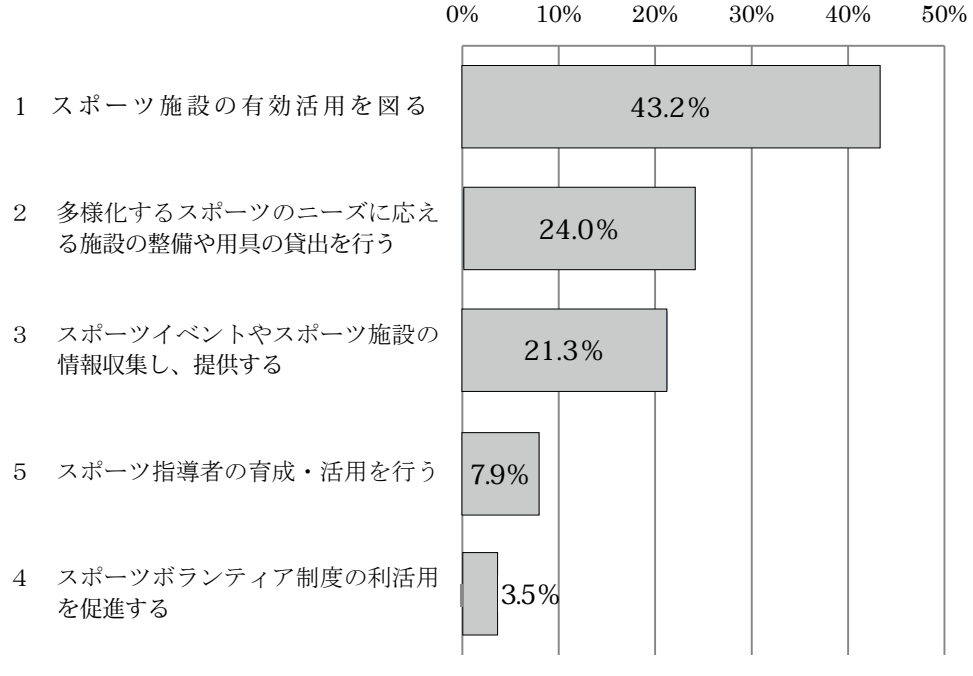
問 22　あなたはスポーツに親しむことができる環境について、特にどのようなことを望みますか。１つ選んでください。

1	スポーツ施設の有効活用を図る。	333
2	多様化するスポーツのニーズに応える施設の整備や用具の貸出を行う。	185
3	スポーツイベントやスポーツ施設の情報収集し、提供する。	164
4	スポーツボランティア制度の利活用を促進する。	27
5	スポーツ指導者の育成・活用を行う。	61

スポーツを通じて本市に誇りと愛着をもつことができるために必要な施策



スポーツに親しむことができる環境について、特にどのようなことを望みますか



7　今後開催される国際スポーツ大会について

概要

ラグビーワールドカップ２０１９について

・83.5%、680 人の方が、2019 年にラグビーワールドカップ 2019 が開催されることを知っています。
・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせると 61.2%、498 人の方が、大会に関心を寄せています。
・「観戦したい」と「やや観戦したい」を合わせると 58.1%、472 人の方が観戦したいと考えています。
・ラグビーワールドカップ２０１９熊谷開催によって期待する効果として、「スポーツの振興」（20.8%、434 人）、「交通インフラの利便性の向上」（14.7%、307 人）、「経済効果の波及（雇用の創出）」（14.7%、306 人）が上位に挙げられています。
・ラグビーワールドカップ 2019 終了後、本市に期待するスポーツ施策と　して、「開催ノウハウを活かした全国規模のスポーツ大会の誘致」（23.6%、460 人）、「ジュニアアスリートの発掘・育成」（19.7%、383 人）、「「ラグビータウン熊谷」の推進」（19.2%、375 人）が上位に挙げられています。

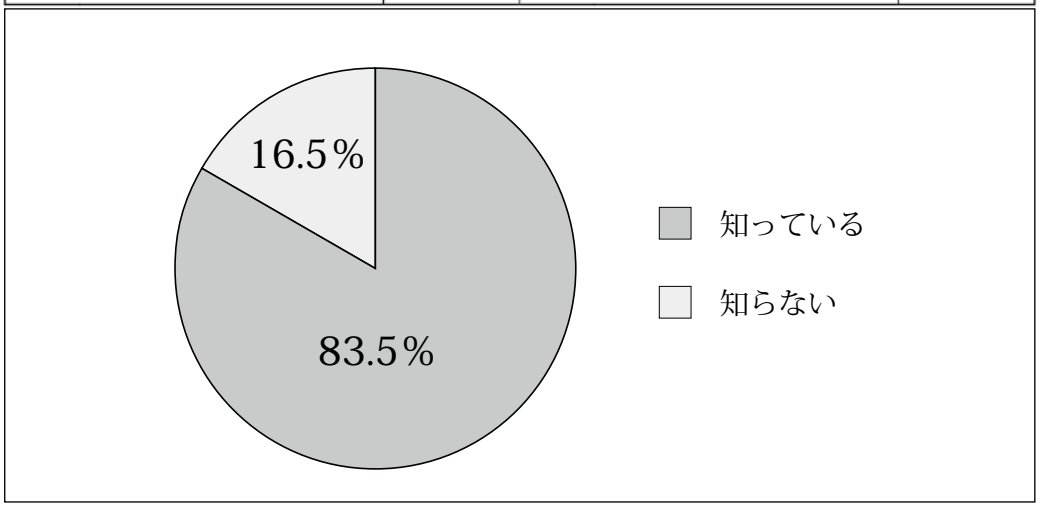
東京オリンピック・パラリンピックについて

・98.1%、811 人の方が、2020 年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることを知っています。
・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせると 80.6%、669 人の方が大会に関心を寄せています。
・「観戦したい」と「やや観戦したい」を合わせると 68.7%、570 人の方が観戦したいと考えています。

ラグビーワールドカップ２０１９について

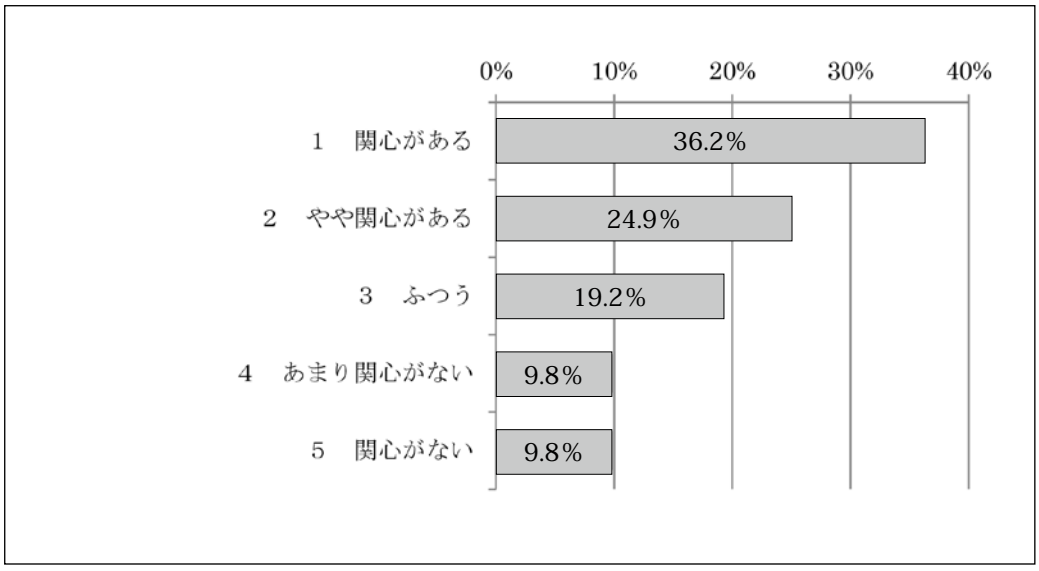
問 23　あなたは、2019 年に熊谷市でラグビーワールドカップの試合が開催されることを知っていますか。１つ選んでください。

1　知っている	680	2　知らない	134



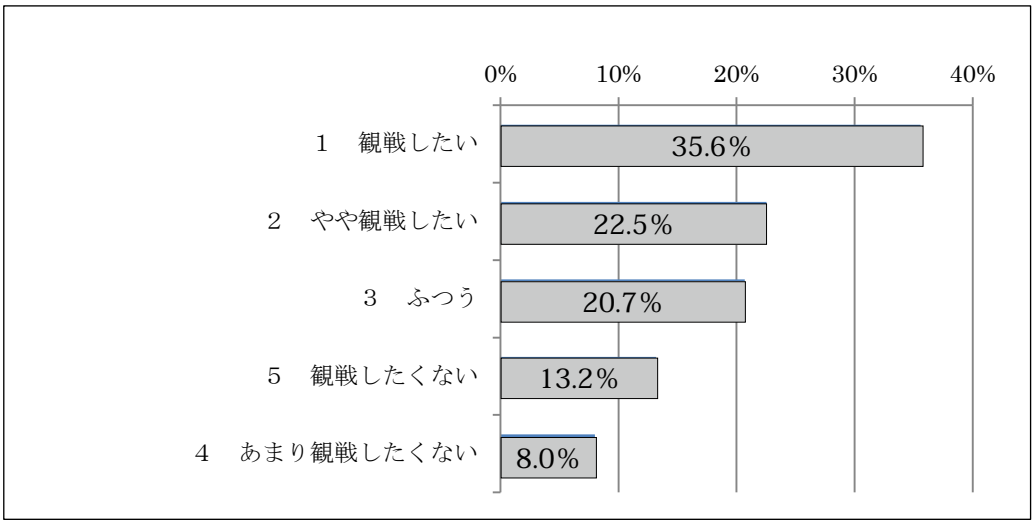
問 24　あなたは、ラグビーワールドカップ２０１９が熊谷で開催されることに関心がありますか。１つ選んでください。

1　関心がある	295	4　あまり関心がない	80
2　やや関心がある	203	5　関心がない	80
3　ふつう	156		



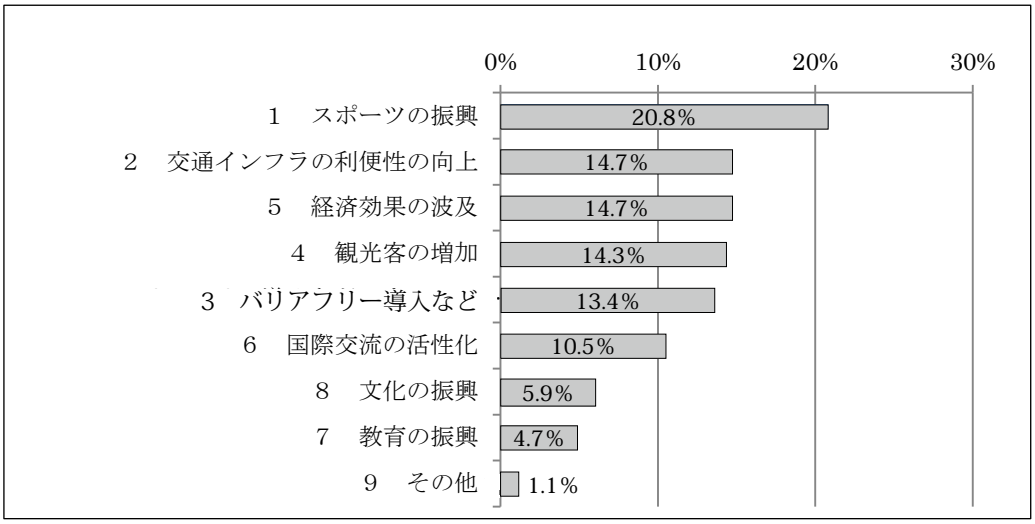
問 25　あなたは、ラグビーワールドカップ２０１９を熊谷ラグビー場で観戦したいですか。１つ選んでください。

1	観戦したい	289	4	あまり観戦したくない	65
2	やや観戦したい	183	5	観戦したくない	107
3	ふつう	168			



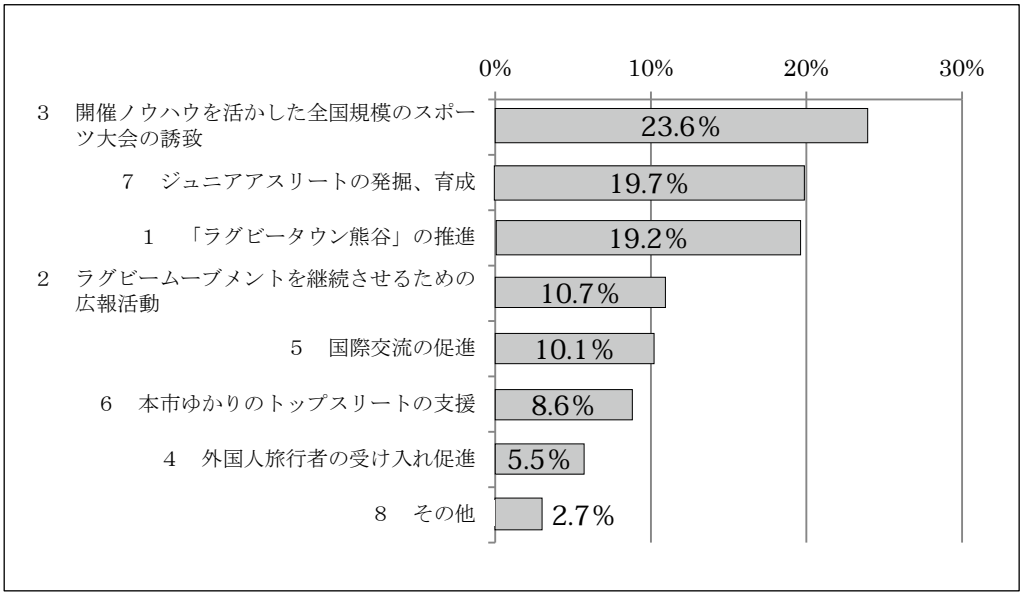
問 26　あなたは、ラグビーワールドカップ２０１９熊谷開催が本市にどのような効果をもたらすことを望みますか？３つまで選んでください。

1	スポーツの振興	434	6	交際交流の活性化	218
2	交通インフラの利便性向上	307	7	教育の振興	97
3	バリアフリーの導入など、すべての人に優しいまちづくり	280	8	文化の振興	122
4	観光客の増加	297	9	その他	23
5	経済効果の波及	306			



問 27　あなたは、ラグビーワールドカップ２０１９終了後、本市がどのようなスポーツ施策を進めることを望みますか。３つまで選んでください。

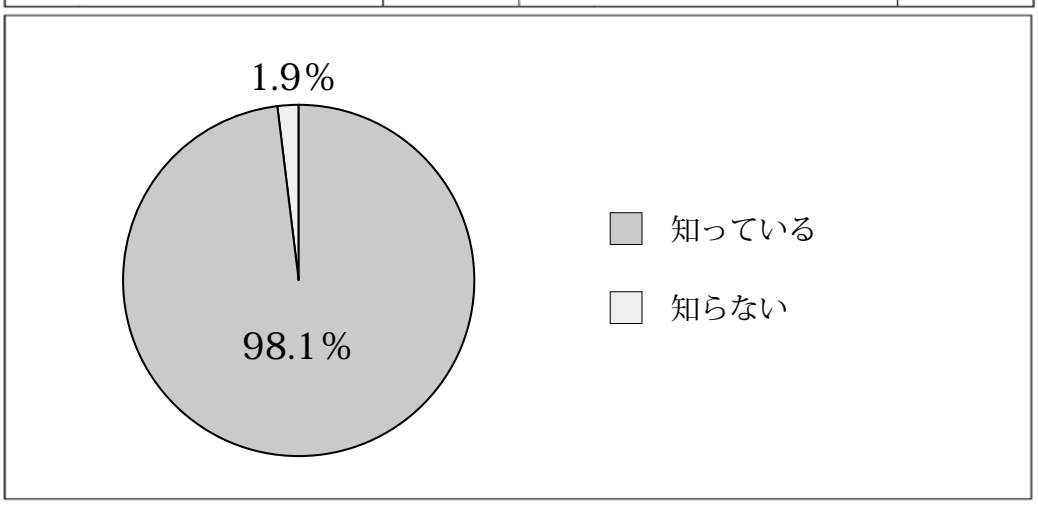
1	「ラグビータウン熊谷」の推進	375	5	国際交流の促進	196
2	ラグビームーブメントを継続させるための広報活動	209	6	本市ゆかりのトップアスリートの支援	167
3	開催ノウハウを活かした全国規模のスポーツ大会の誘致	460	7	ジュニアアスリートの発掘、育成	383
4	外国人旅行者の受け入れ促進	107	8	その他	52



東京オリンピック・パラリンピックについて

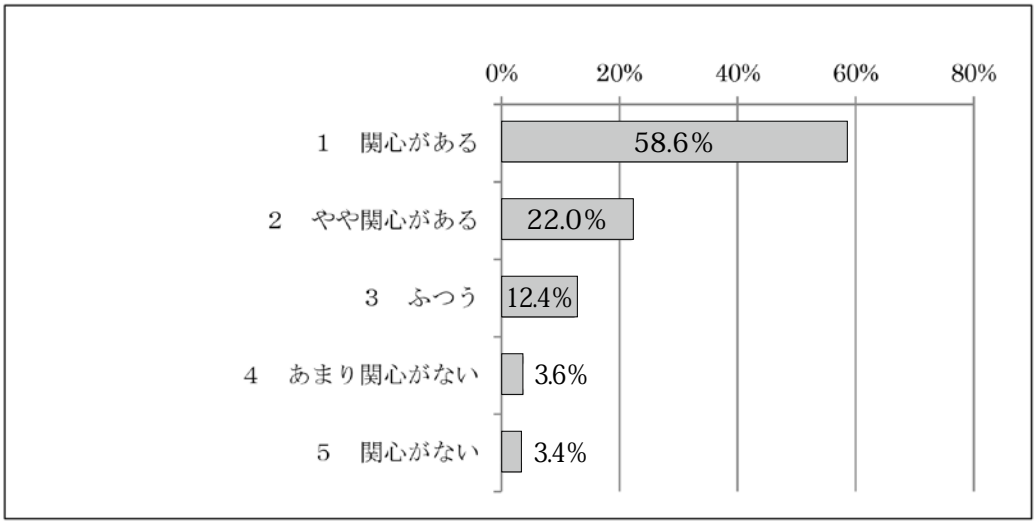
問 28　あなたは、2020 年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることを知っていますか。１つ選んでください。

1　知っている	811	2　知らない	16



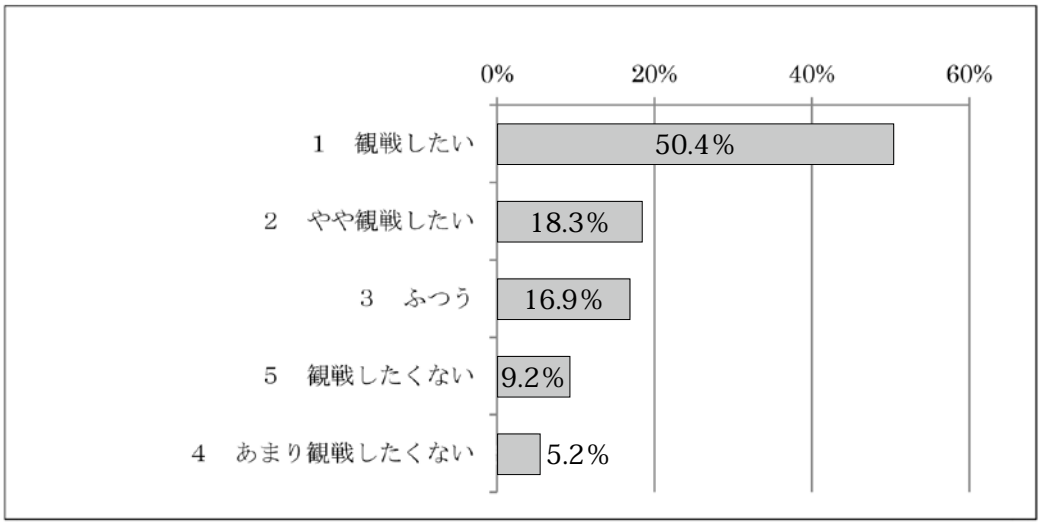
問 29　あなたは、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関心がありますか。１つ選んでください。

1　関心がある	486	4　あまり関心がない	30
2　やや関心がある	183	5　関心がない	28
3　ふつう	103		



問 30　あなたは、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を競技場で観戦したいですか。１つ選んでください。

1	観戦したい	418	4	あまり観戦したくない	43
2	やや観戦したい	152	5	観戦したくない	76
3	ふつう	140			



「スポーツやレクリエーション」についての
アンケート調査報告書（小・中学生）

平成２８年１１月　　熊谷市総合政策部スポーツ振興課

Ⅰ　調査の趣旨

近年、豊かなライフスタイルを送るためのスポーツの果たす役割はますます重要となっています。

本市は現在、スポーツ・レクリエーション活動において、「実践」「応援」「協力」の場の創出に努め、市民の皆さまがスポーツをとおした活力に満ちたまちづくりを進めるため、「熊谷市スポーツ振興基本計画（平成２４年度～平成２９年度)」に基づき、各施策に取り組んでいます。

このたび、熊谷市スポーツ振興基本計画の改定にあたり、市立小中学校に通学する児童・生徒にアンケートをお願いし、本市のスポーツをとおしたまちづくりに活かすための資料として活用させていただきたいと思います。

Ⅱ　調査の概要

平成 28 年 9 月中旬、市立小中学校に通学する小学 5 年生児童・中学 2 年生生徒 387 人にアンケート調査表を直接配布及び回収しました。

アンケートの回収数は 379 通、回収率は 97.9%でした。

※注１　割合を四捨五入して表示しているため合計が 100%にならない項目があります。

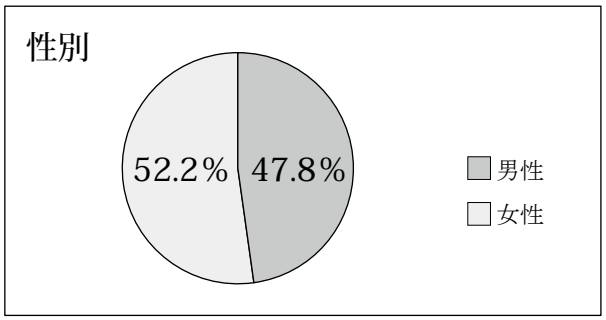
※注２　表の数値及びグラフの単位の記載の無い数字は人数です。

Ⅲ　アンケート集計結果

1　回答者属性について

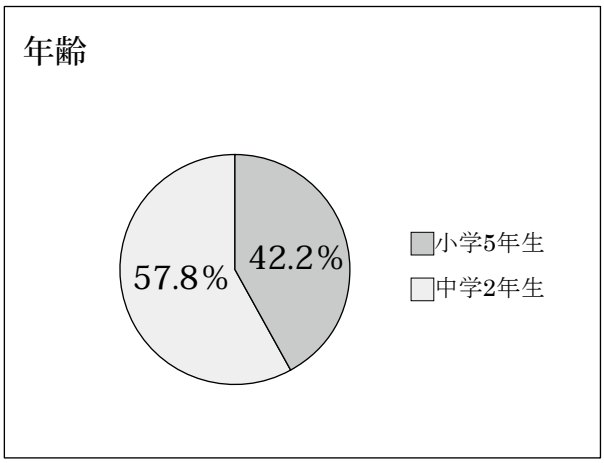
問１　性別

男　子	186
女　子	193
合　計	379



問２　年齢

小学５年生	160
中学２年生	219
合計	379

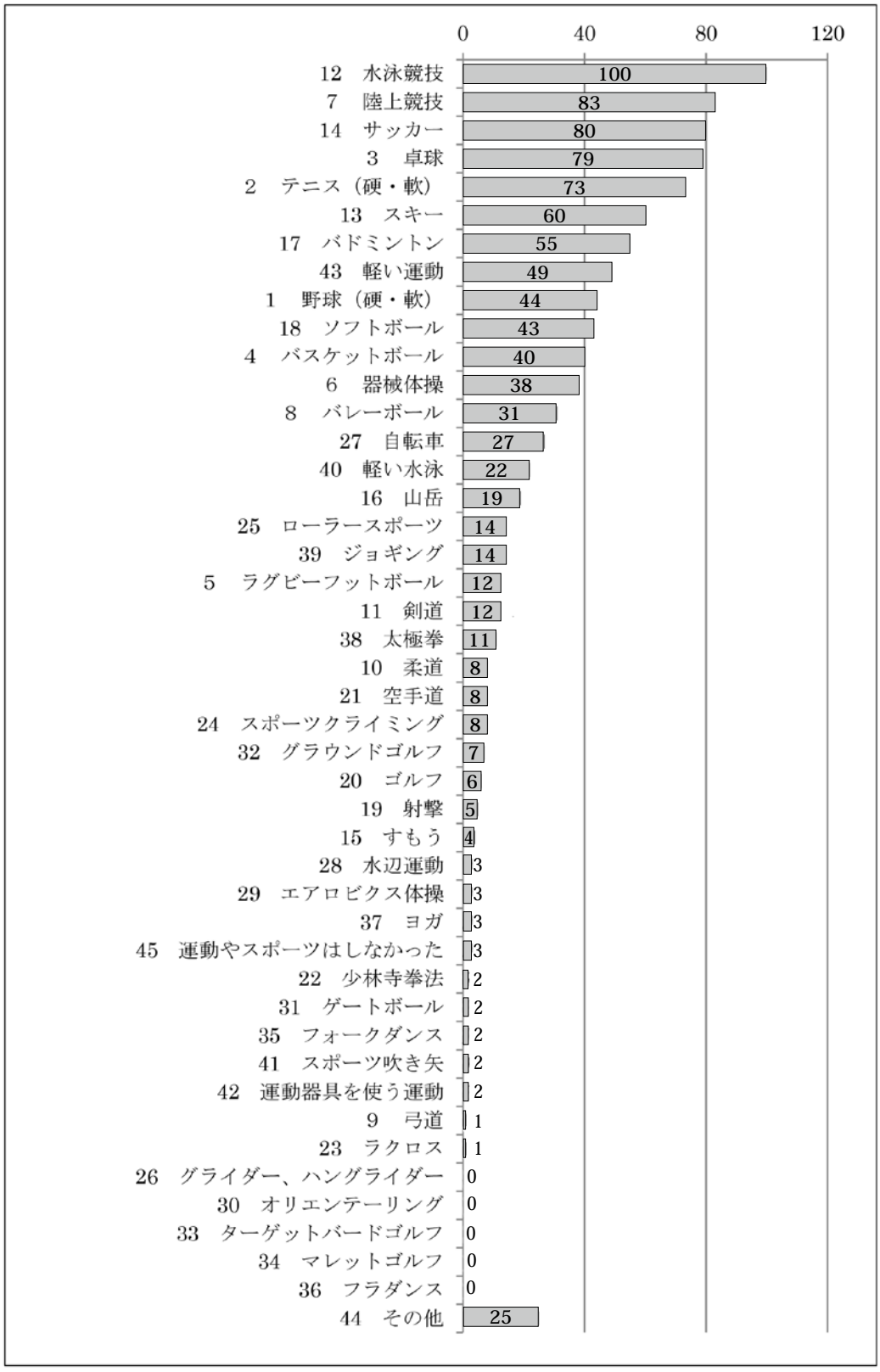


２　スポーツやレクリエーション活動の取組について

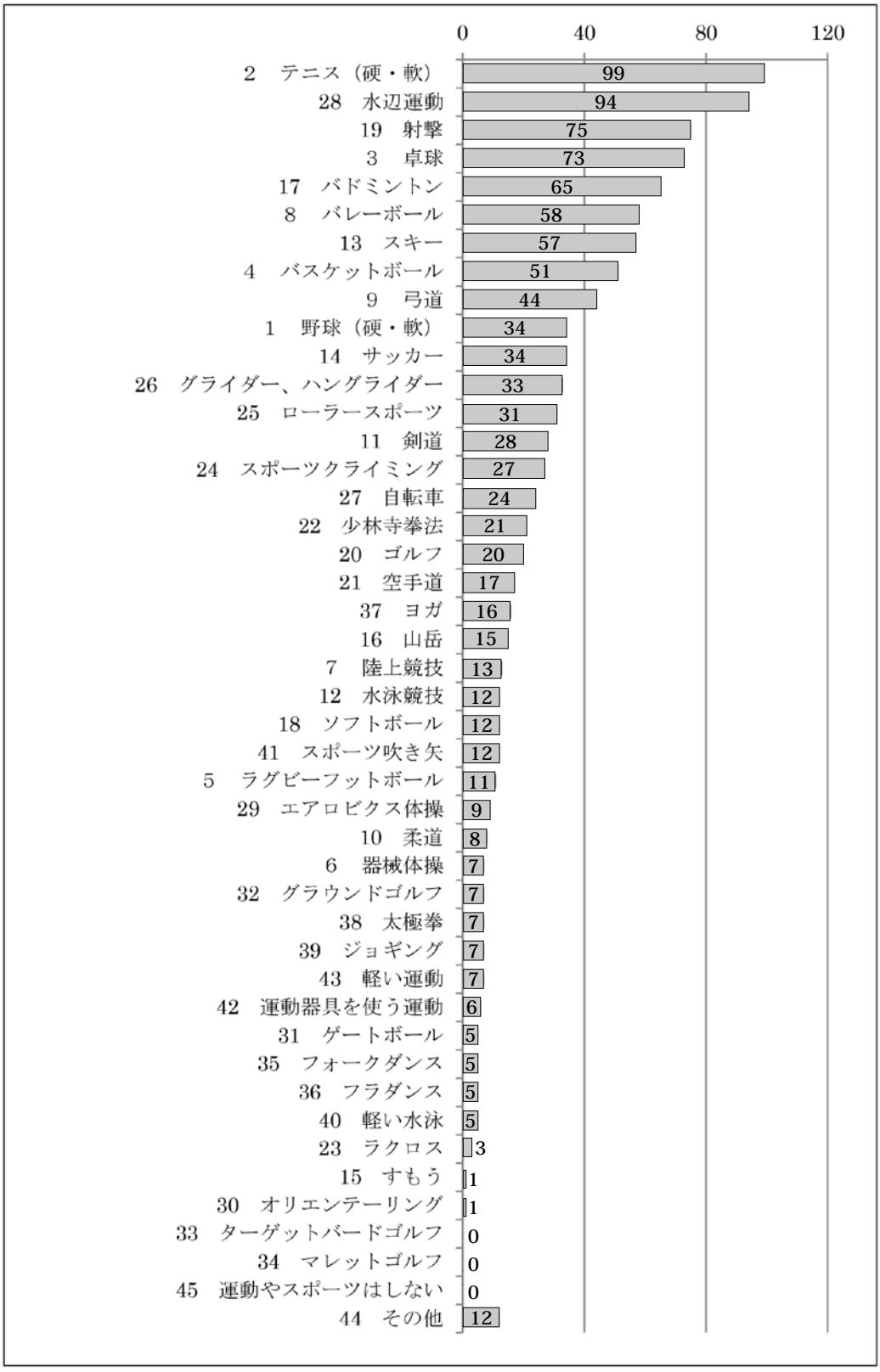
概要

・この１年間で行ったスポーツ・レクリエーション活動については、「水泳競技」（100 人）、「陸上競技」（83 人）、「サッカー」（80 人）が続き、最も少ないのは「グライダー、ハングライダー」、「オリエンテーリング」、「ターゲット・バードゴルフ」、「フラダンス」（0 人）でした。
・今後やってみたいスポーツ・レクリエーション活動については、「テニス（硬・軟）」（99 人）、サーフィンなどの「水辺運動」（94 人）、「射撃」（75 人）が続き、最も少ないのは「ターゲット・バードゴルフ」、「マレットゴルフ」（0 人）でした。
・活動頻度については、「週に３日以上」（68.4%、260 人）、「週に 1～2 日」（19.5%、74 人）が続き、まったく行わない理由の上位に「運動が好きでないから」（30.0%、3 人）や「忙しくて時間がないから」（20.0%、2 人）が挙げられています。
・活動場所については、「熊谷さくら運動公園」（119 人）、「その他」（114 人）、「近くの公園」（97 人）が続きます。
・活動目的については、「健康・体力づくり」（28.6%、265 人）、「楽しみ・ストレス解消」（22.8%、211 人）が続き、最も少ないのは「家族とのふれあい」（3.7%、34 人）でした。
・活動の満足度については、「満足」、「ほぼ満足」を合わせて 67.1%の方が満足度を感じています。

問３　あなたが１年間の間で行ったスポーツやレクリエーション活動は何ですか。３つまで選んでください。

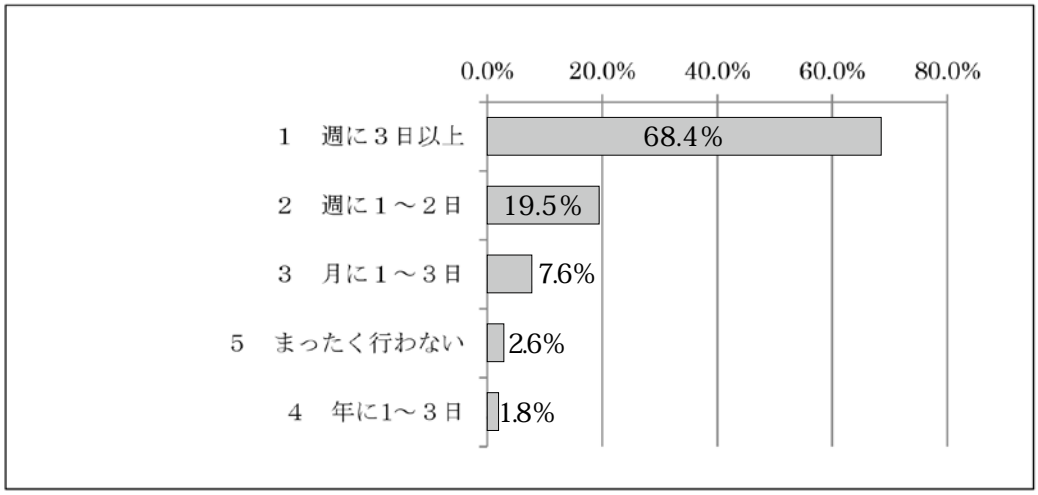


問４　あなたが今後やってみたいスポーツやレクリエーション活動は何ですか。３つまで選んでください。



問５－１　あなたはこの１年間にどれだけのスポーツやレクリエーション活動を行いましたか。１つ選んでください。

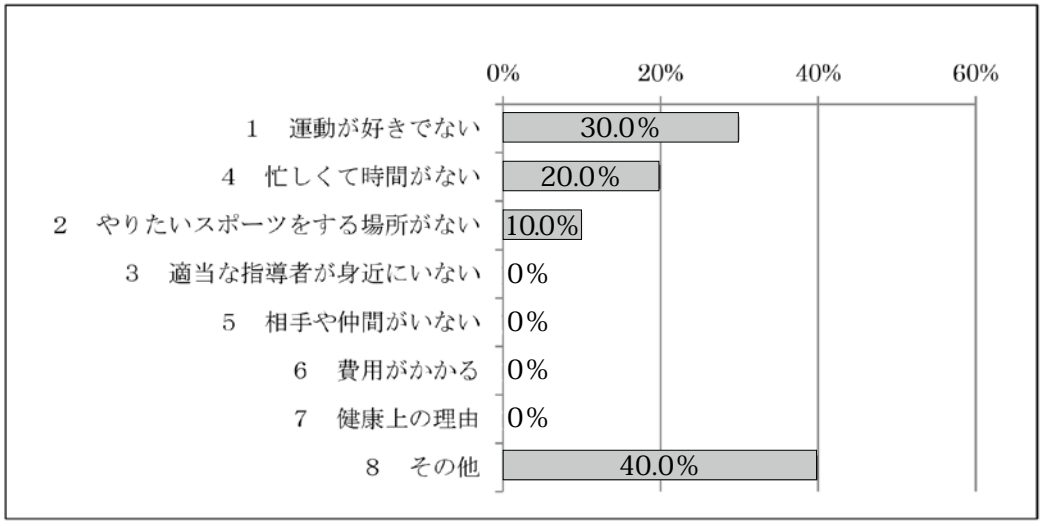
1	週に３日以上	260	4	年に１～３日	7
2	週に１～２日	74	5	まったく行わない	10
3	月に１～３日	29			



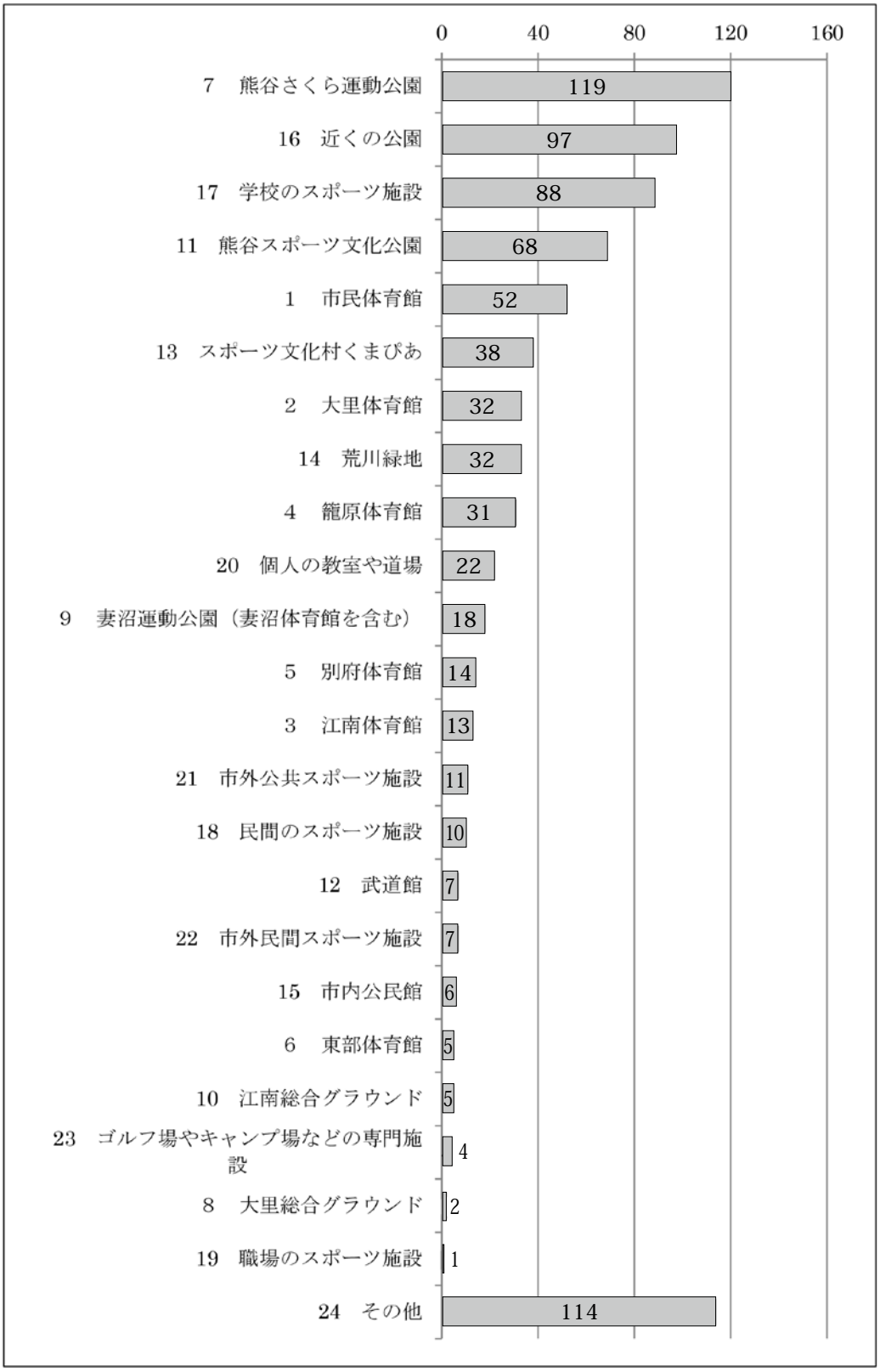
（問５－１で「5 まったく行わない」を選んだ方に伺います。）

問５－２　まったく行わなかった理由は何ですか。１つ選んでください。

1	運動が好きでない	3	5	相手や仲間がいない	0
2	やりたいスポーツをする場所がない	1	6	費用がかかる	0
3	適当な指導者が身近にいない	0	7	健康上の理由から	0
4	忙しくて時間がない	2	8	その他	4

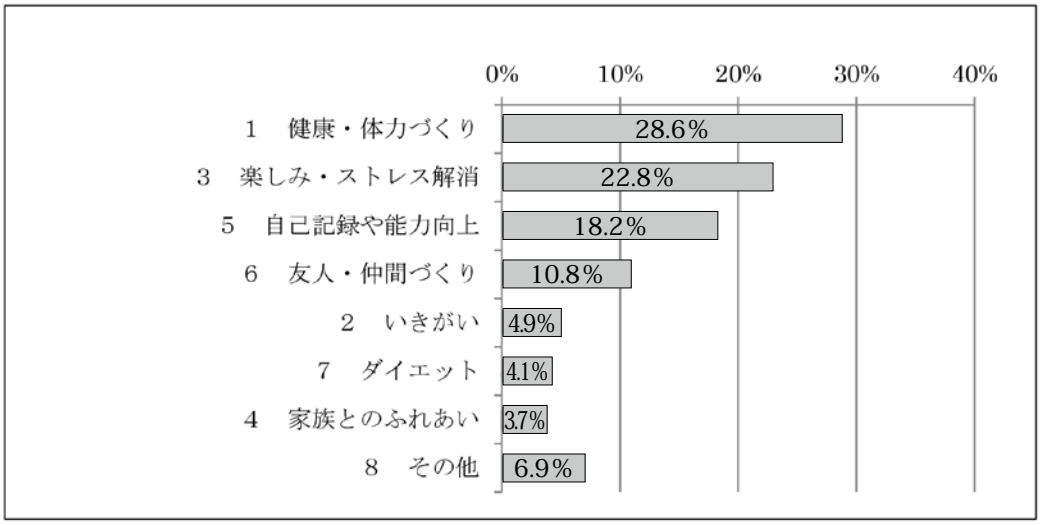


問６　体育の授業以外で、あなたがスポーツやレクリエーション活動をしている主な場所はどこですか。３つまで選んでください。



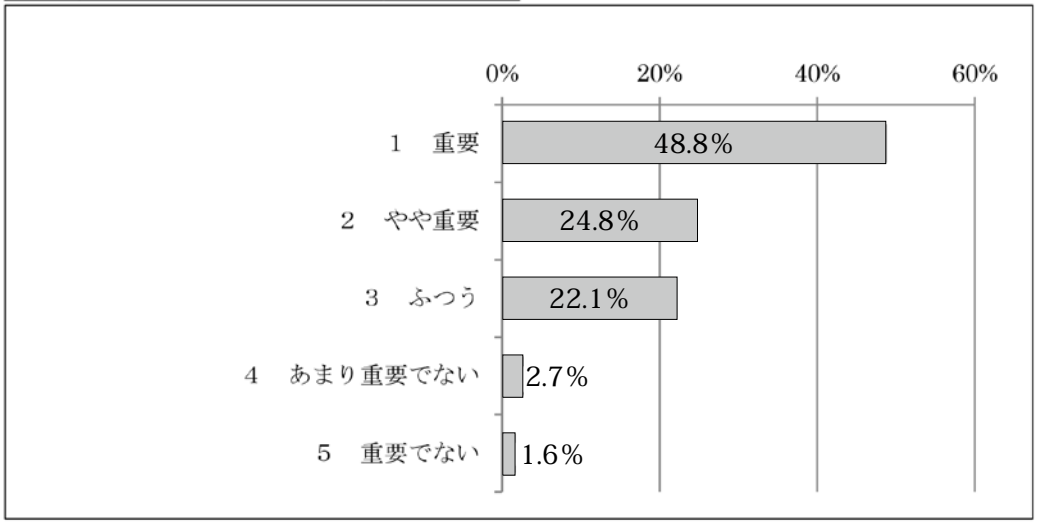
問７　体育の授業以外で、あなたがスポーツやレクリエーション活動をしている目的は何ですか。３つまで選んでください。

1	健康・体力づくり	265	5	自己記録や能力向上	168
2	いきがい	45	6	友人・仲間づくり	100
3	楽しみ・ストレス解消	211	7	ダイエット	38
4	家族とのふれあい	34	8	その他	64



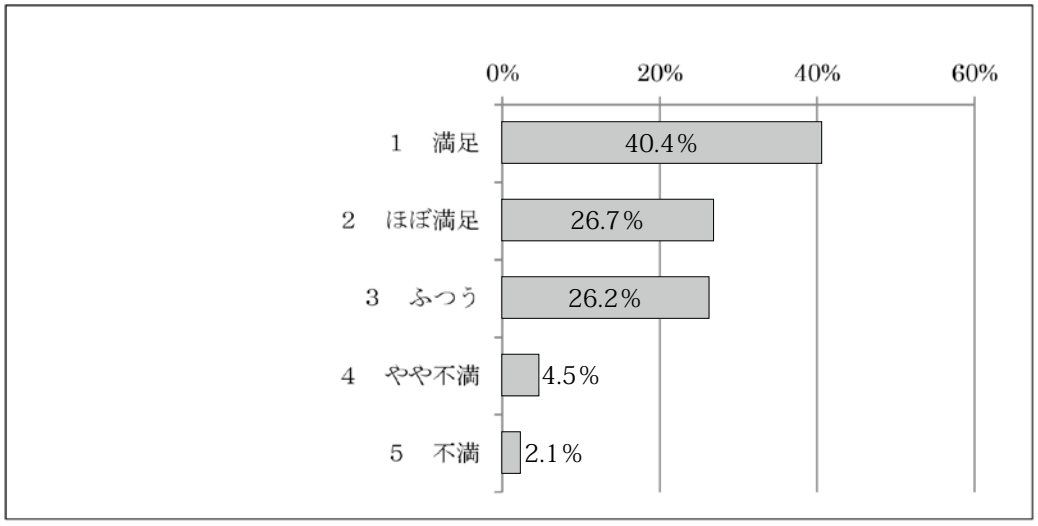
問８　体育の授業以外で、あなたの日常生活におけるスポーツやレクリエーション活動の重要度をうかがいます。１つ選んでください。

1	重要	183	4	あまり重要でない	10
2	やや重要	93	5	重要でない	6
3	ふつう	83			



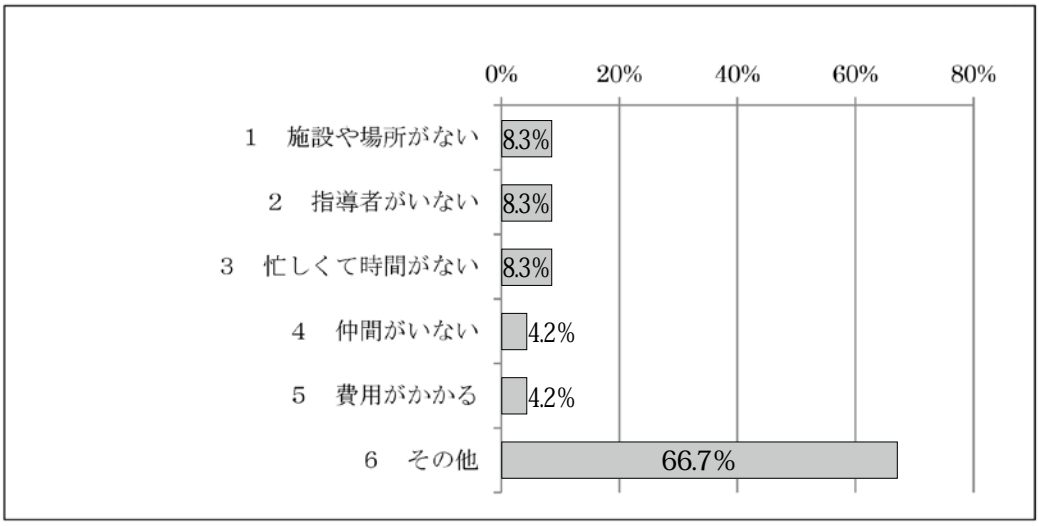
問９－１　あなたは、自身のスポーツやレクリエーション活動に満足していますか。１つ選んでください。

1　満足	151	4　やや不満	17
2　ほぼ満足	100	5　不満	8
3　ふつう	98		



（問９－１で「4 やや不満」または「5 不満」を選んだ方に伺います。）
問９－２　不満と思う理由は何ですか。１つ選んでください。

1　施設や場所がない	2	4　仲間がいない	1
2　指導者がいない	2	5　費用がかかる	1
3　忙しくて時間がない	2	6　その他	16



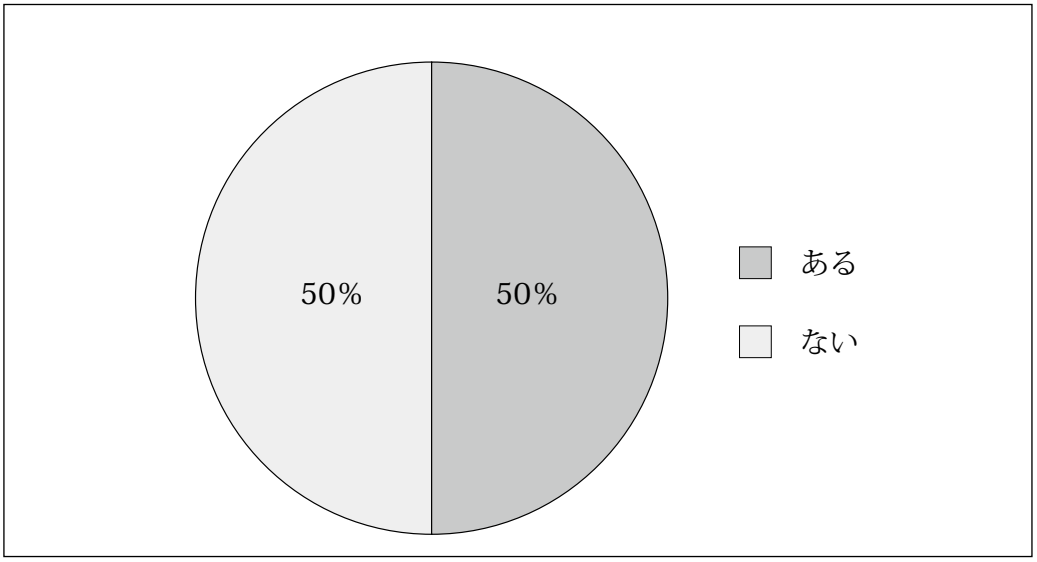
３　スポーツ観戦等について

概要

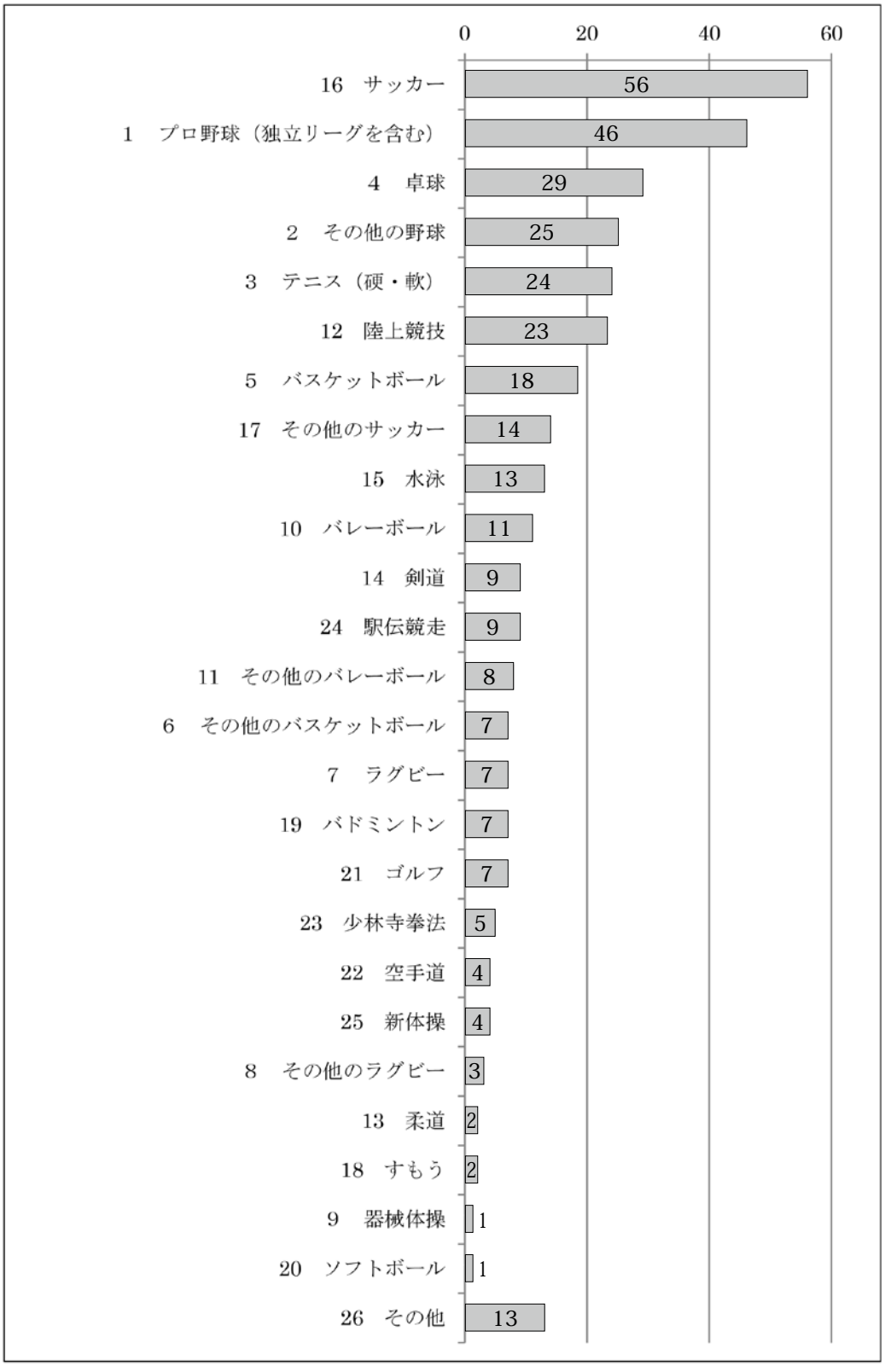
・テレビやインターネット観戦は除いたこの１年間でスポーツ観戦経験は、「ある」（50%、189 人）、「ない」（50%、189 人）でした。
・観戦した試合では、「サッカー」（56 人）、「プロ野球（独立リーグを含む）」（46 人）、「卓球」（29 人）が続きます。
・今後、熊谷市で開催してほしいと思う大規模なスポーツ大会やイベントについては、「サッカー」（99 人）、「テニス（硬・軟）」（93 人）、「野球」（69 人）が続きます。

問 10　あなたは、この１年の間にスポーツ観戦したことがありますか。（テレビやインターネット観戦は除きます。）

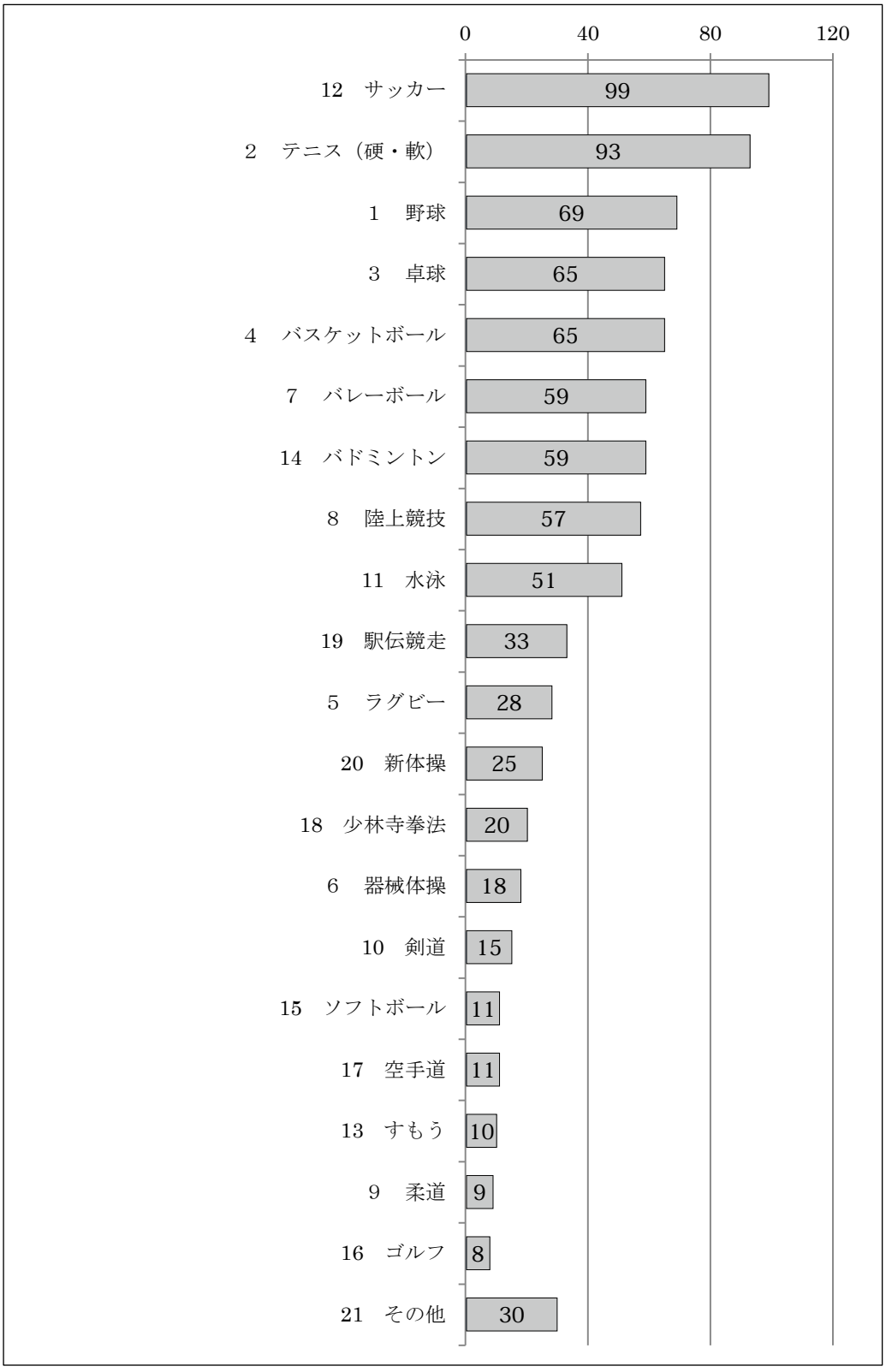
1　ある	189	2　ない	189



（問 10 で「1 ある」を選んだ方に伺います。）
問 11 それは何の競技ですか。３つまで選んでください。



問 12　あなたが今後、熊谷市で開催してほしいと思う大規模なスポーツ大会・イベントは何ですか。３つまで選んでください。



（中学生の方にうかがいます。）

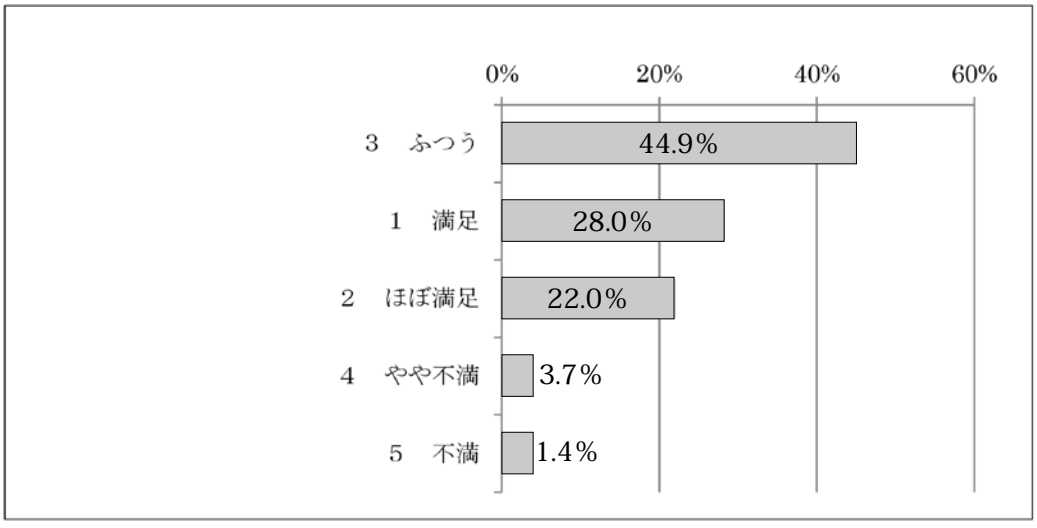
4　スポーツやレクリエーション活動の情報について

概要

・「満足」、「ほぼ満足」を合わせると 50.0%の人が満足度を感じています。
・情報の入手先については、「テレビ」（28.3%、127 人）、「ＳＮＳ」（26.7%、120 人）、「新聞」（16%、72 人）が続き、最も少ないのは「各種広報紙」（2.2%、10 人）でした。
・今後、入手したい情報については、「スポーツ行事やイベント情報」（21.7%、86 人）、「熊谷市ゆかりのスポーツ選手」（10.9%、43 人）、「健康・体力づくり」（10.9%、43 人）が続き、最も少ないのは、「スポーツボランティア情報」（2.5%、10 人）でした。

問 13　あなたは学校からの情報以外で、スポーツやレクリエーション活動に関する情報に満足していますか。１つ選んでください。

1　満足	60	4　やや不満	8
2　ほぼ満足	47	5　不満	3
3　ふつう	96		

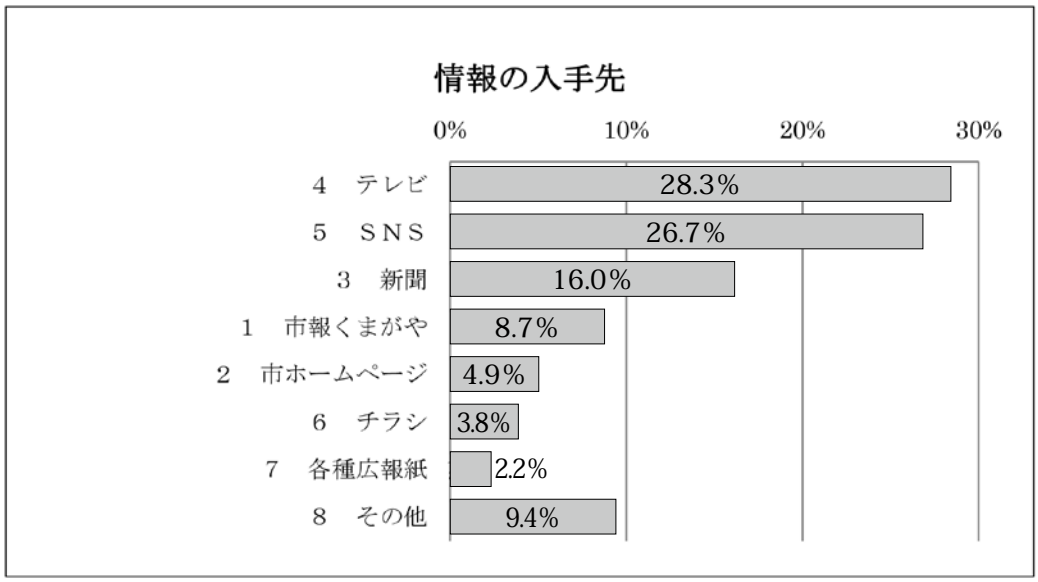


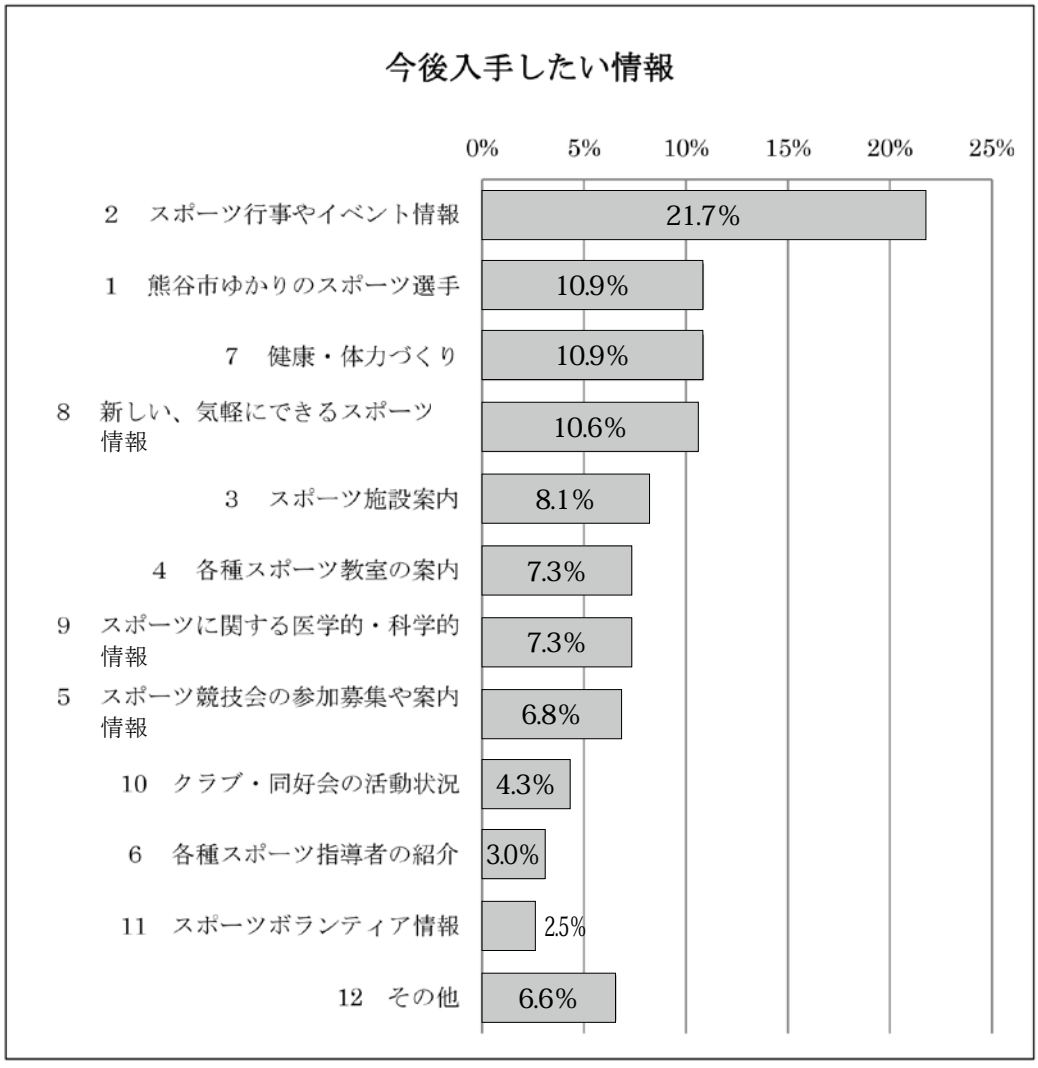
問 15　あなたは学校からの情報以外で、スポーツやレクリエーション活動に関する情報をどこから入手しますか。３つまで選んでください。

1　市報くまがや	39	5　ＳＮＳ	120
2　市ホームページ	22	6　チラシ	17
3　新聞	72	7　各種広報紙	10
4　テレビ	127	8　その他	42

問 16　あなたは学校からの情報以外で、今後入手したい情報は何ですか。３つまで選んでください。

1　熊谷ゆかりのスポーツ選手	43	7　健康・体力づくり	43
2　スポーツ行事やイベント情報	86	8　新しい気軽にできるスポーツ情報	42
3　スポーツ施設案内	32	9　スポーツに関する医学的・科学的情報	29
4　各種スポーツ教室の案内	29	10　クラブ、同好会の活動状況	17
5　スポーツ競技会の参加募集や案内情報	27	11　スポーツボランティア情報	10
6　スポーツ指導者の紹介	12	12　その他	26


情報の入手先
0%
10%
20%
30%
4　テレビ
28.3%
5　SNS
26.7%
3　新聞
16.0%
1　市報くまがや
8.7%
2　市ホームページ
4.9%
6　チラシ
3.8%
7　各種広報紙
2.2%
8　その他
9.4%


今後入手したい情報
0%
5%
10%
15%
20%
25%
2　スポーツ行事やイベント情報
21.7%
1　熊谷市ゆかりのスポーツ選手
10.9%
7　健康・体力づくり
10.9%
8　新しい、気軽にできるスポーツ情報
10.6%
3　スポーツ施設案内
8.1%
4　各種スポーツ教室の案内
7.3%
9　スポーツに関する医学的・科学的情報
7.3%
5　スポーツ競技会の参加募集や案内情報
6.8%
10　クラブ・同好会の活動状況
4.3%
6　各種スポーツ指導者の紹介
3.0%
11　スポーツボランティア情報
2.5%
12　その他
6.6%

５　今後開催される国際スポーツ大会について

概要

ラグビーワールドカップ２０１９について

・85.9%の方が、ラグビーワールドカップ 2019 が開催されることを知っています。
・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせると 43.1%の方が関心を寄せています。
・「観戦したい」と「やや観戦したい」を合わせると 32.0%の方が観戦したいと考えています。
・ラグビーワールドカップ 2019 熊谷開催によって期待する効果として、「スポーツの振興」（25.3%、227 人）、「観光客の増加」（20.1%、180 人）が上位に挙げられています。
・ラグビーワールドカップ 2019 終了後、本市に期待するスポーツ施策として、「「ラグビータウン熊谷」の推進」（21.3%、162 人）、「ジュニアアスリートの発掘・育成」（17.9%、136 人）が上位に挙げられています。

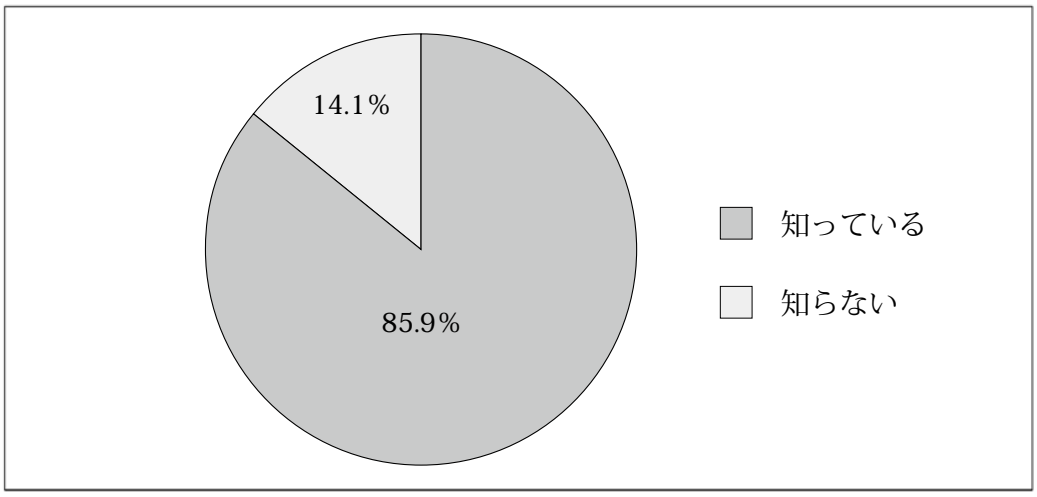
東京オリンピック・パラリンピックについて

・96.3%の方が、２０２０年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることを知っています。
・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせると 75.2%の方が関心を寄せています。
・「観戦したい」と「やや観戦したい」を合わせると 65.1%の方が観戦したいと考えています。

ラグビーワールドカップ２０１９について

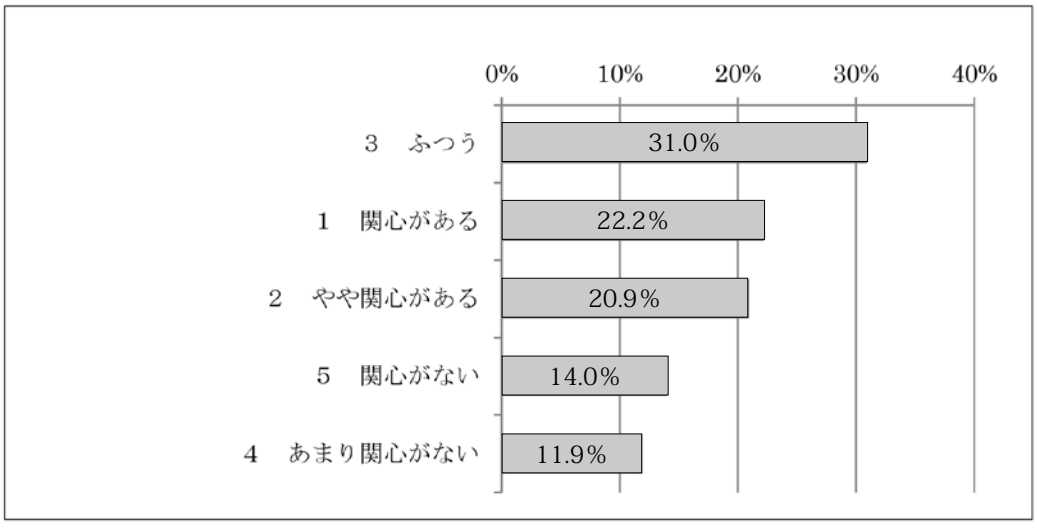
問 16　あなたは、2019 年に熊谷市でラグビーワールドカップの試合が開催されることを知っていますか。１つ選んでください。

1　知っている	323	2　知らない	53



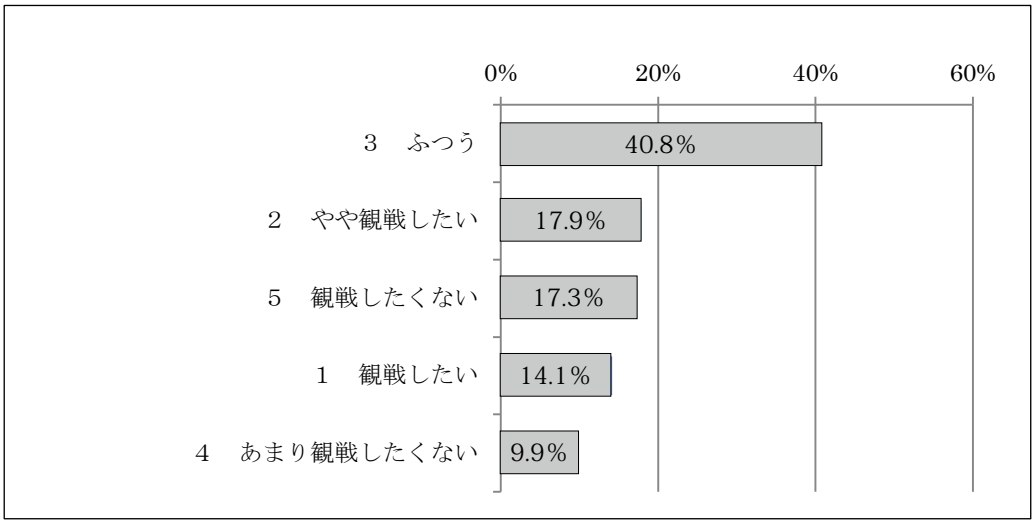
問 24　あなたは、ラグビーワールドカップ２０１９が熊谷で開催されることに関心がありますか。１つ選んでください。

1　関心がある	84	4　あまり関心がない	45
2　やや関心がある	79	5　関心がない	53
3　ふつう	117		



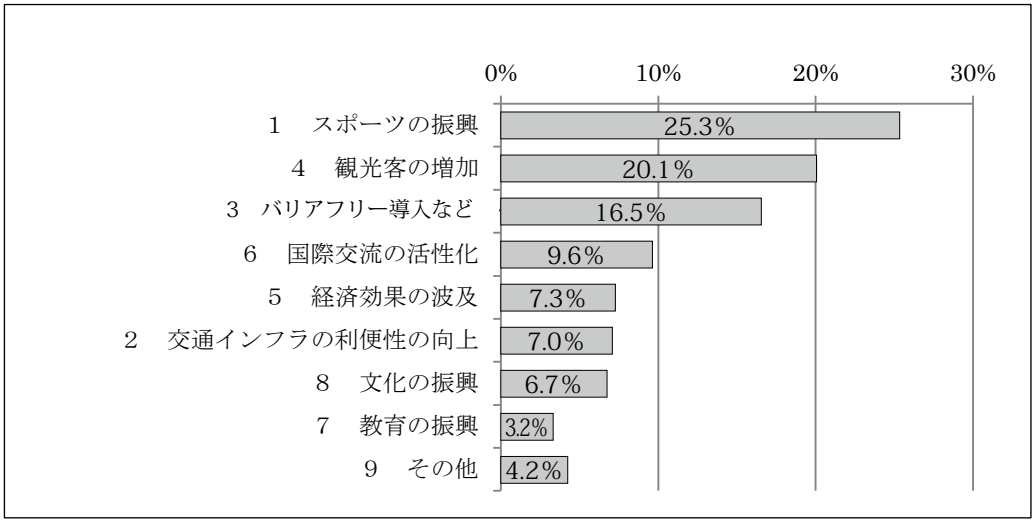
問 18　あなたは、ラグビーワールドカップ２０１９を熊谷ラグビー場で観戦したいですか。１つ選んでください。

1	観戦したい	53	4	あまり観戦したくない	37
2	やや観戦したい	67	5	観戦したくない	65
3	ふつう	153			



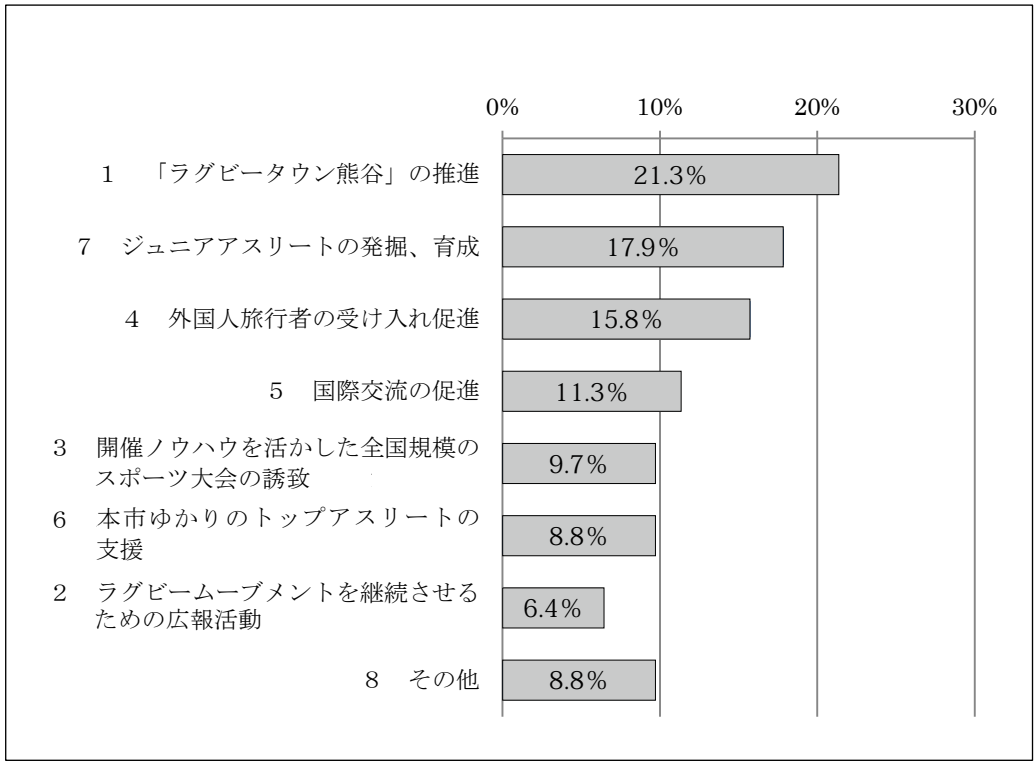
問 19　あなたは、ラグビーワールドカップ２０１９熊谷開催が本市にどのような効果がもたらされることを望みますか。３つまで選んでください。

1	スポーツの振興	227	6	交際交流の活性化	86
2	交通インフラの利便性向上	63	7	教育の振興	29
3	バリアフリーの導入など、すべての人に優しいまちづくり	148	8	文化の振興	60
4	観光客の増加	180	9	その他	38
5	経済効果の波及	65			



問 20　あなたは、ラグビーワールドカップ２０１９大会終了後、本市がどのようなスポーツ施策を進めることを望みますか。３つまで選んでください。

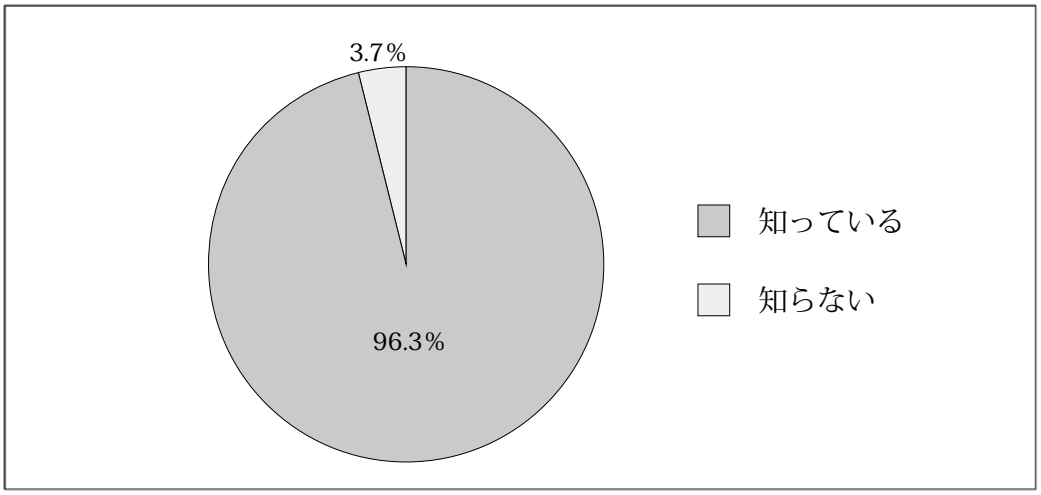
1	「ラグビータウン熊谷」の推進	162	5	国際交流の促進	86
2	ラグビームーブメントを継続させるための広報活動	49	6	本市ゆかりのトップアスリートの支援	67
3	開催ノウハウを活かした全国規模のスポーツ大会の誘致	74	7	ジュニアアスリートの発掘、育成	136
4	外国人旅行者の受け入れ促進	120	8	その他	67



東京オリンピック・パラリンピック競技大会について

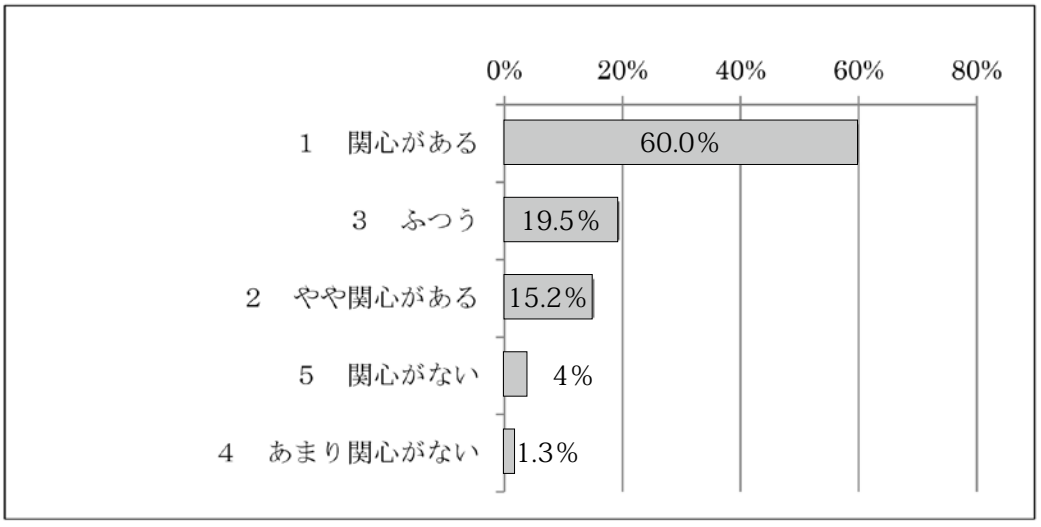
問 21　あなたは、2020 年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることを知っていますか。１つ選んでください。

1　知っている	361	2　知らない	14



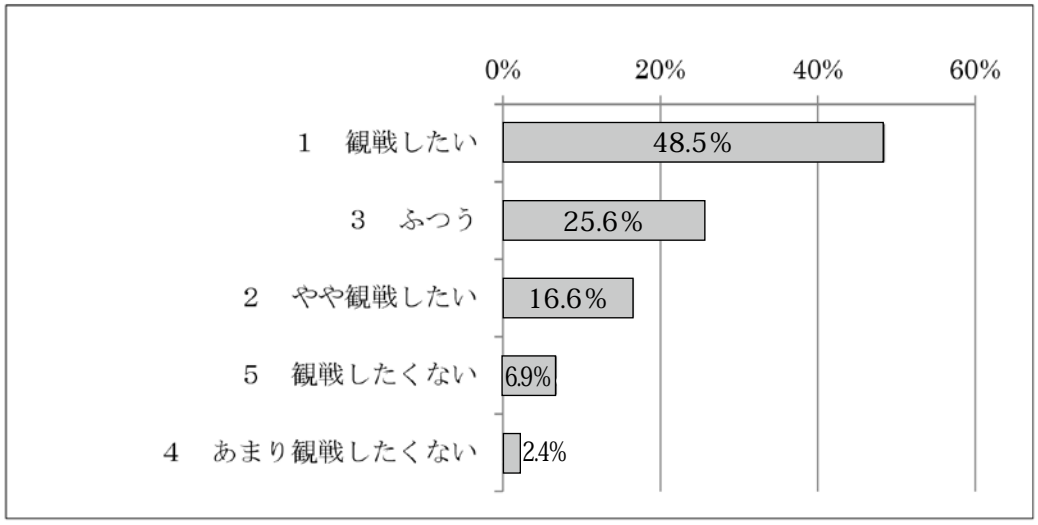
問 22　あなたは、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関心がありますか。１つ選んでください。

1　関心がある	225	4　あまり関心がない	5
2　やや関心がある	73	5　関心がない	15
3　ふつう	57		



問 23　あなたは、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を競技場で観戦したいですか。１つ選んでください。

1　観戦したい	184	4　あまり観戦したくない	9
2　やや観戦したい	63	5　観戦したくない	26
3　ふつう	97		





熊谷市スポーツ推進計画

平成３０年（２０１８年）３月

発行　熊谷市
編集　熊谷市総合政策部スポーツ観光課
〒360-8601　熊谷市宮町二丁目４７番地１
電　話　０４８－５２４－１１１１（代表）
ＦＡＸ　０４８－５２５－９３３５